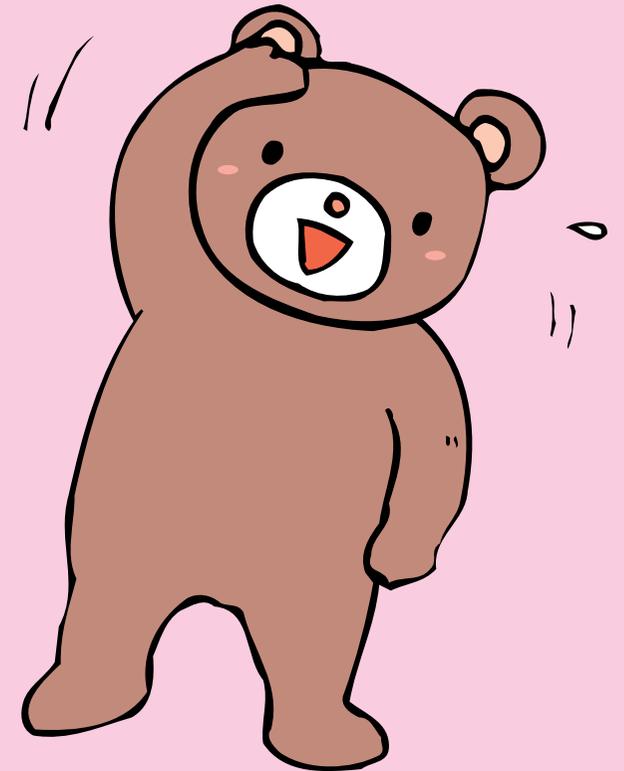
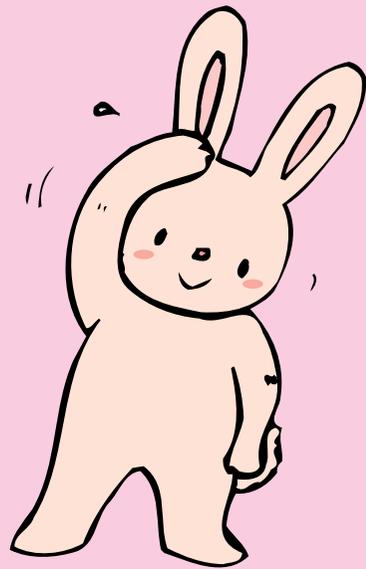
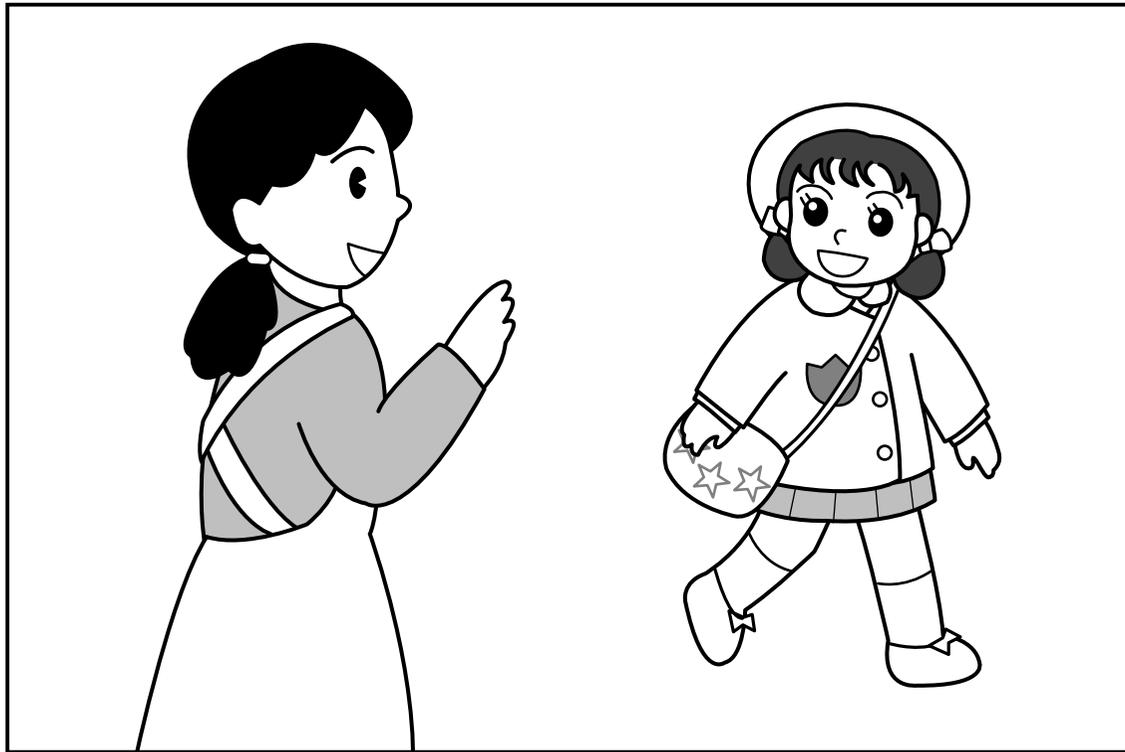


すくすくどんどん (新作電子版)

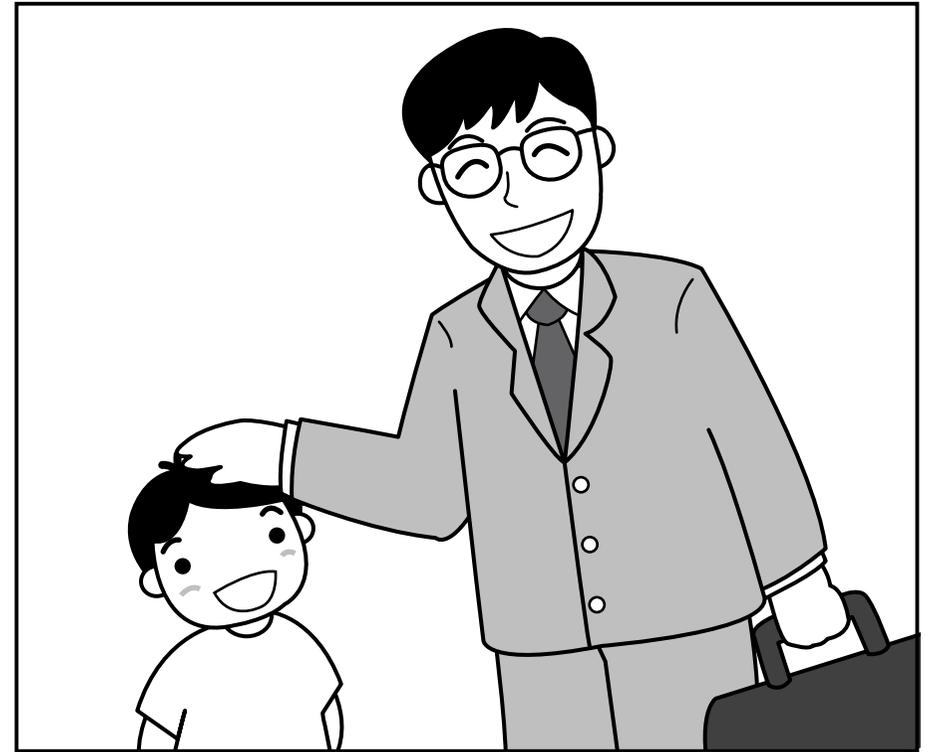


年少用 ちしき編

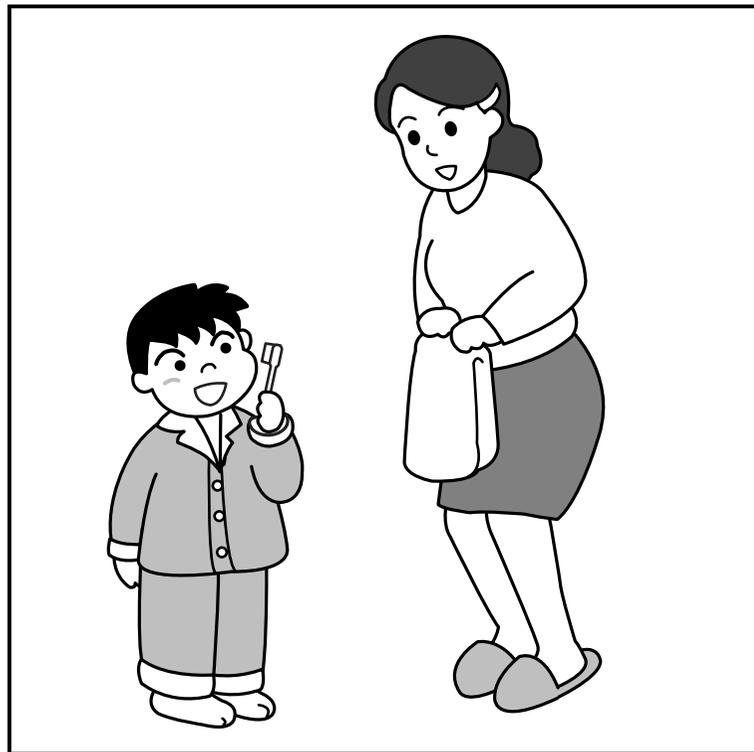
(1) (2)



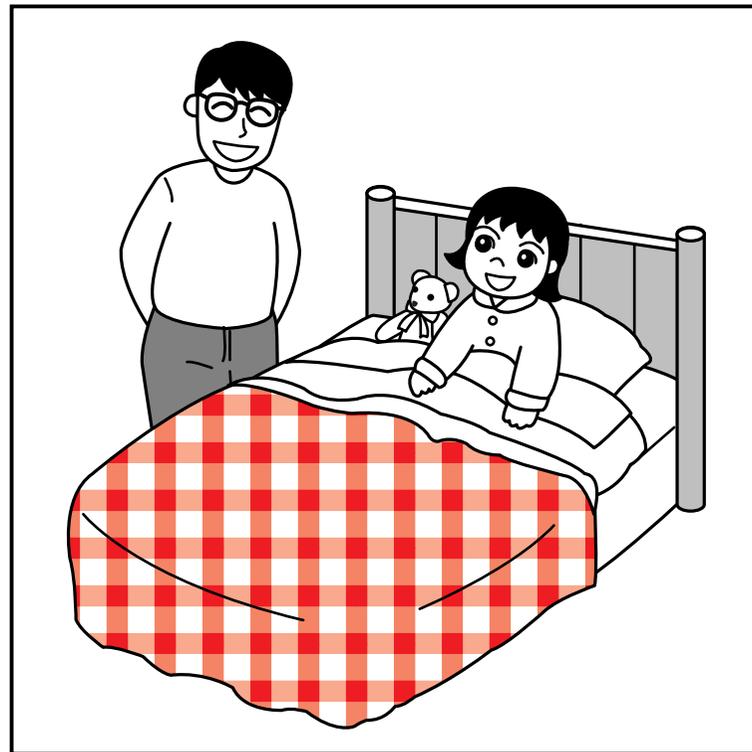
(3)



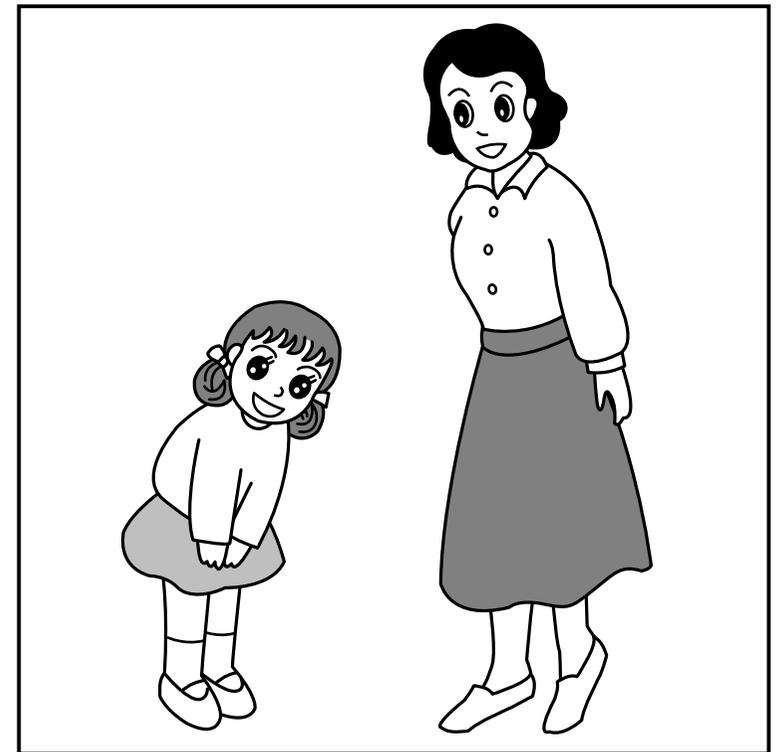
(1)



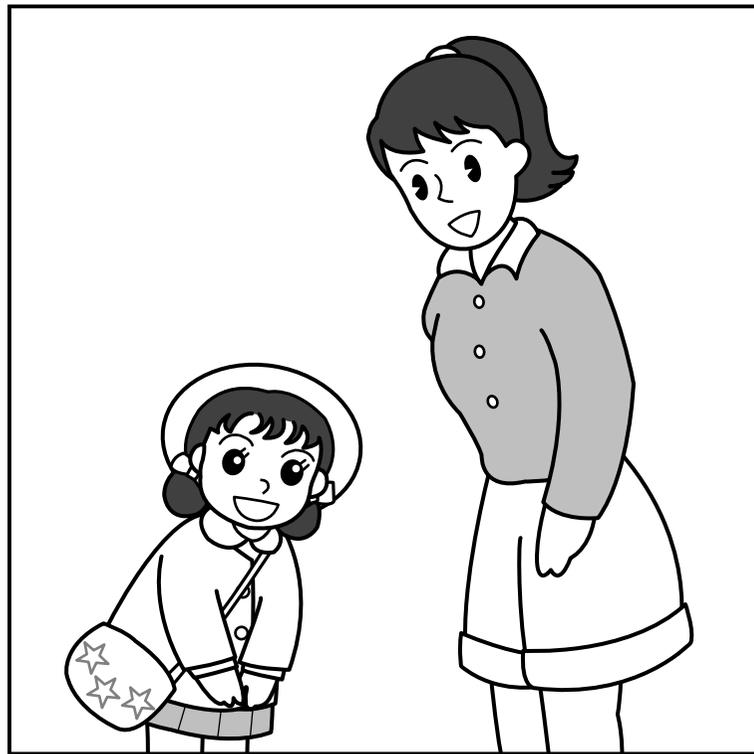
(2)



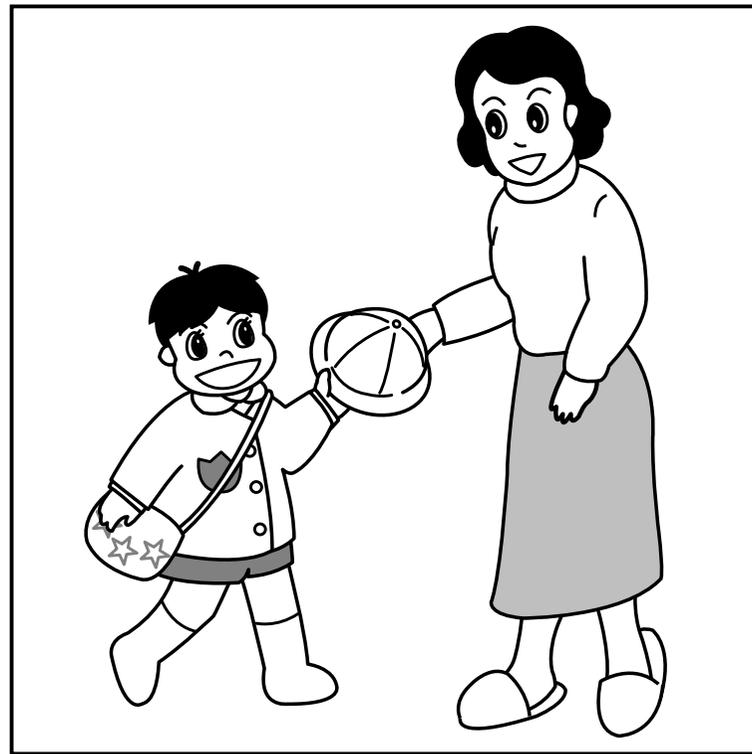
(3)



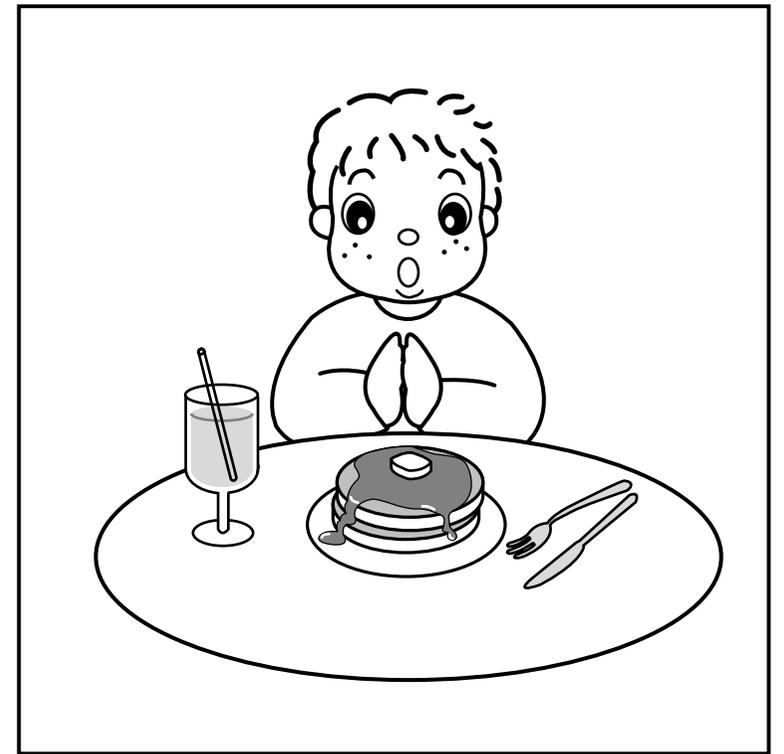
(1)



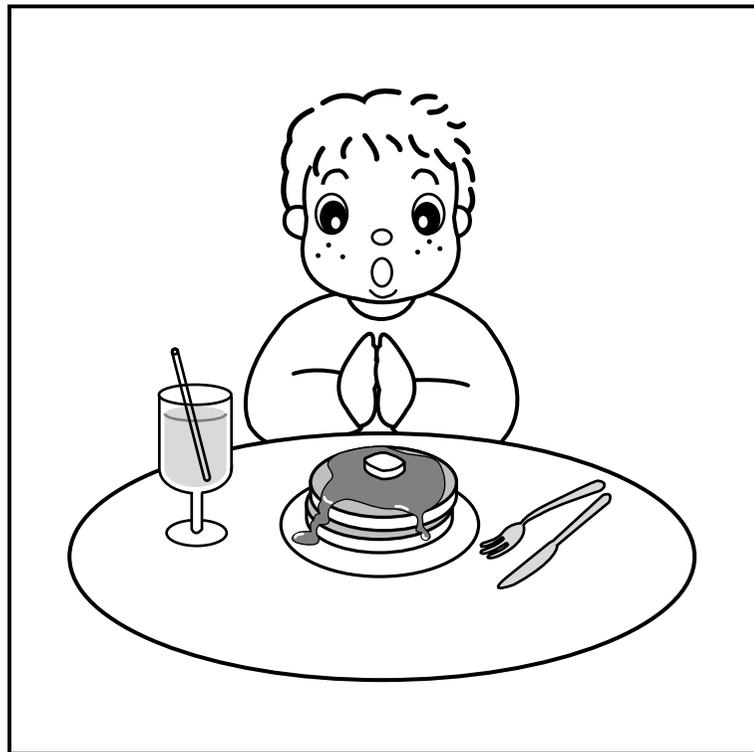
(2)



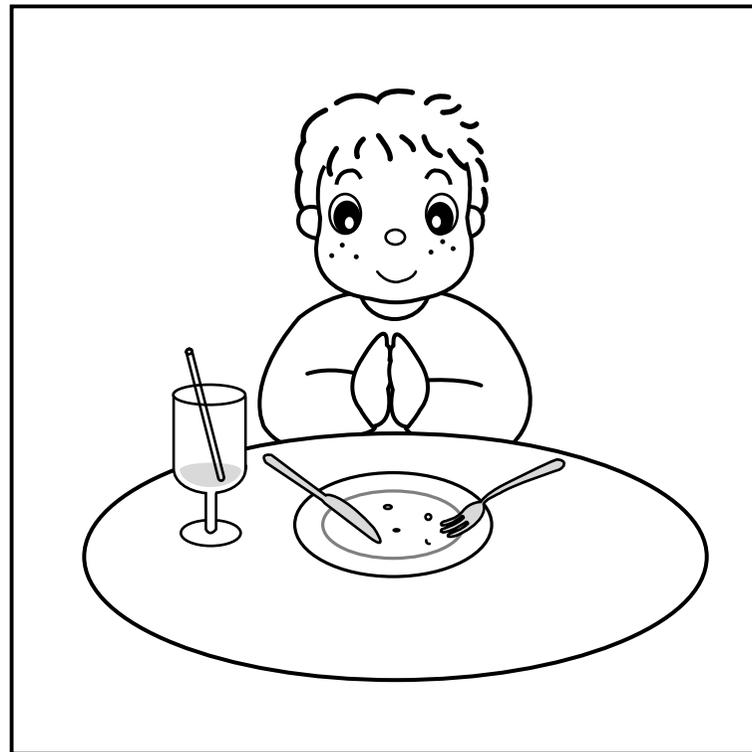
(3)



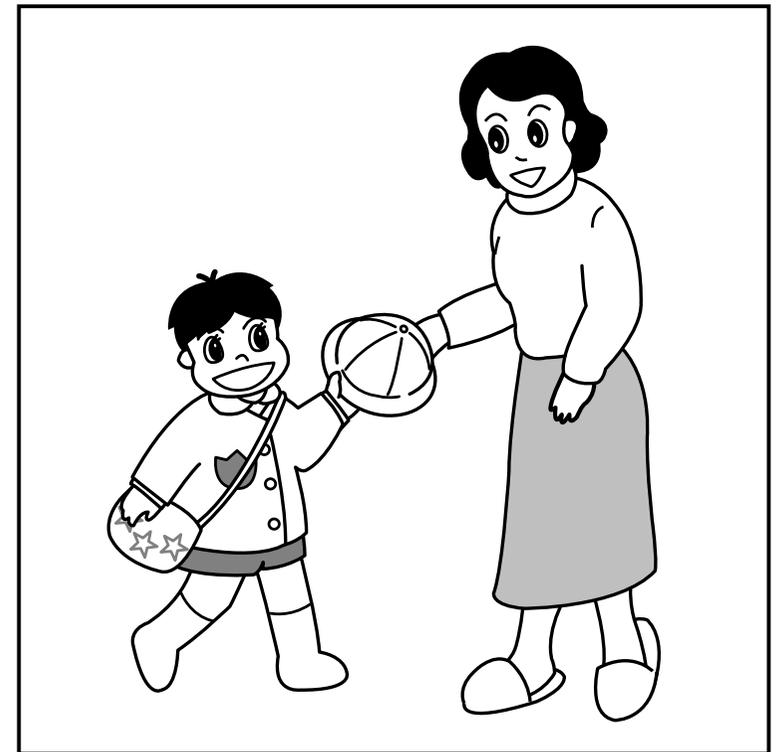
(1)

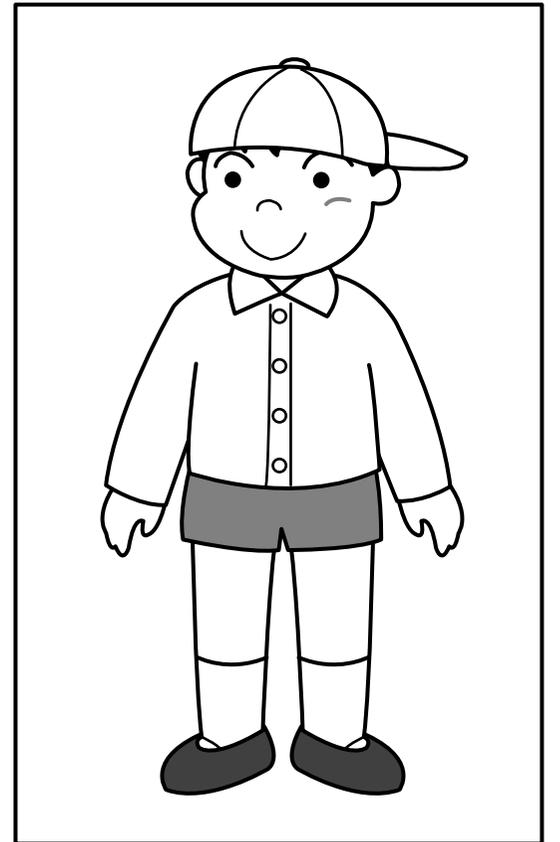
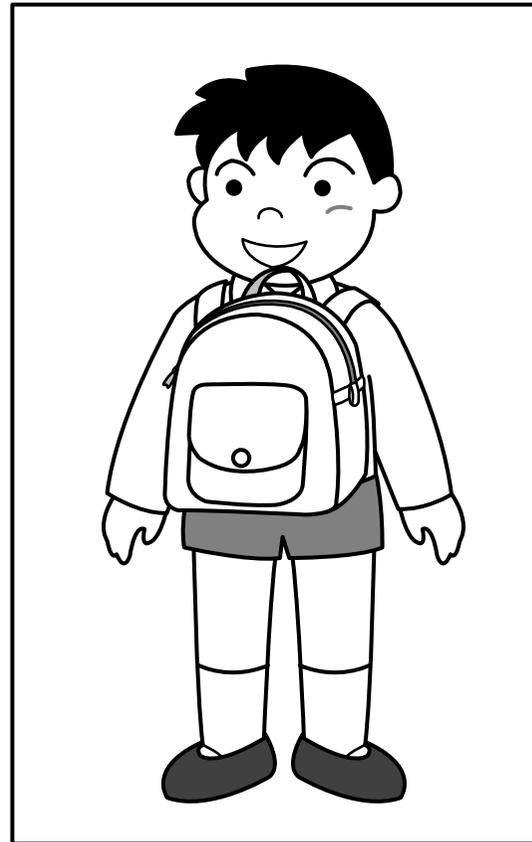
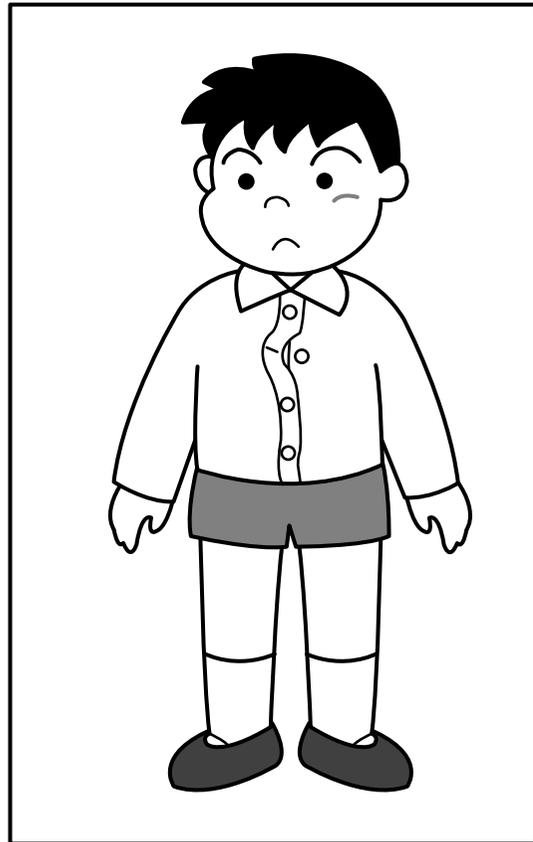
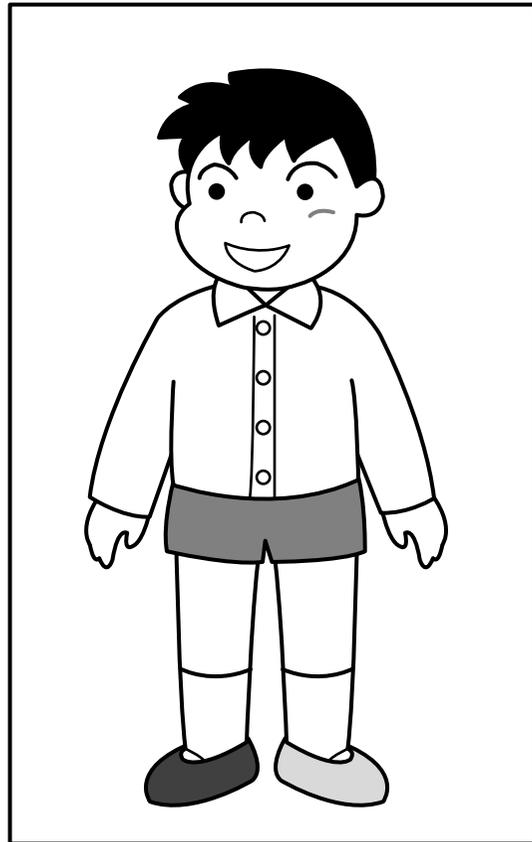


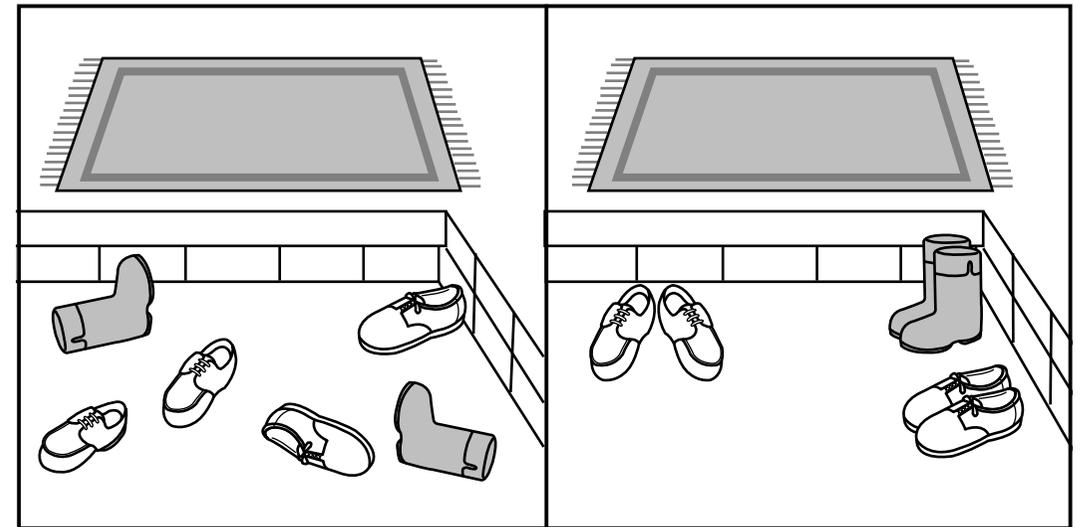
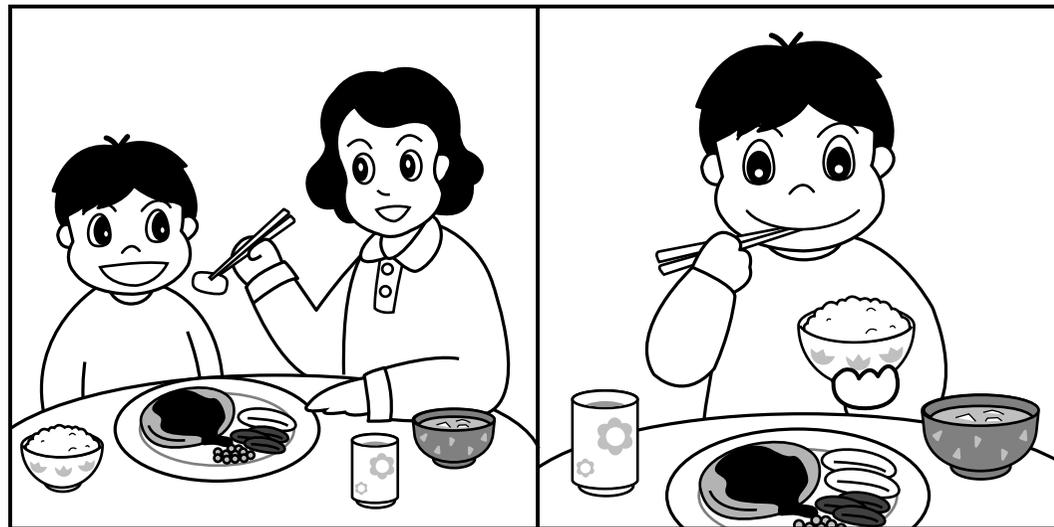
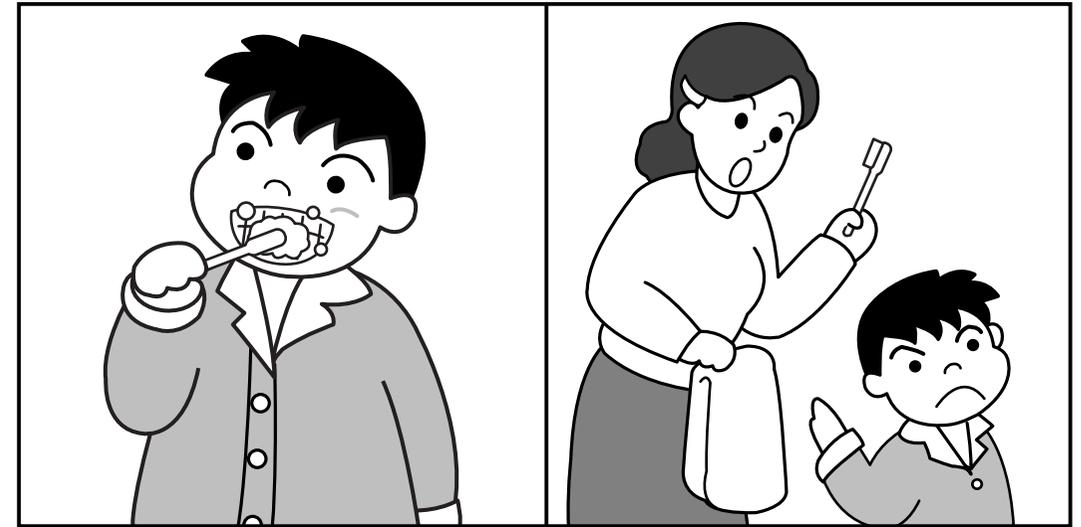
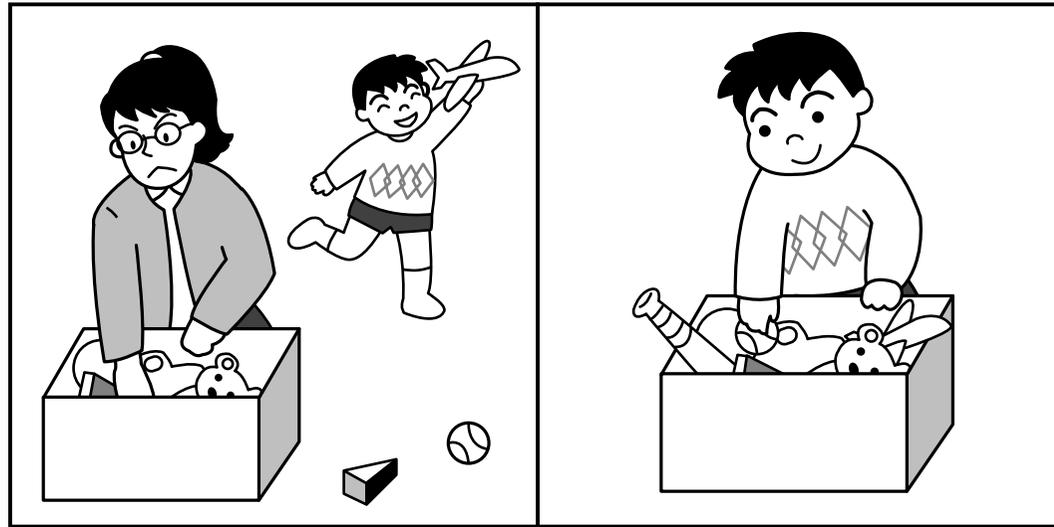
(2)

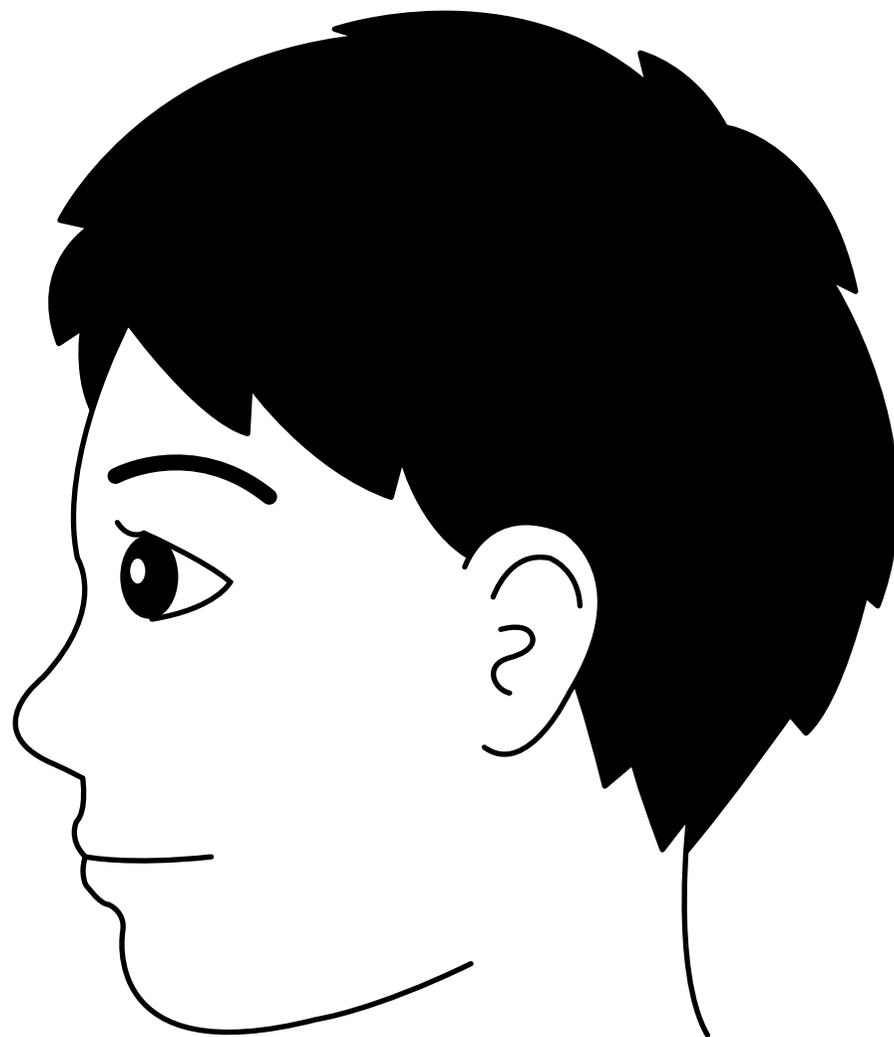


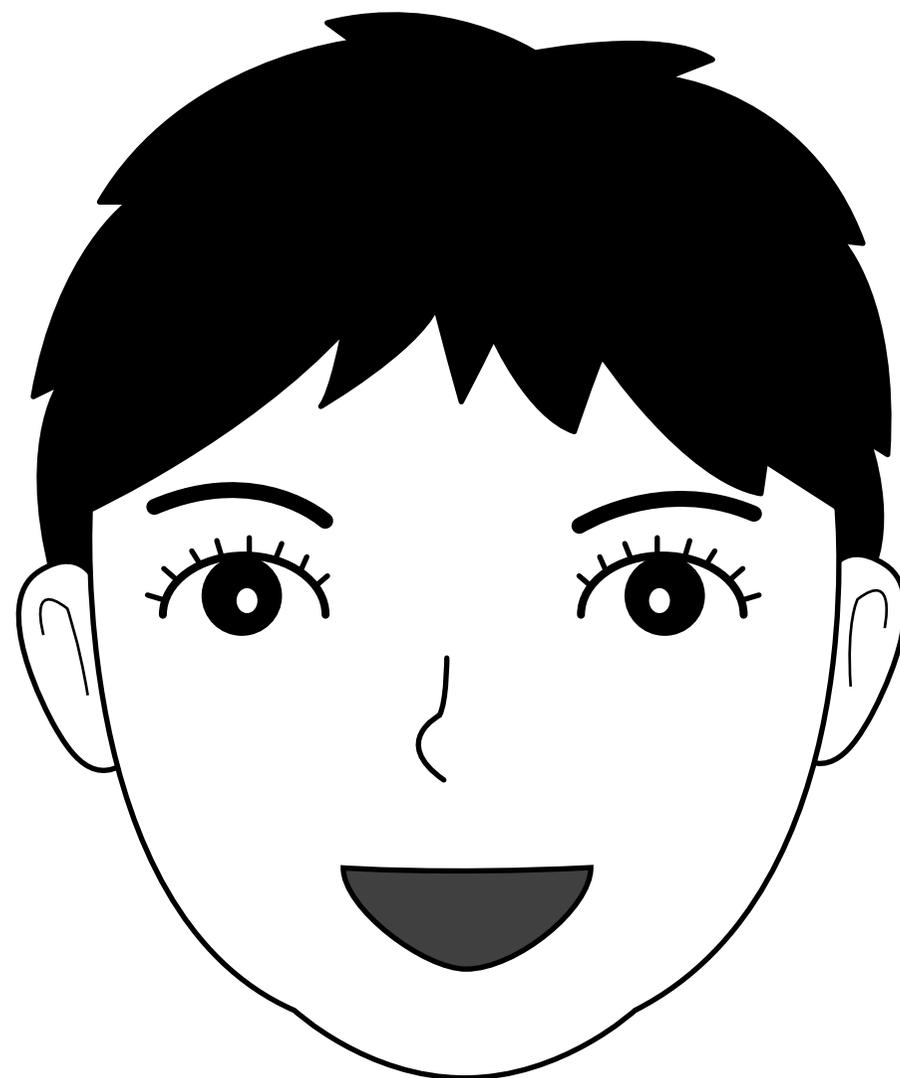
(3)

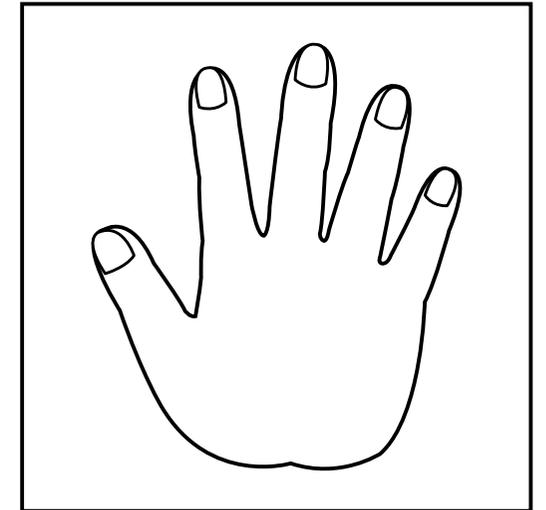
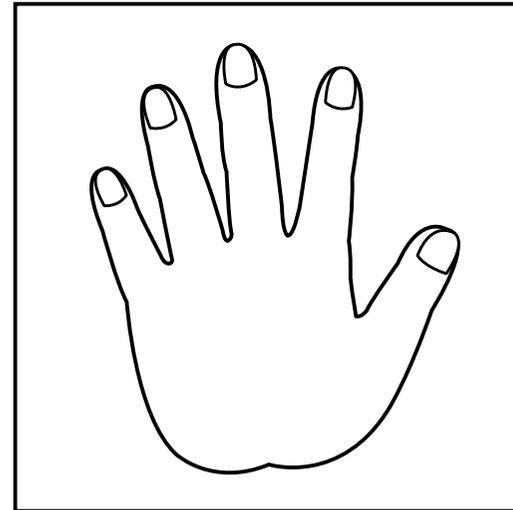
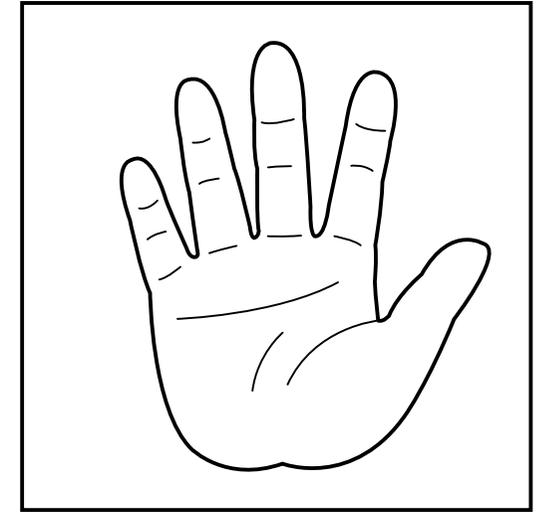
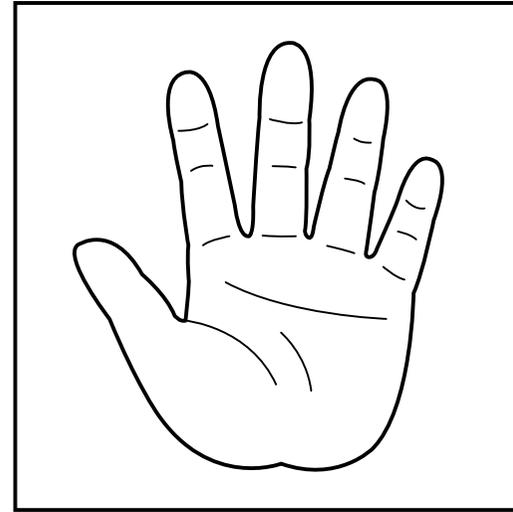


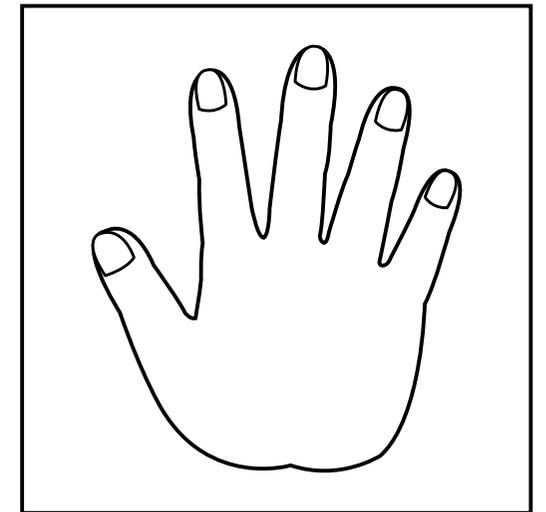
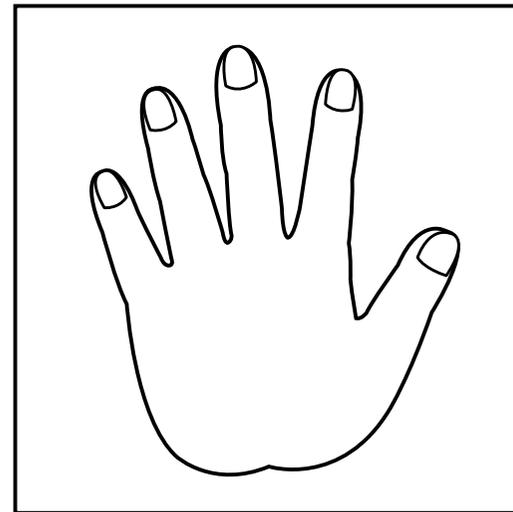
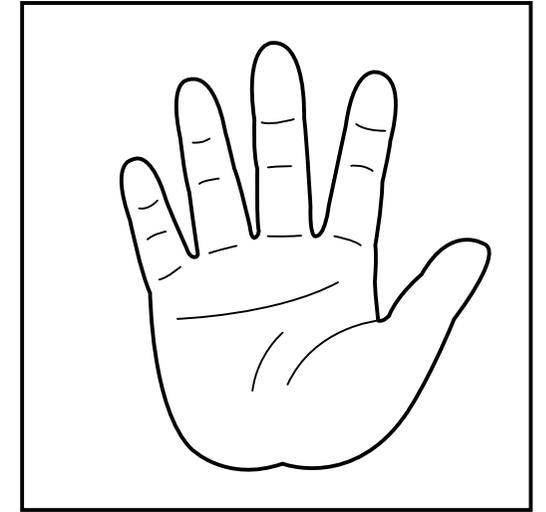
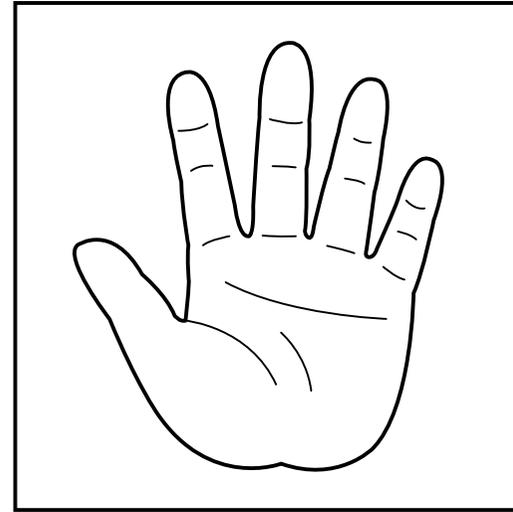


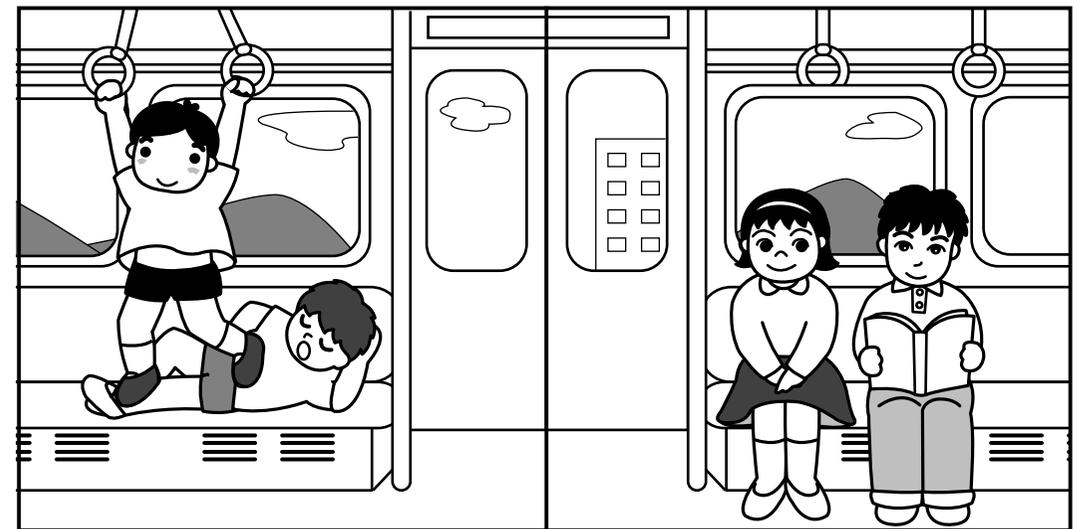
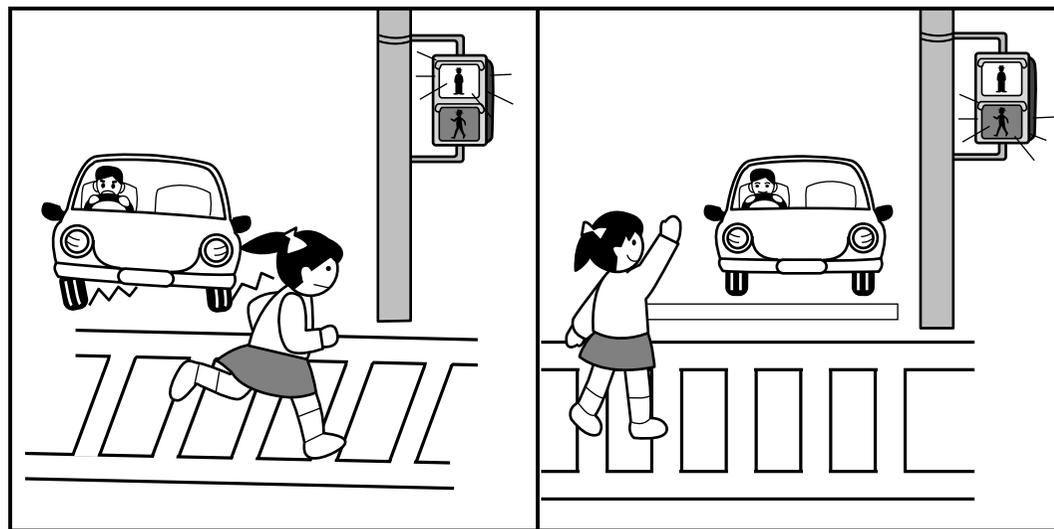
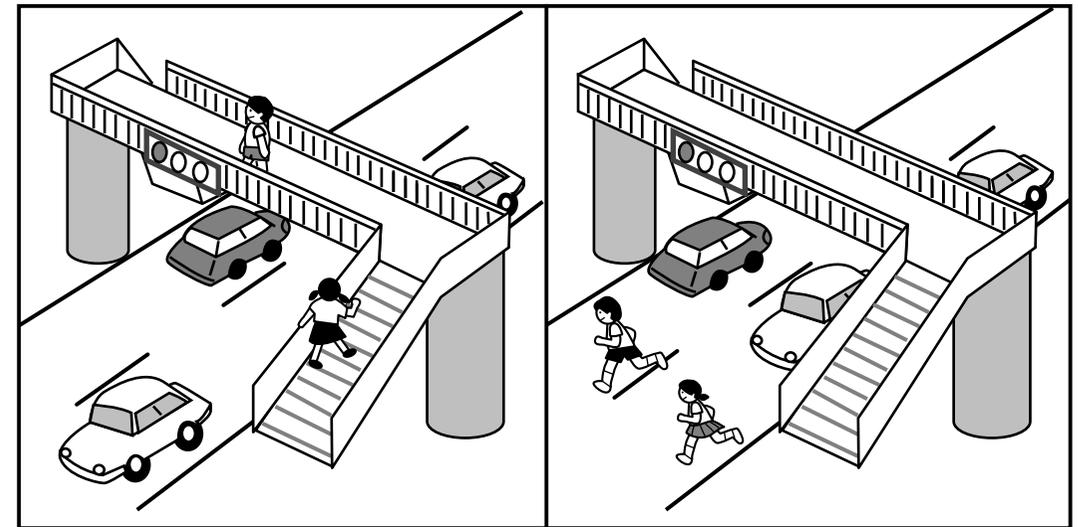
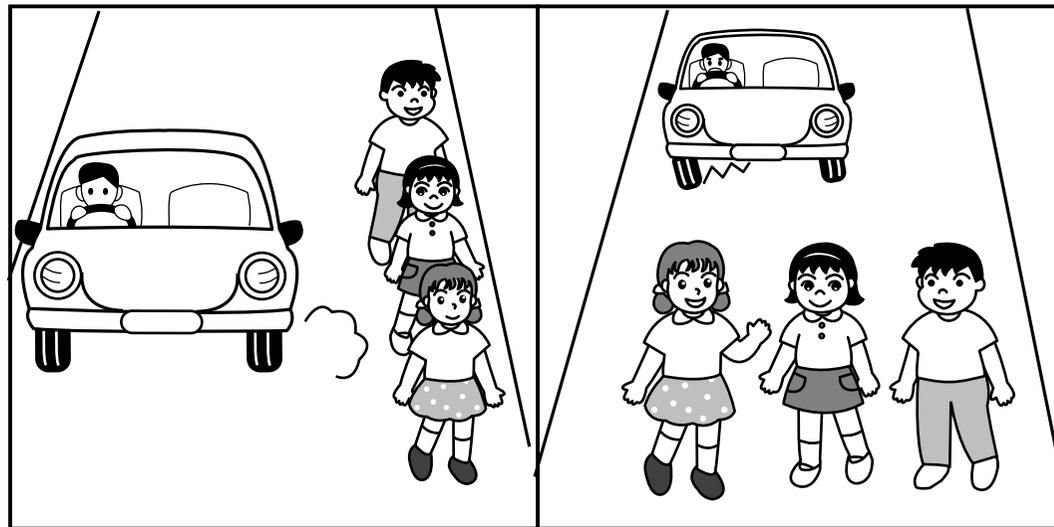


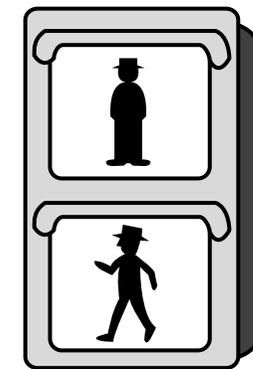
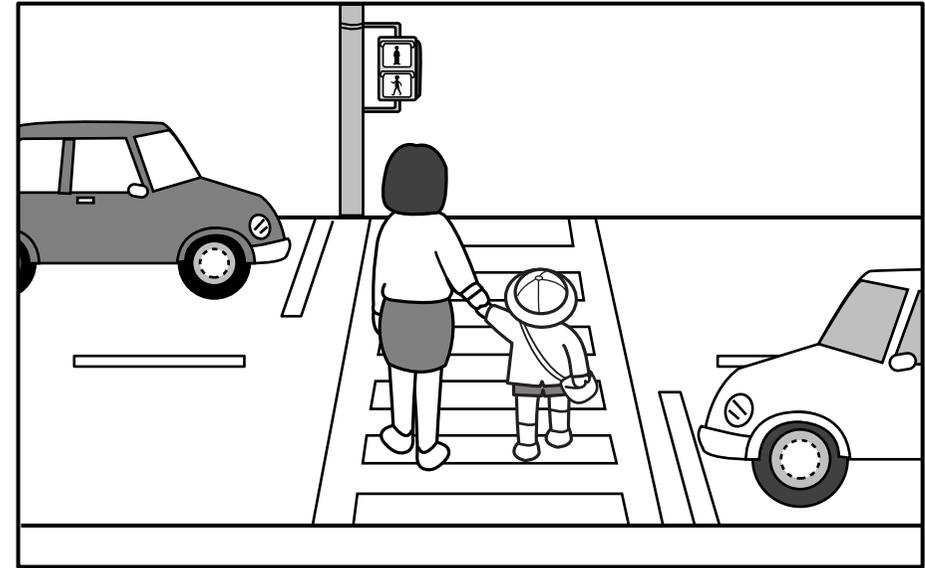
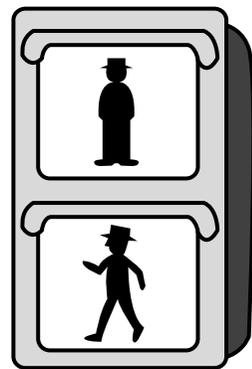
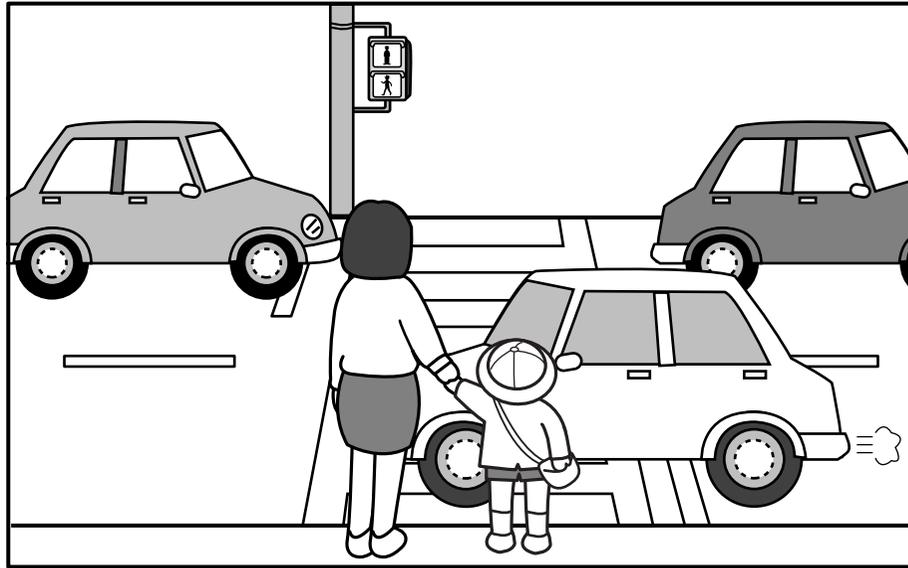




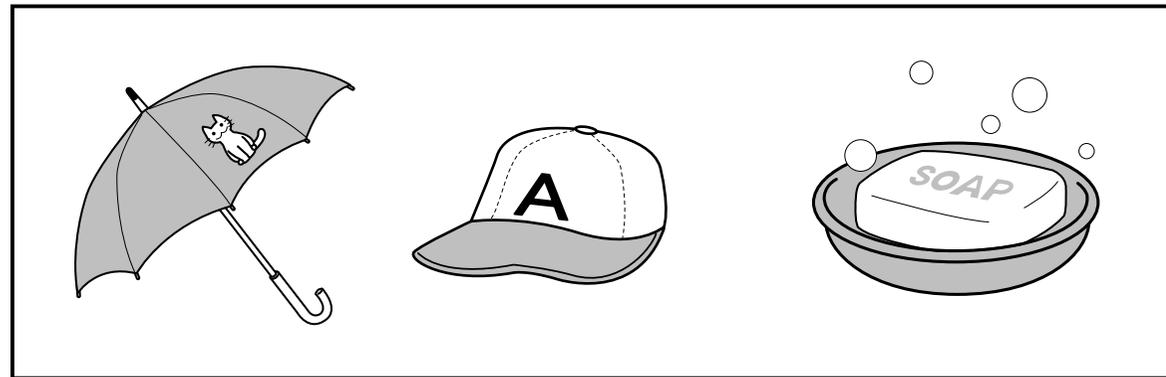




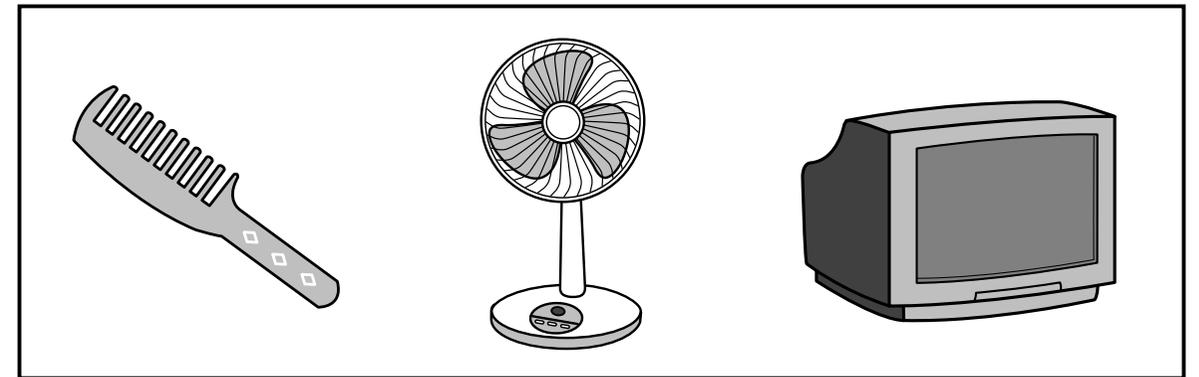




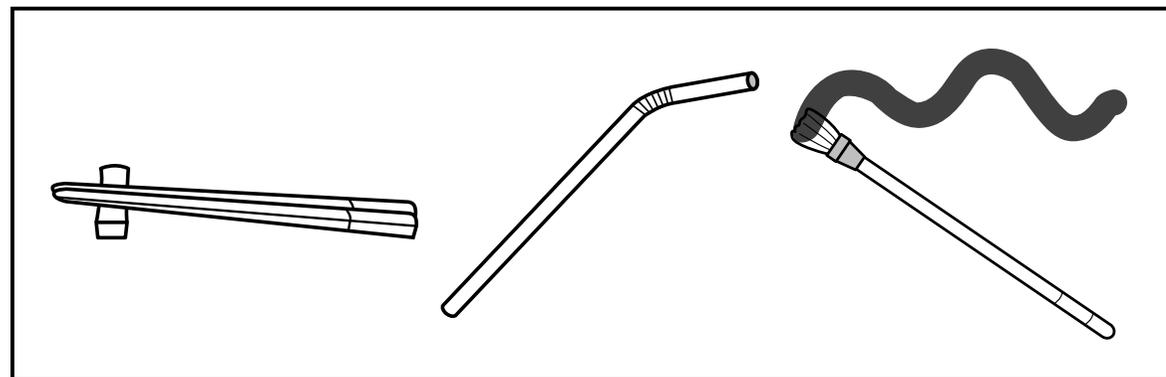
(1)



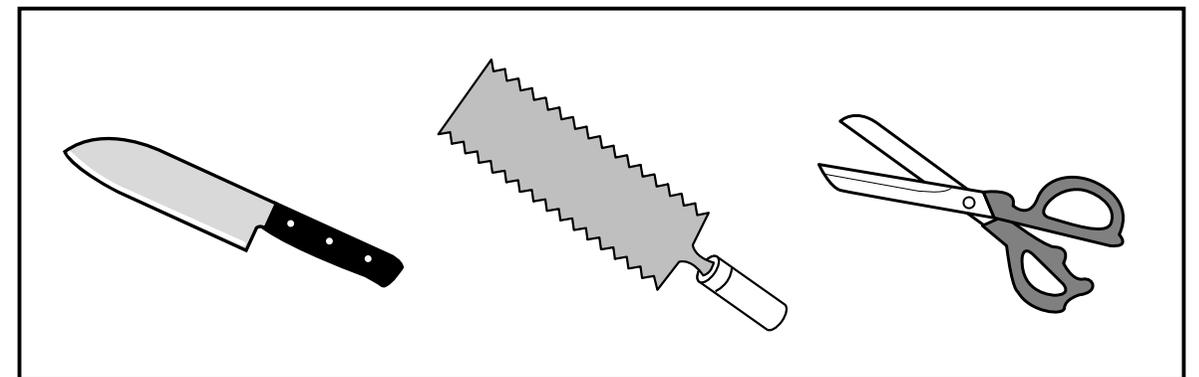
(3)



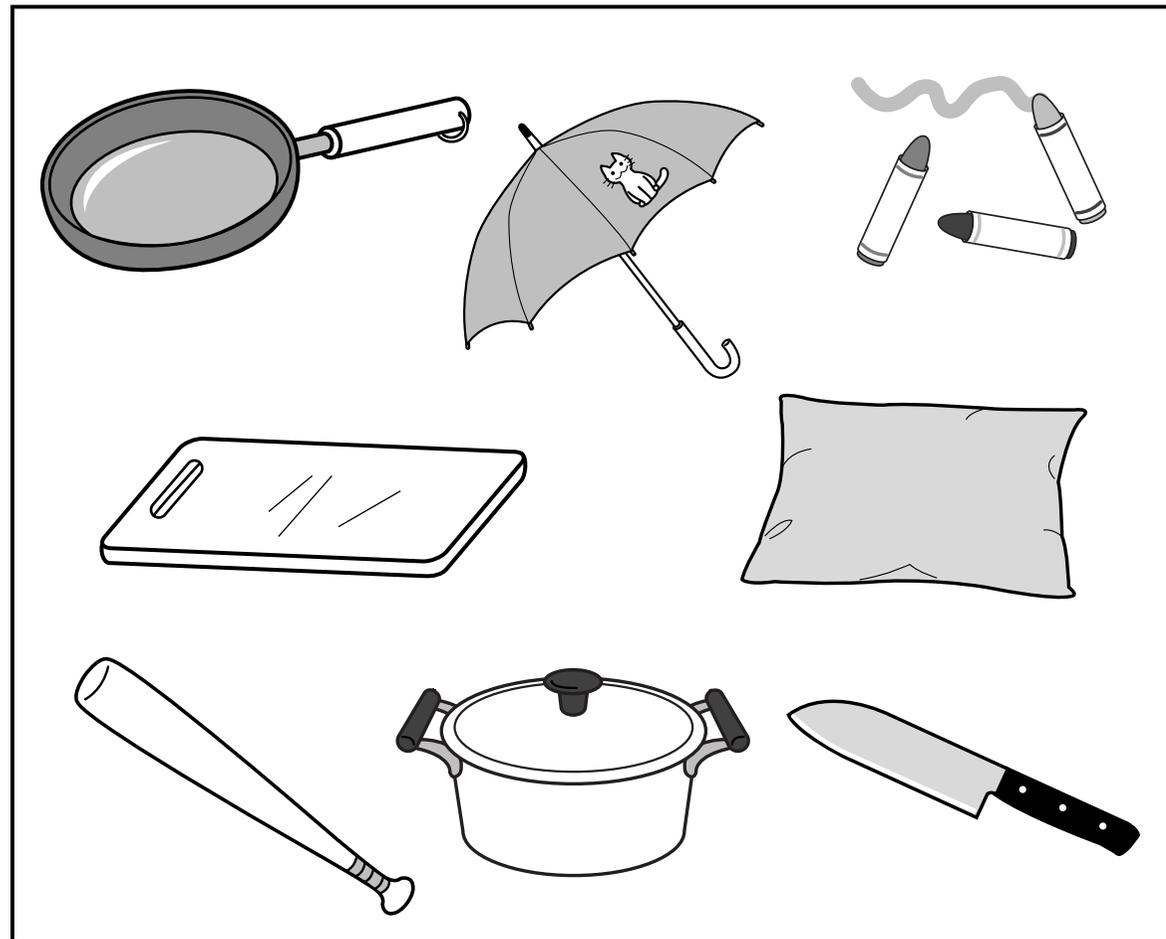
(2)



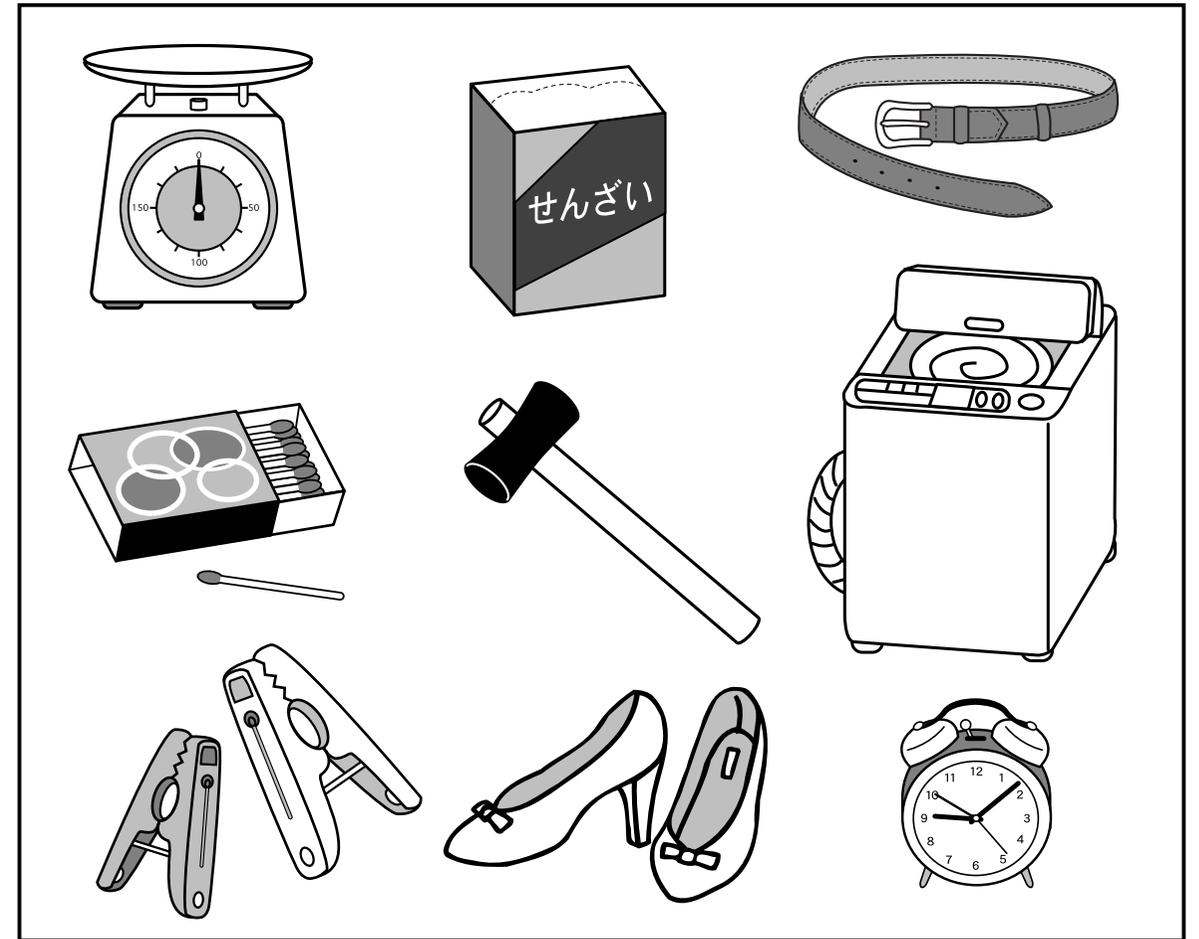
(4)

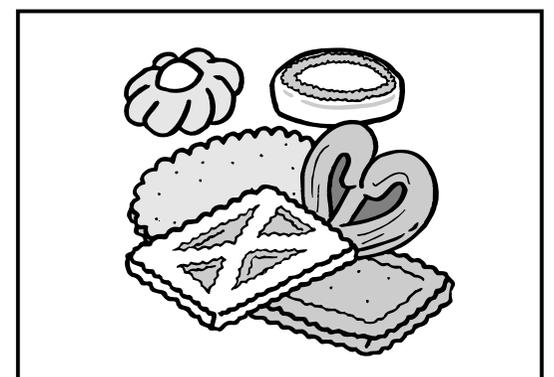
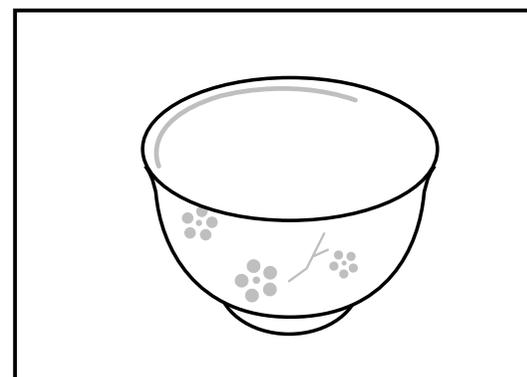
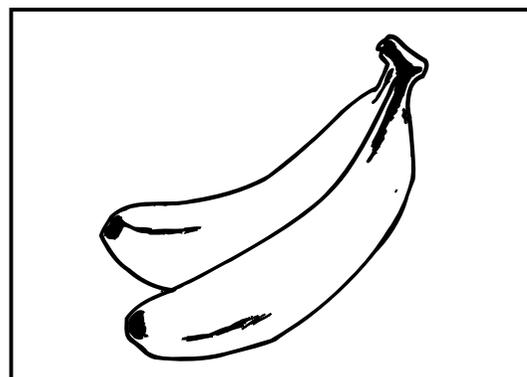
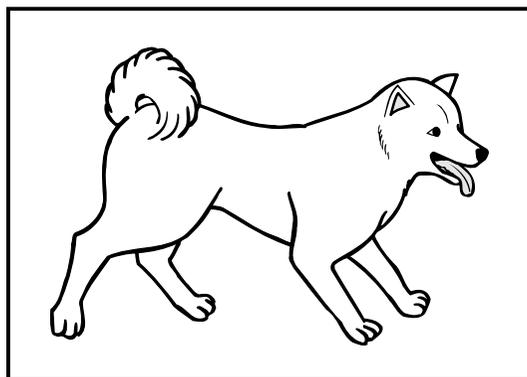
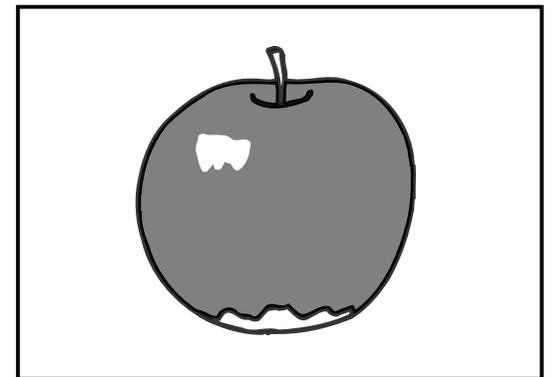
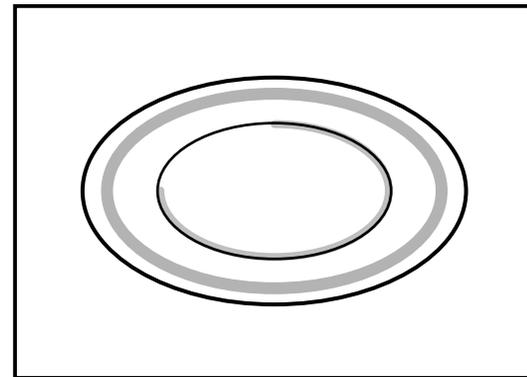
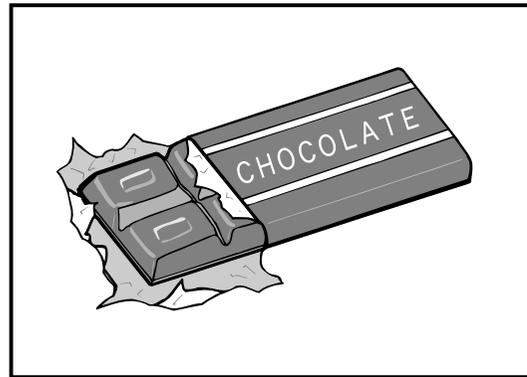
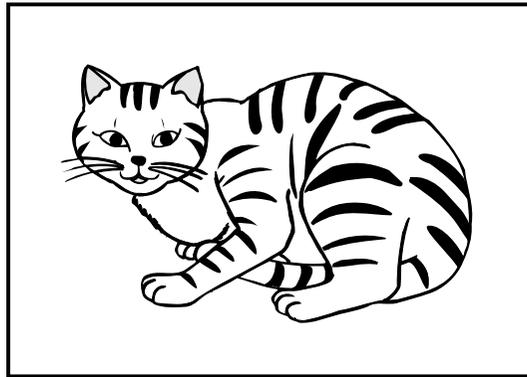


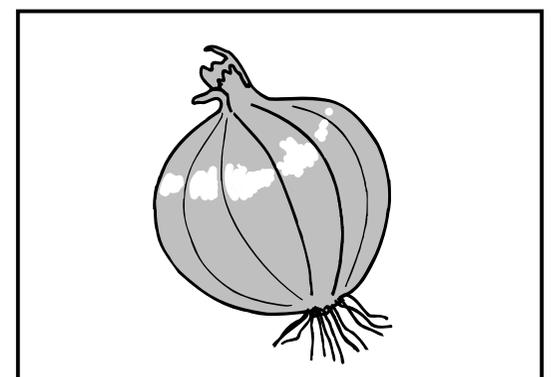
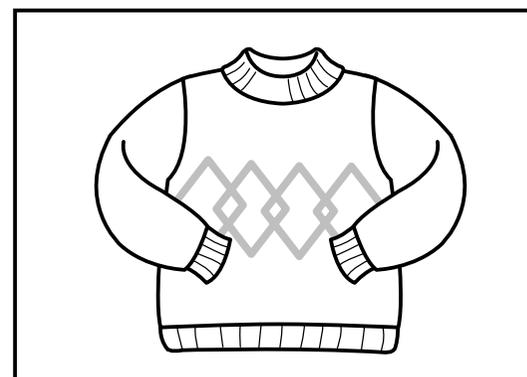
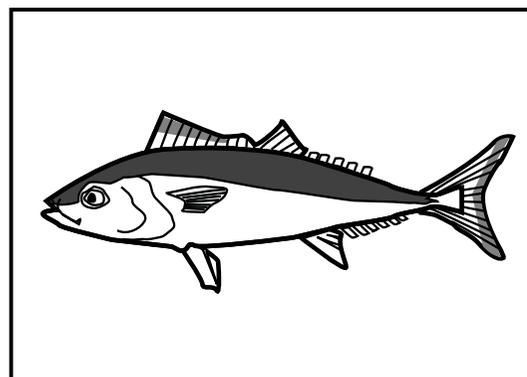
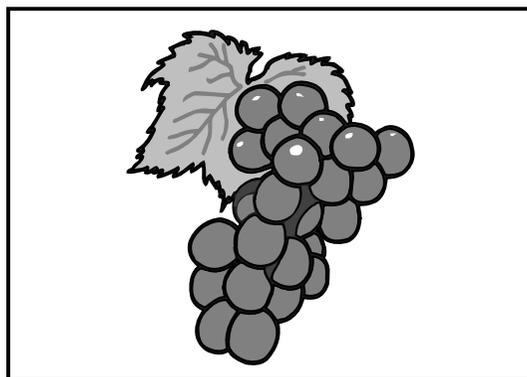
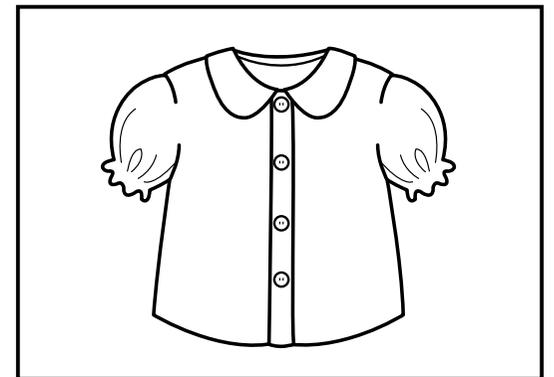
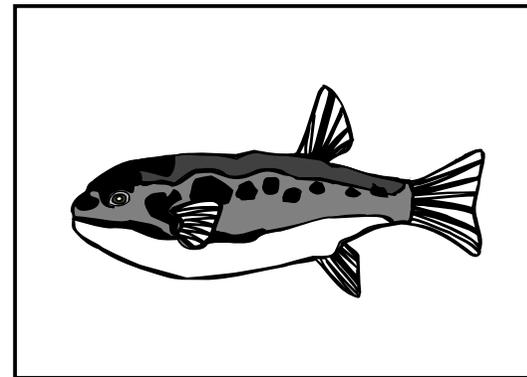
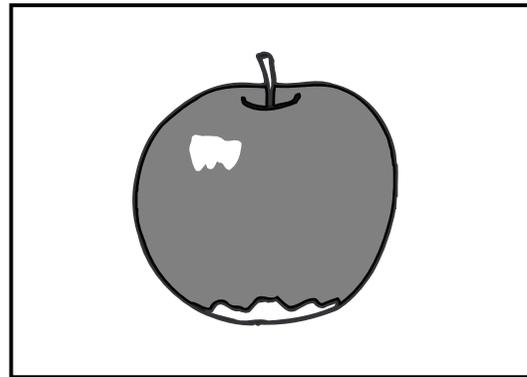
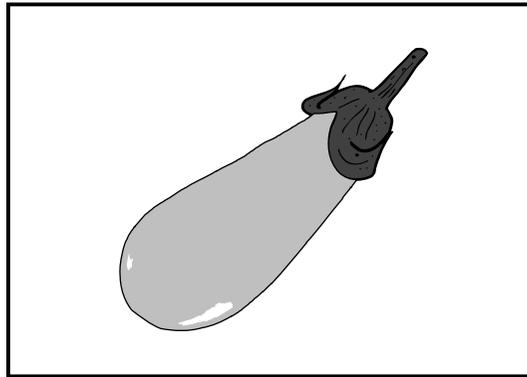
(1)

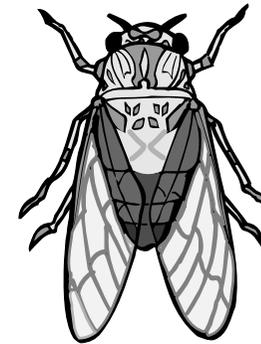
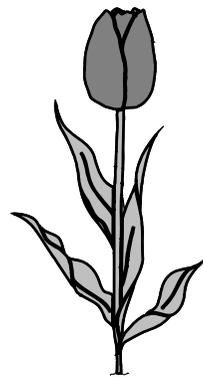
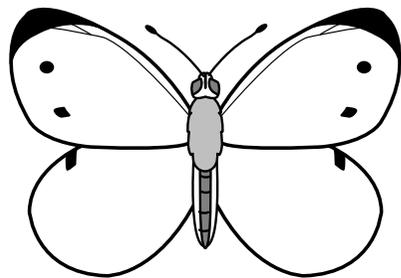
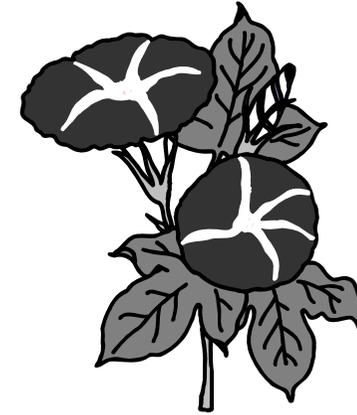
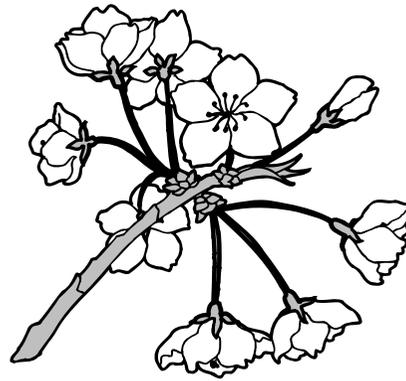
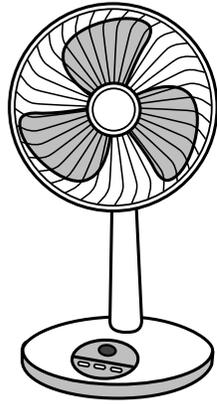


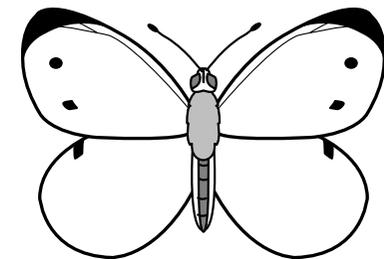
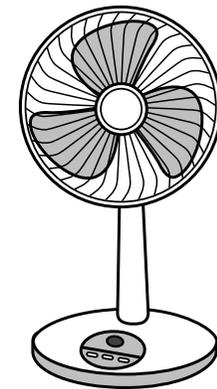
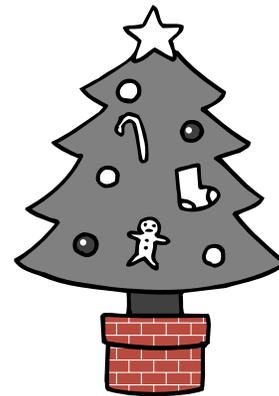
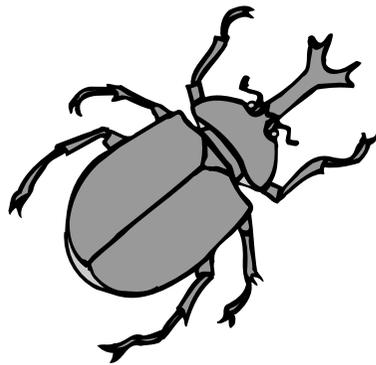
(2)

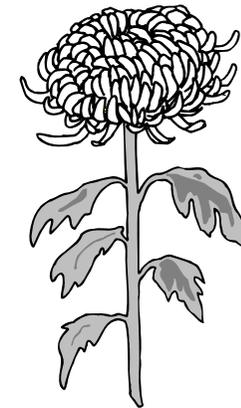
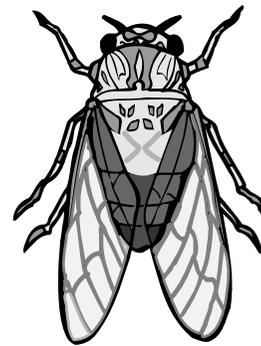
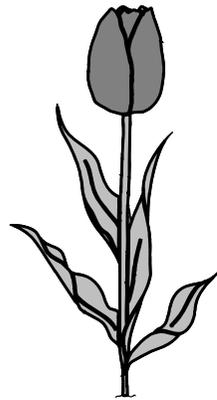
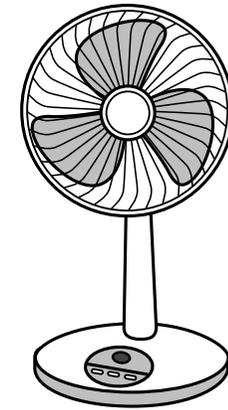
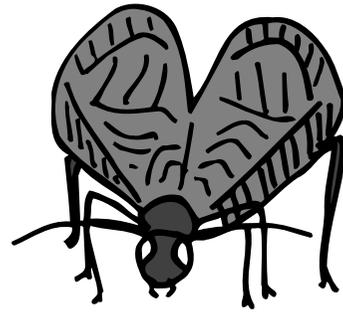
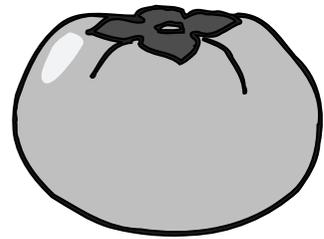


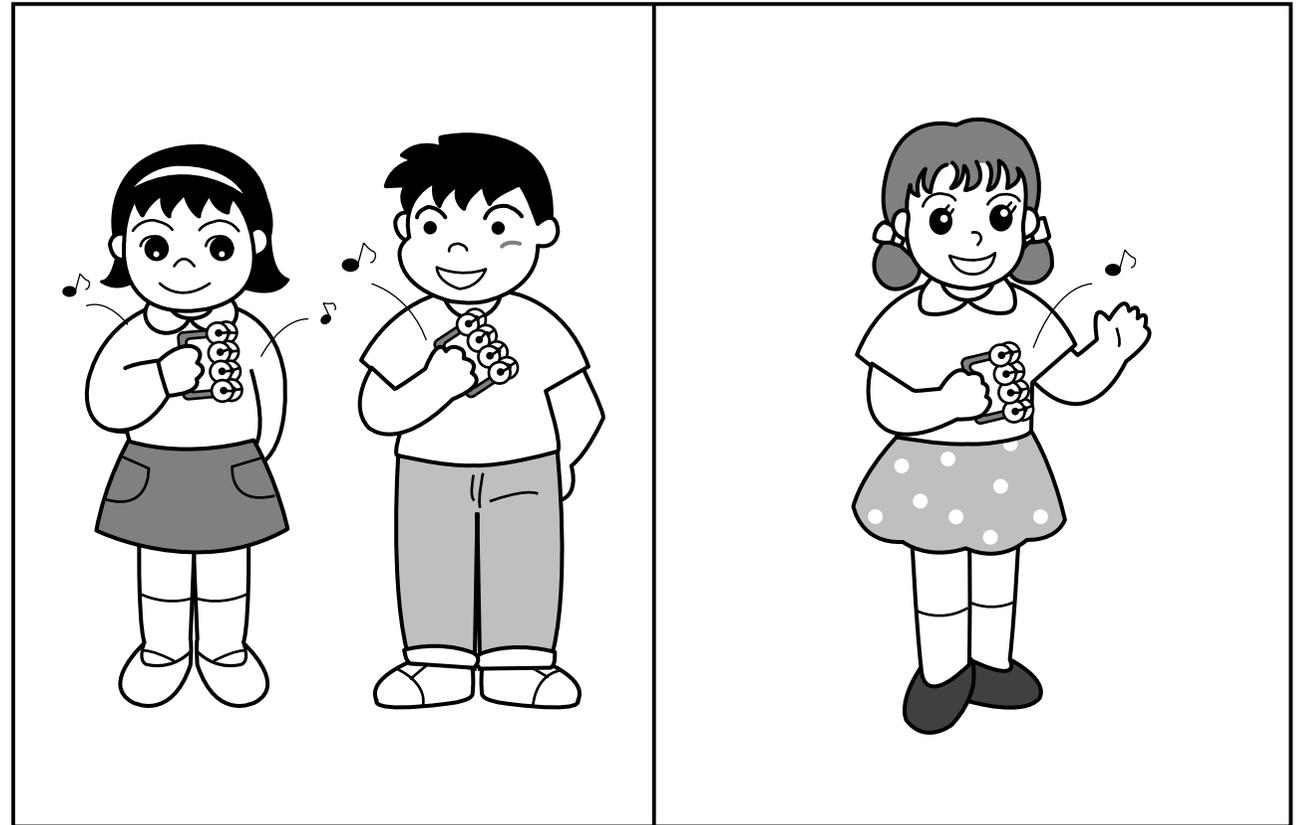
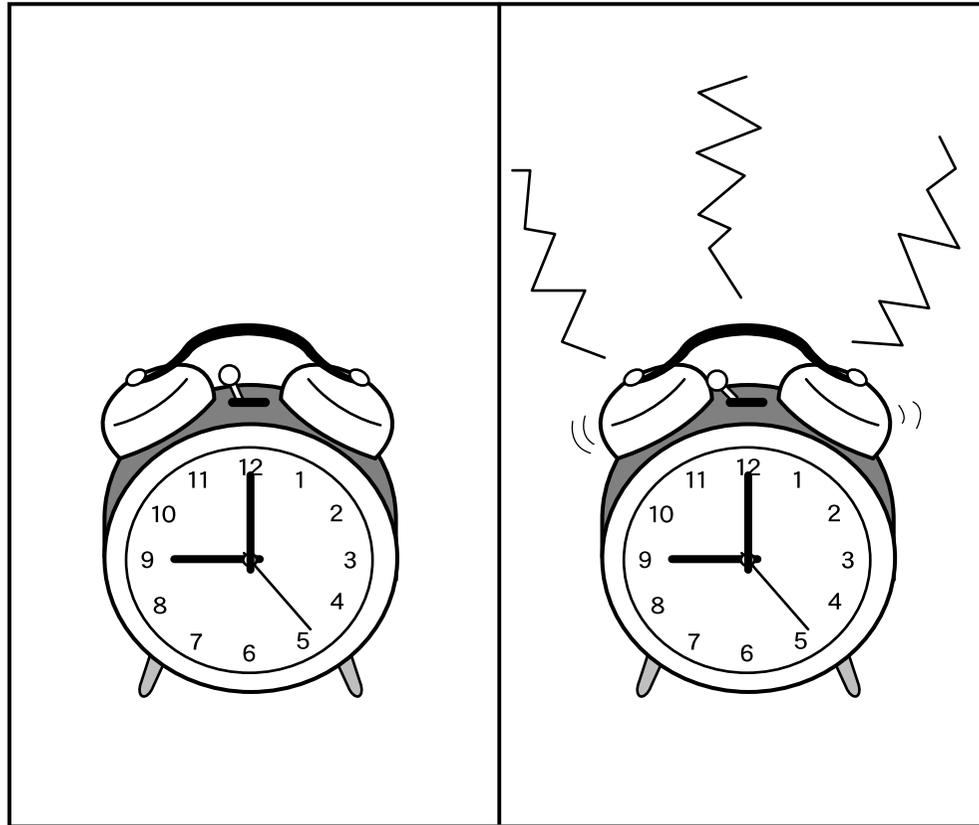


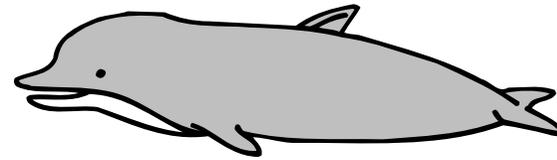
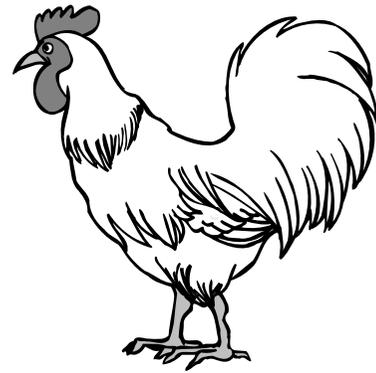
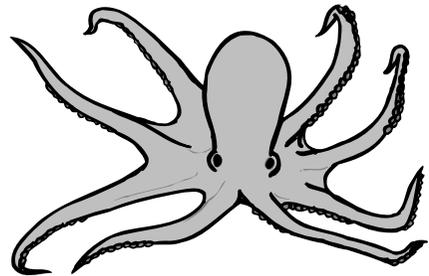
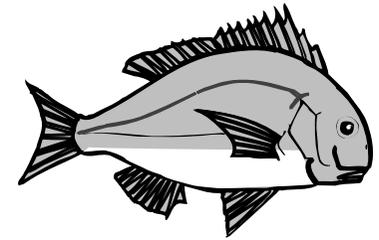
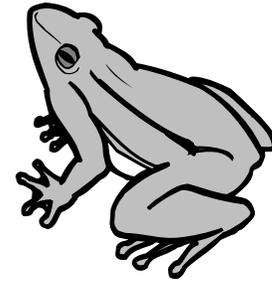
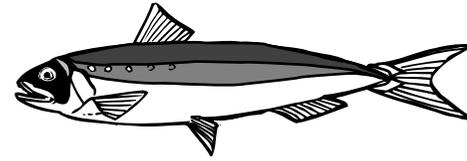
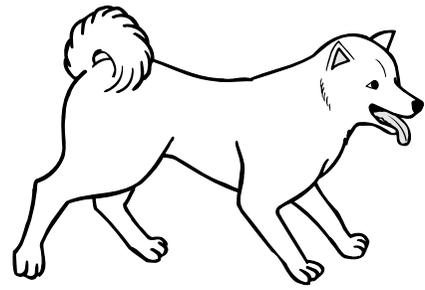


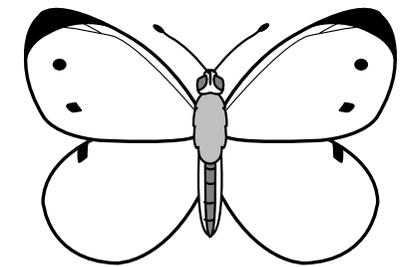
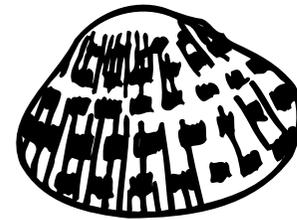
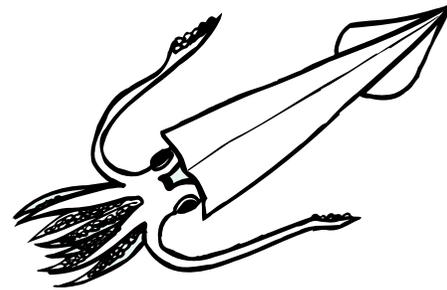
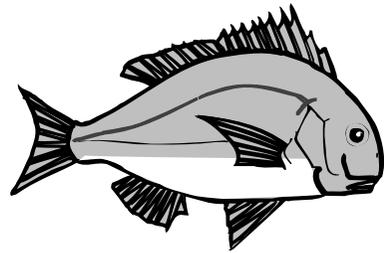
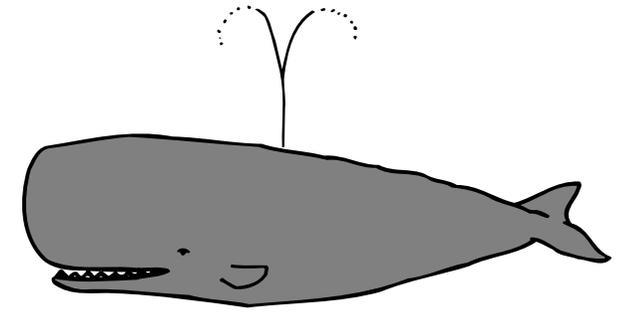
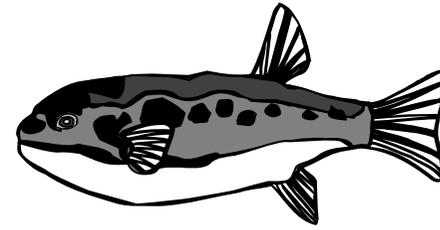
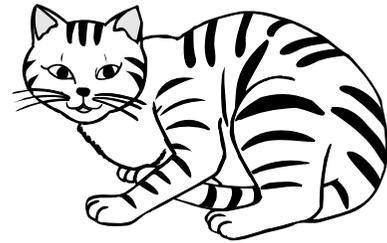
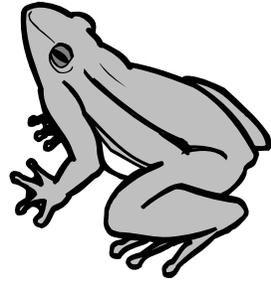


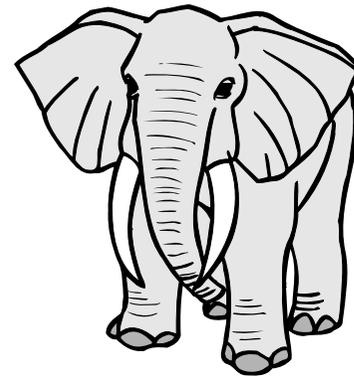
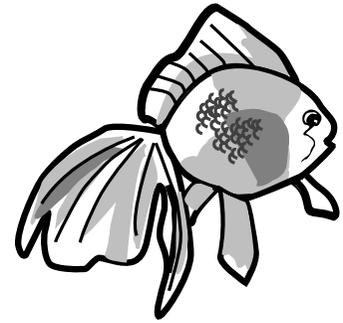
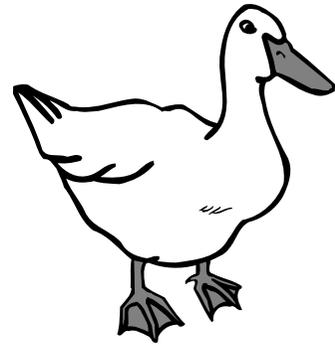


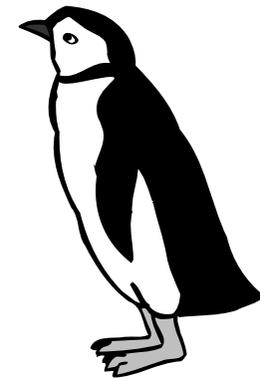
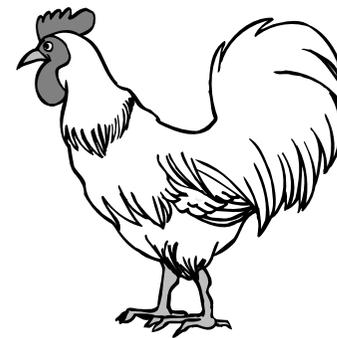
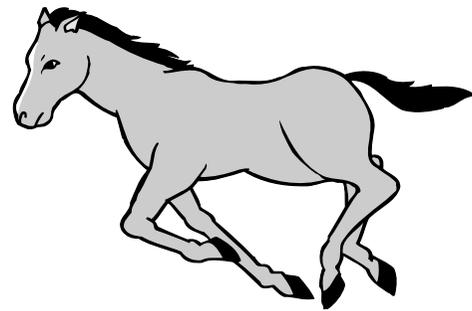
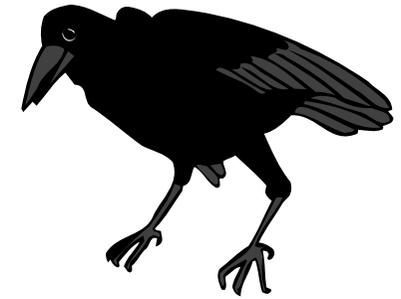
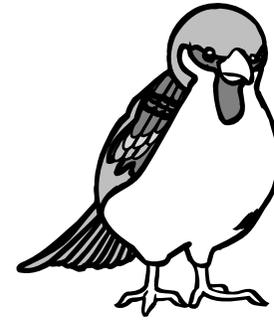
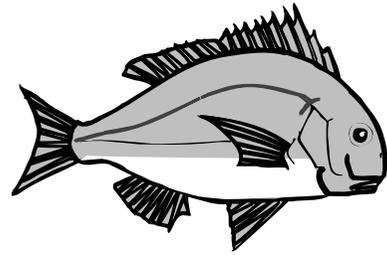
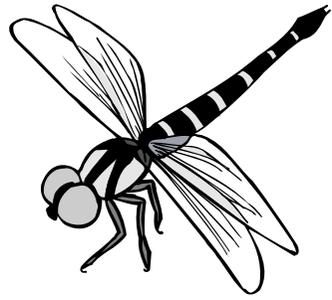


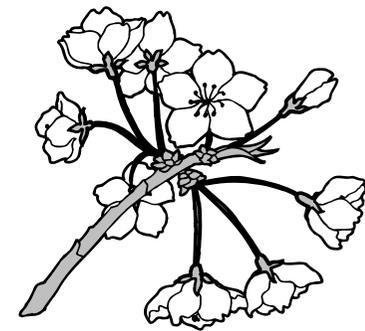
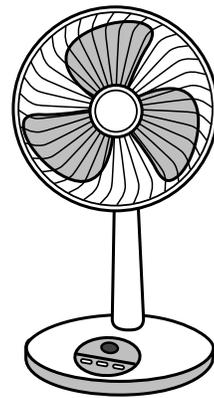
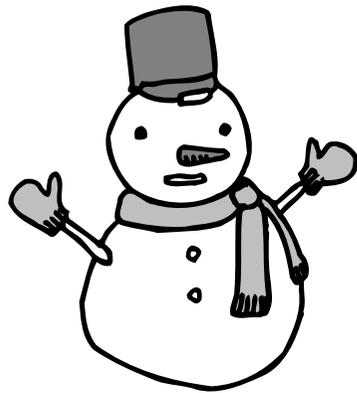
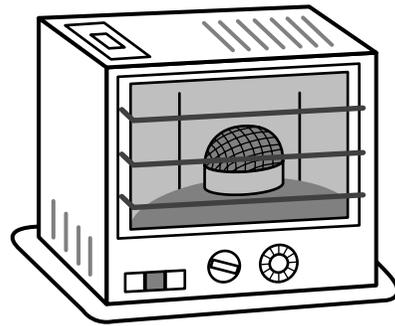
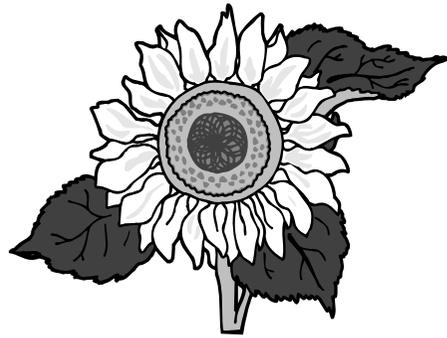


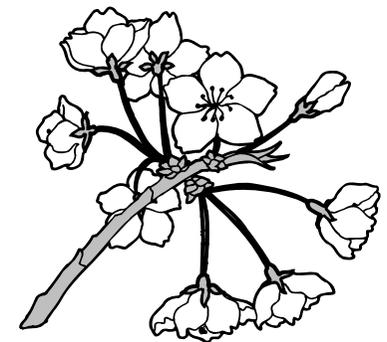
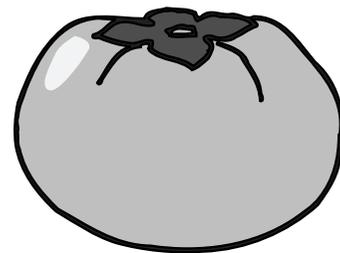
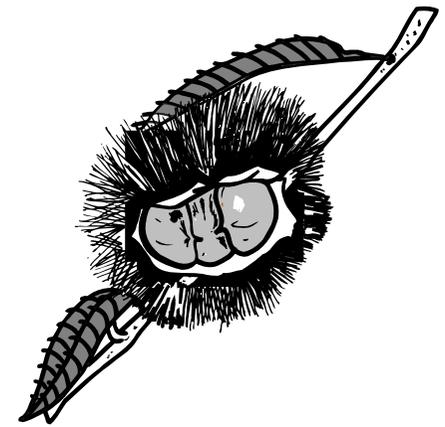
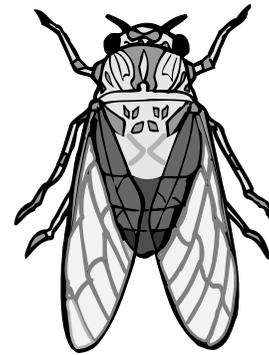


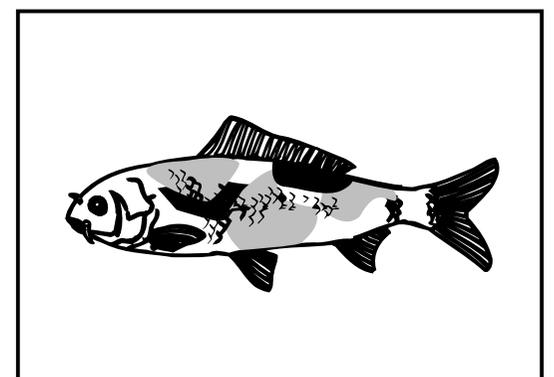
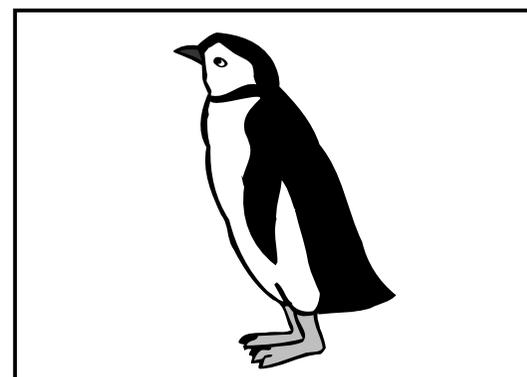
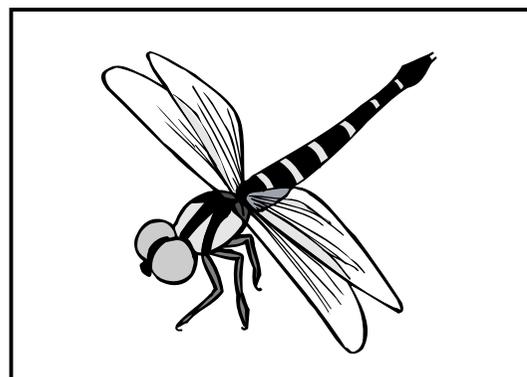
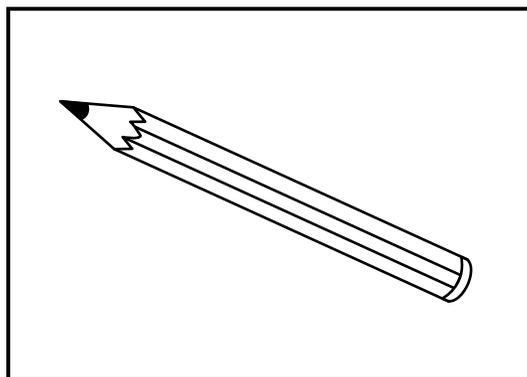
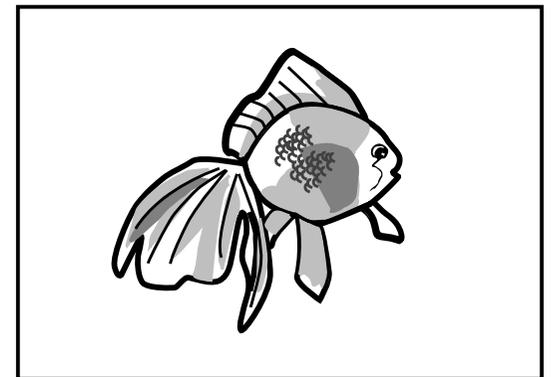
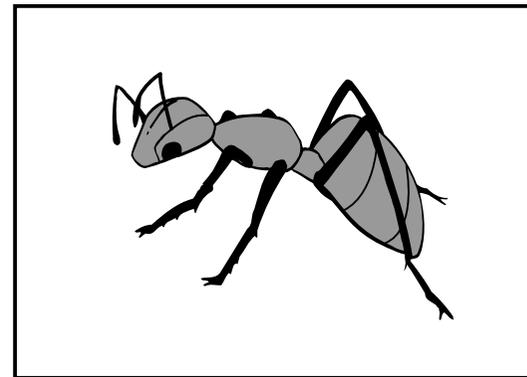
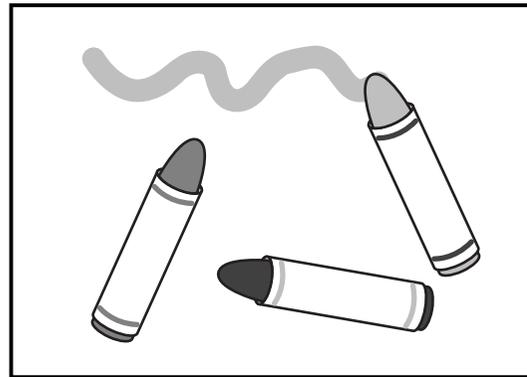
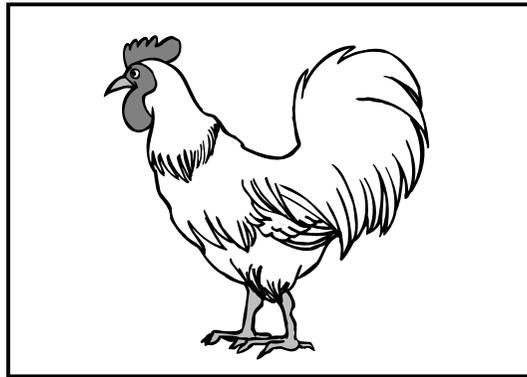


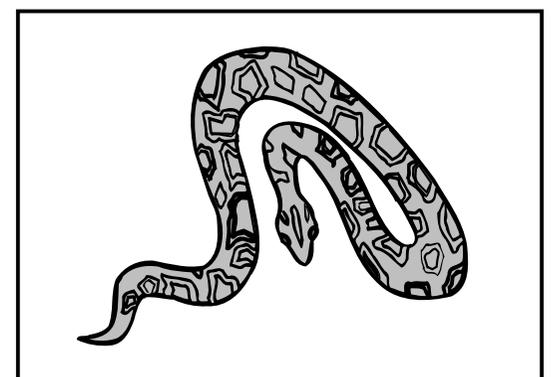
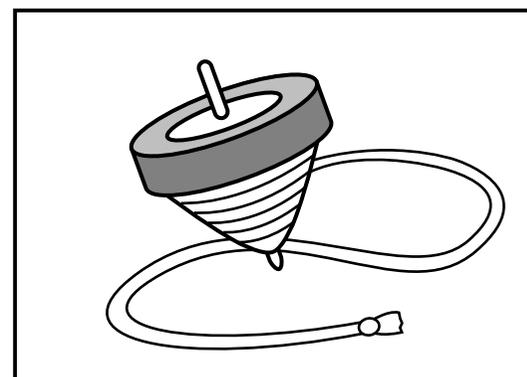
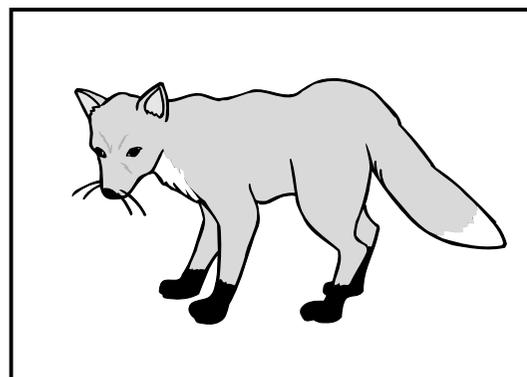
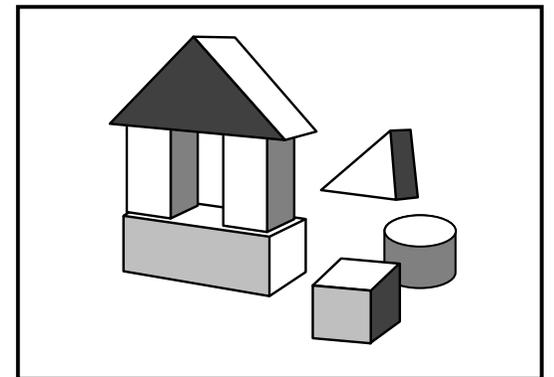
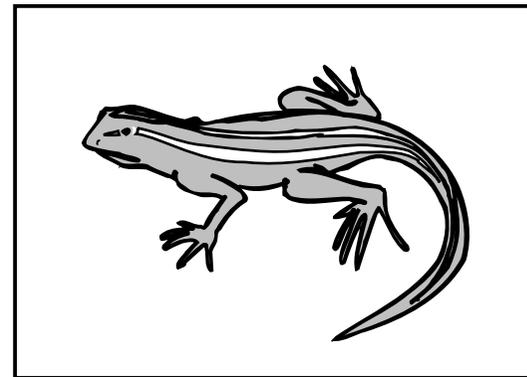
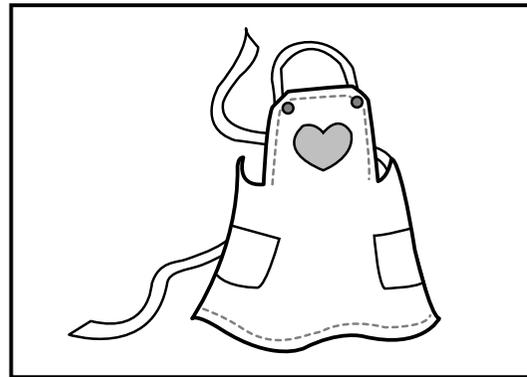
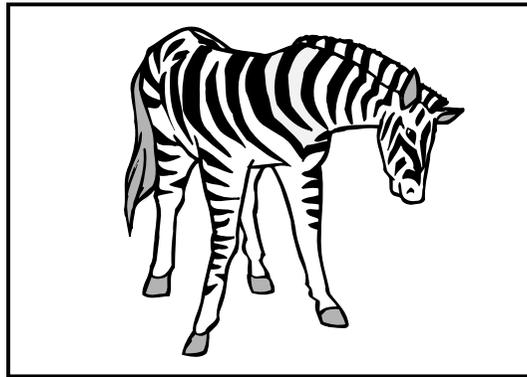


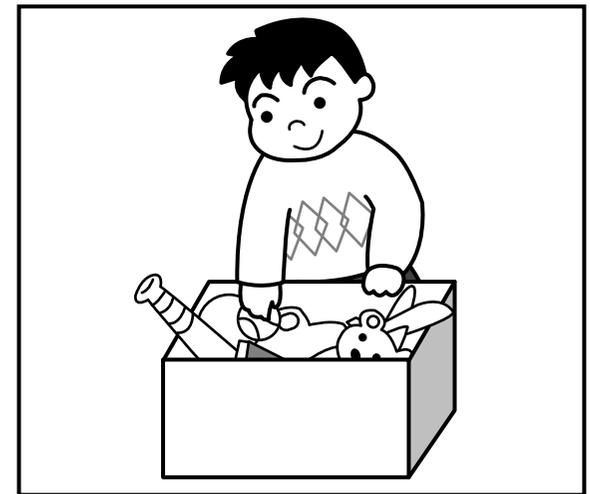
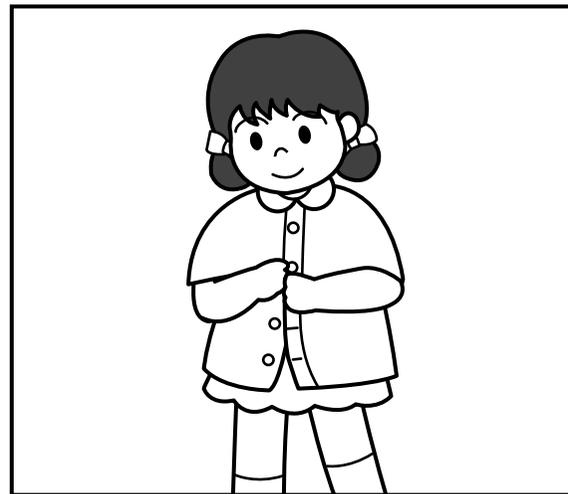
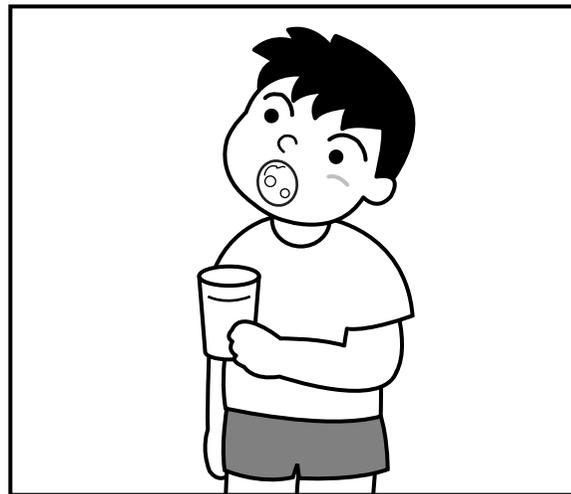
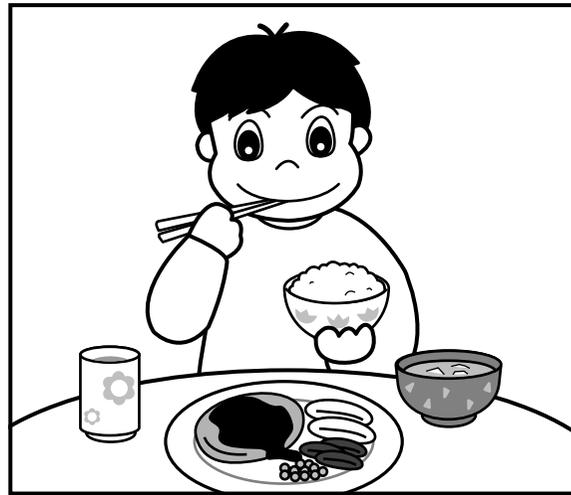


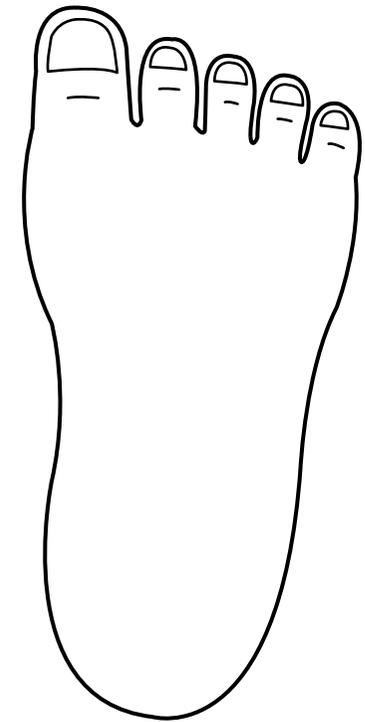
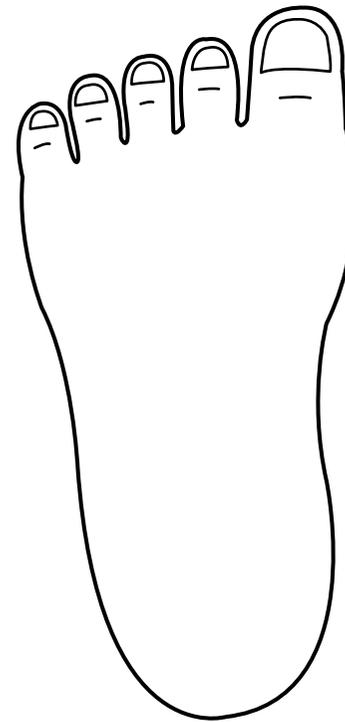
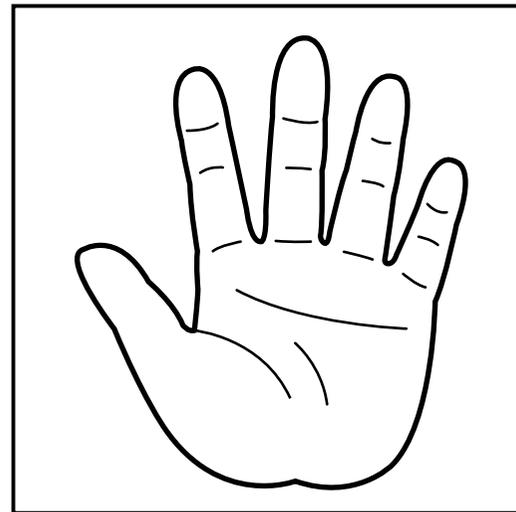
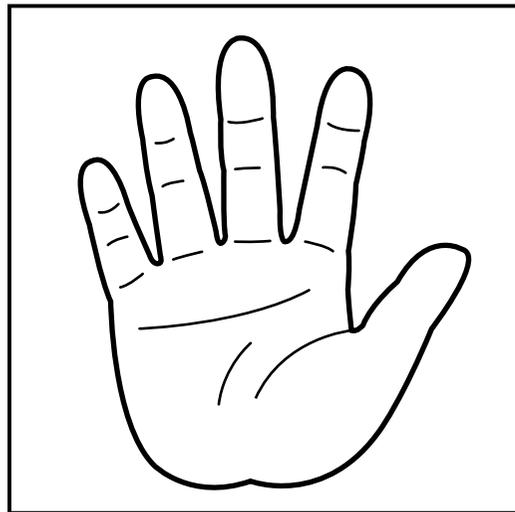
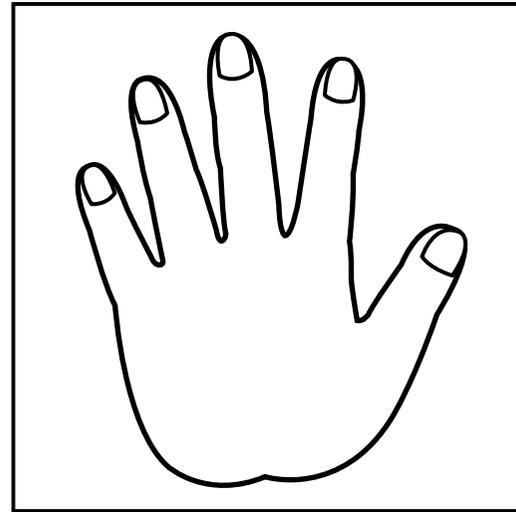
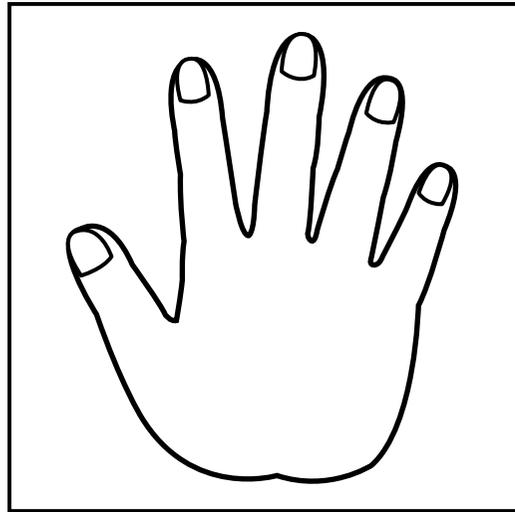












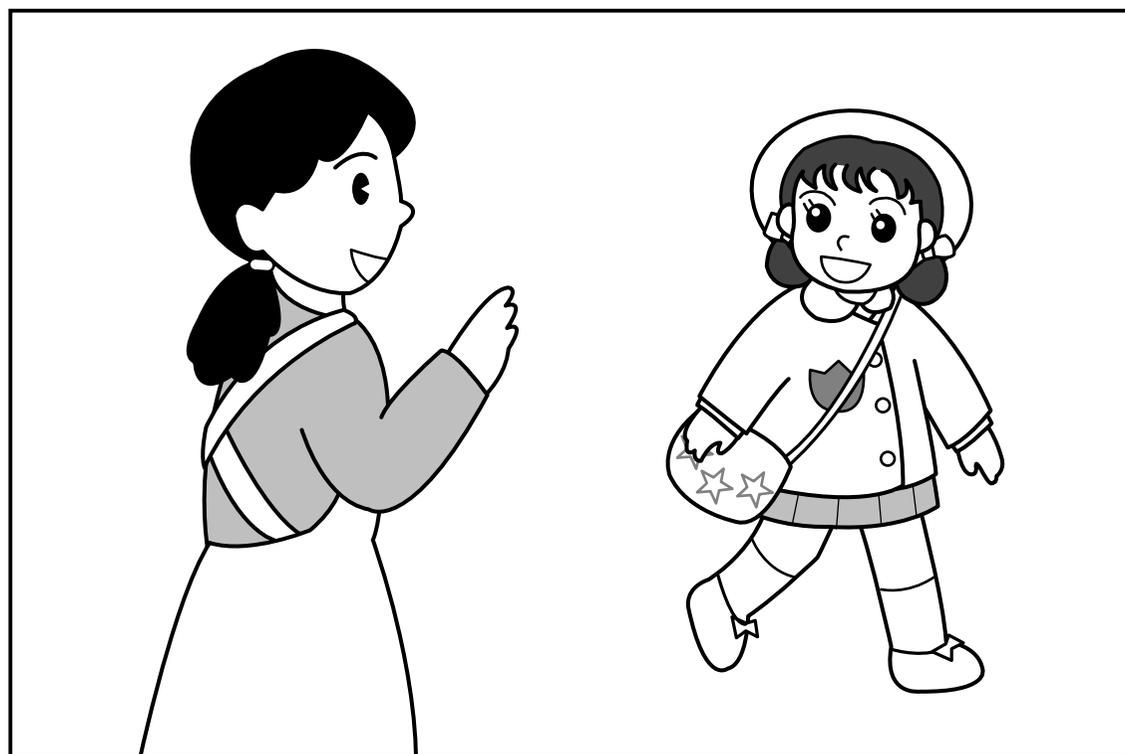
<問題> 絵にあう挨拶を考えましょう。

(1) 女の子は、これから幼稚園に行くところです。女の子は、おかあさんにどんなあいさつをしたらよいでしょうか。

(2) おかあさんは、女の子に何と言えばよいでしょうか。

(3) おとうさんが家に帰ってきました。男の子は何と言えばよいでしょうか。

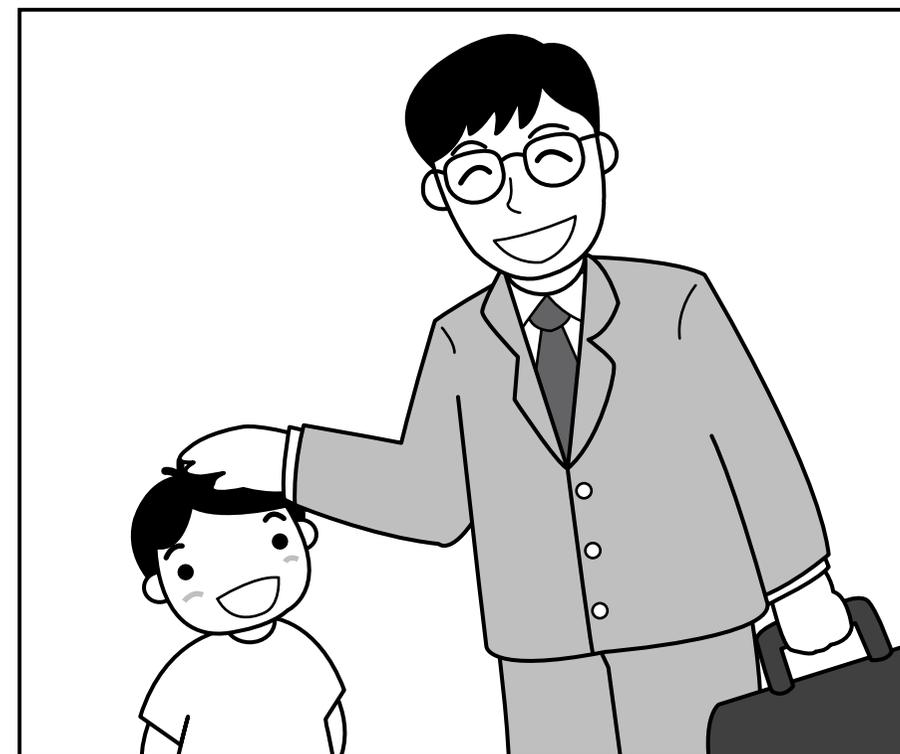
(1) (2)



(1) いってきます

(2) いってらっしゃい

(3)



おかえり

(おかえりなさい)

<指導のポイント>

身近な生活場面で、どんなあいさつをしたらよいかを考えます。お子さんが答えにくいようでしたら、「『いってきます』かな、『いってらっしゃい』かな」とヒントをだして、どちらかをこたえさせてあげるとよいでしょう。毎日きちんとあいさつをする習慣をつけさせましょう。

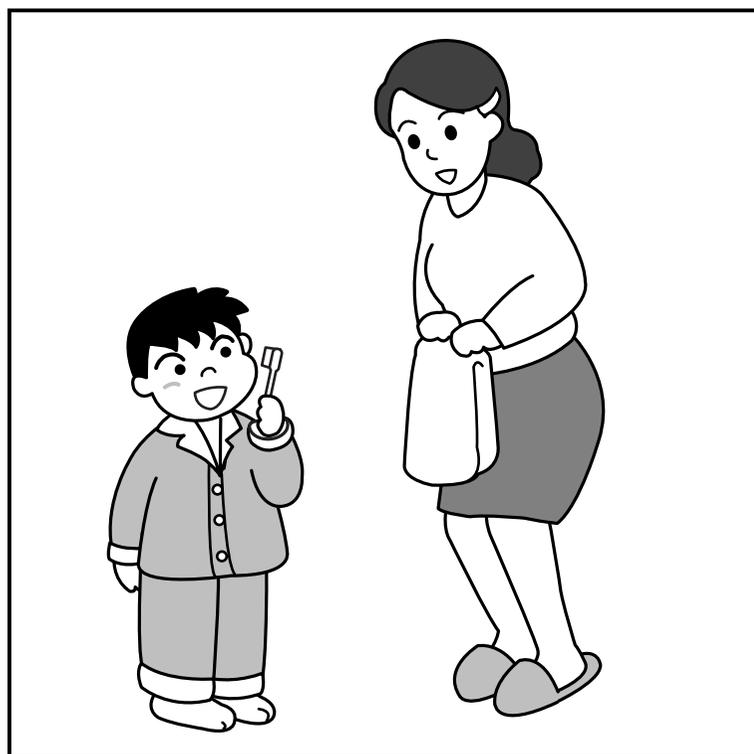
<問題> 絵にあう挨拶を考えましょう。

(1) 朝です。男の子が起きてきました。男の子は、おかあさんにどんなあいさつをしたらよいでしょうか。

(2) 夜です。女の子は、今から寝ます。女の子は、おとうさんにどんなあいさつをしたらよいでしょうか。

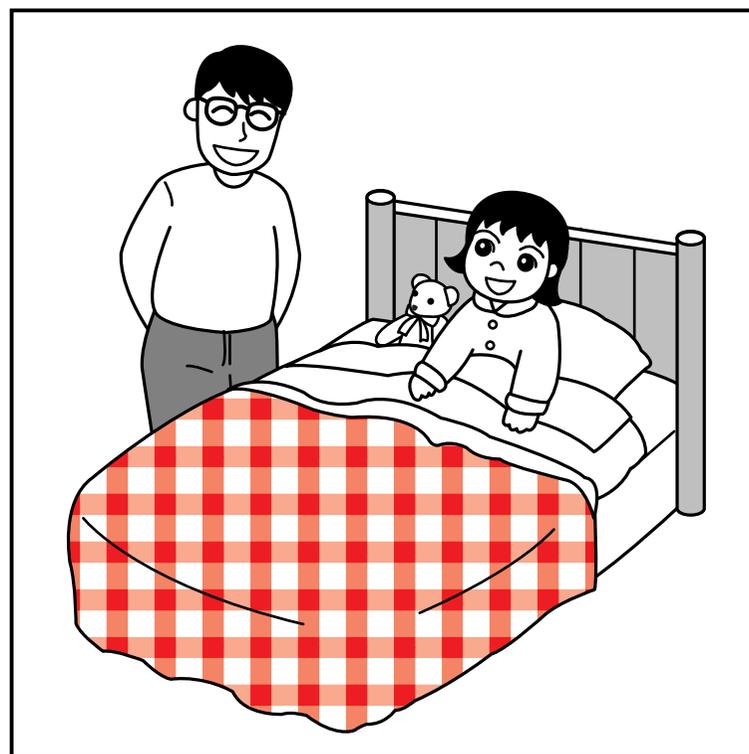
(3) 昼間、女の子が歩いていると、近所のおばさんに会いました。女の子は、おばさんにどんなあいさつをしたらよいでしょうか。

(1)



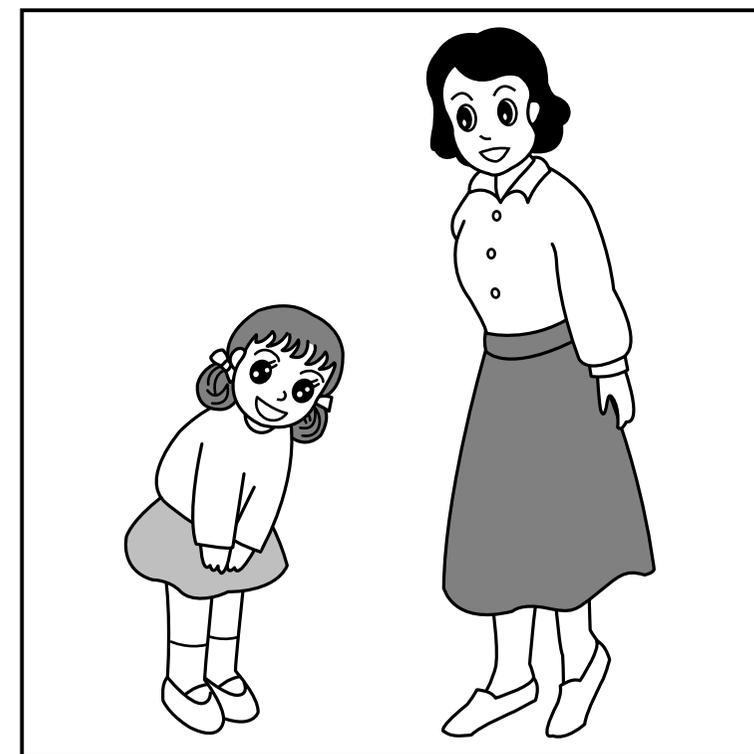
おはよう
(おはようございます)

(2)



おやすみ
(おやすみなさい)

(3)



こんにちは

<指導のポイント>

身近な生活場面で、どんなあいさつをしたらよいかを考えます。お子さんが答えにくいようでしたら、「『おはよう』かな、『おやすみ』かな」とヒントをだして、どちらかをこたえさせてあげるとよいでしょう。毎日きちんとあいさつをする習慣をつけさせましょう。

<問題> 絵にあう挨拶を考えましょう。

(1) 幼稚園が終わって、帰るところです。女の子は、先生に何とえばよいでしょうか。

(2) 男の子は、今幼稚園から帰ってきました。男の子は、おかあさんに何とえばよいでしょうか。

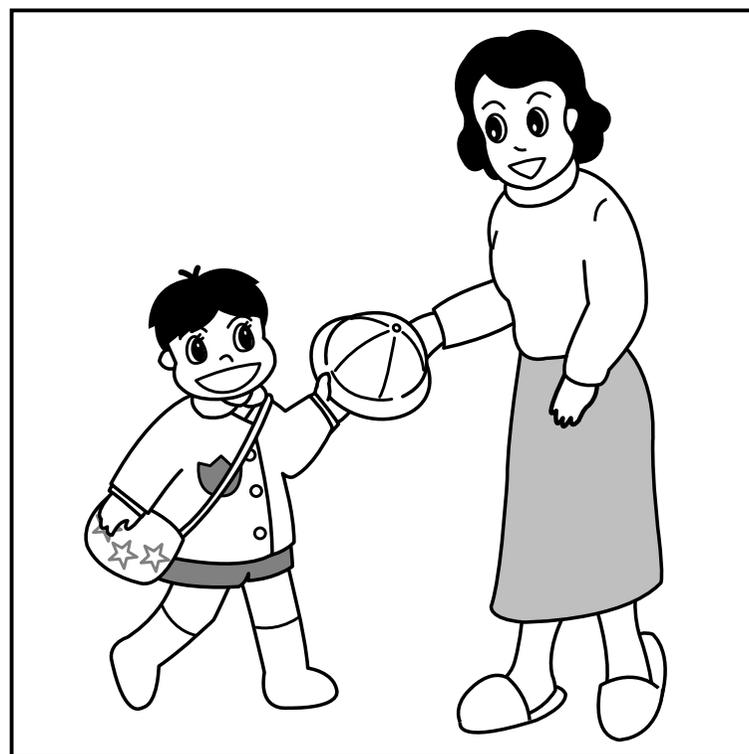
(3) 男の子は、これから、おやつを食べるところです。男の子は何とえばよいでしょうか。

(1)



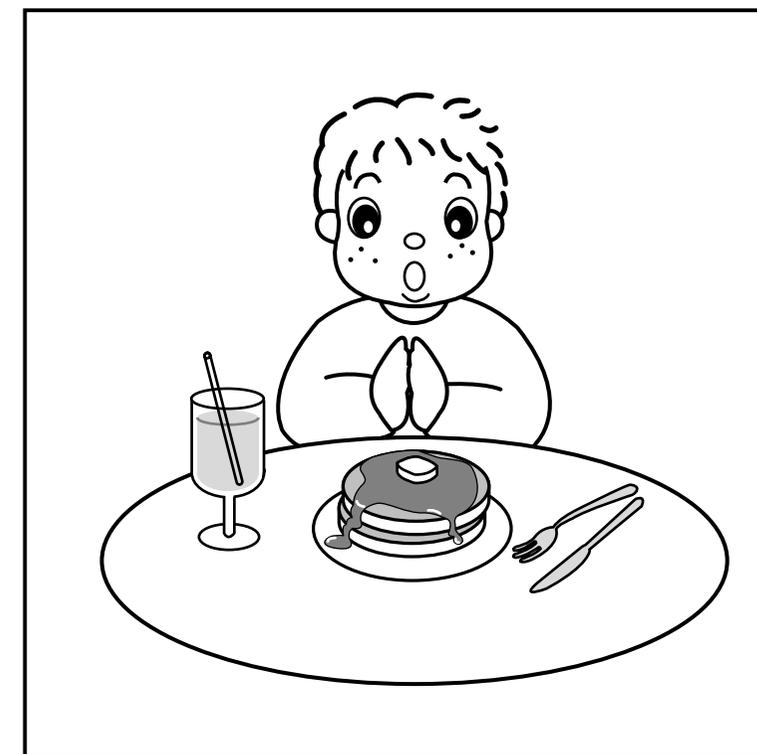
さようなら

(2)



ただいま

(3)



いただきます

<指導のポイント>

身近な生活場面で、どんなあいさつをしたらよいかを考えます。お子さんが答えにくいようでしたら、「『いただきます』かな、『ごちそうさま』かな」とヒントをだして、どちらかをこたえさせてあげるとよいでしょう。家族みんなが、毎日きちんとあいさつをする習慣をつけましょう。

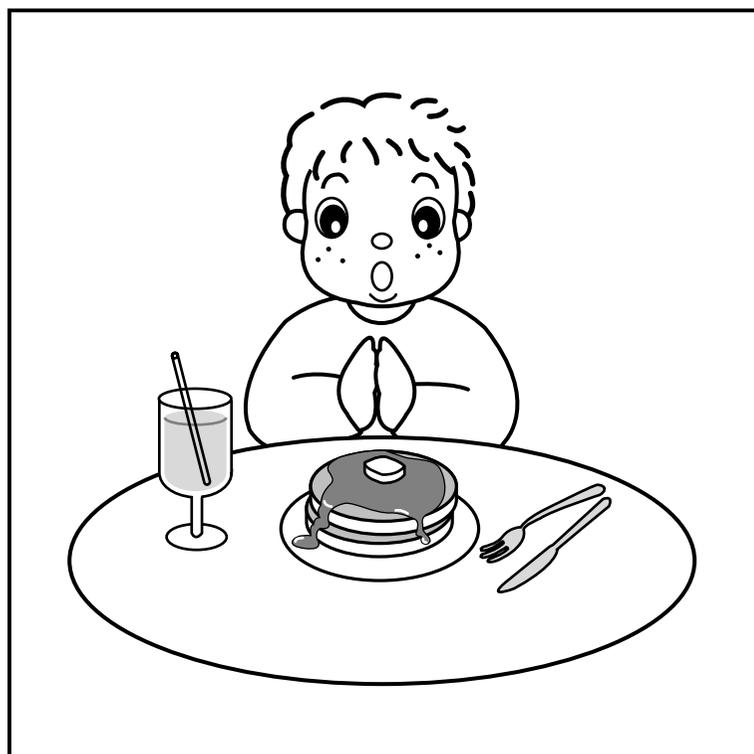
<問題> 絵にあう挨拶を考えましょう。

(1) 男の子は、これから、おやつを食べるところです。男の子は、何と云えばよいでしょうか。

(2) 男の子は、今おやつを食べ終わったところです。男の子は、何と云えばよいでしょうか。

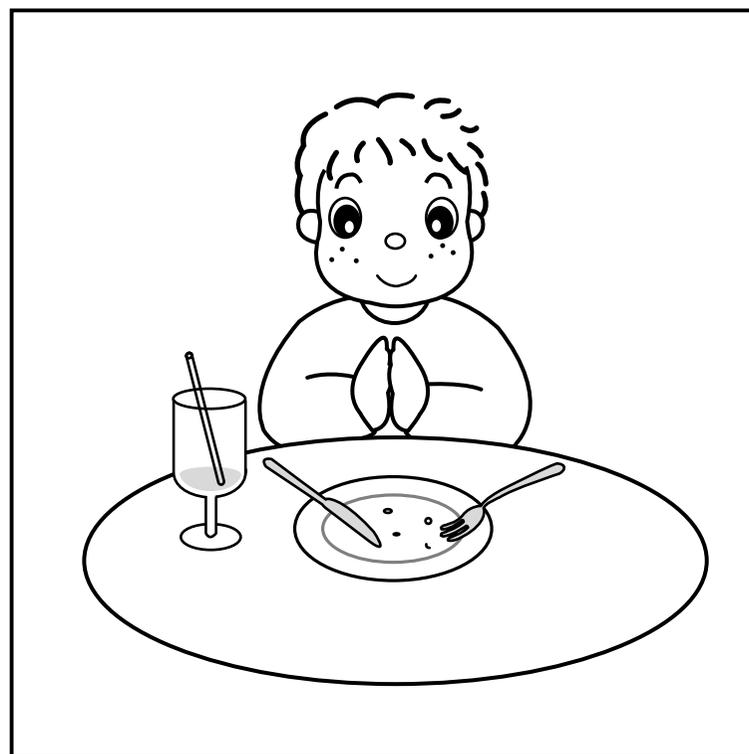
(3) 男の子は、今幼稚園から帰ってきたところです。男の子は、おかあさんにどんなあいさつをしたらよいでしょうか。

(1)



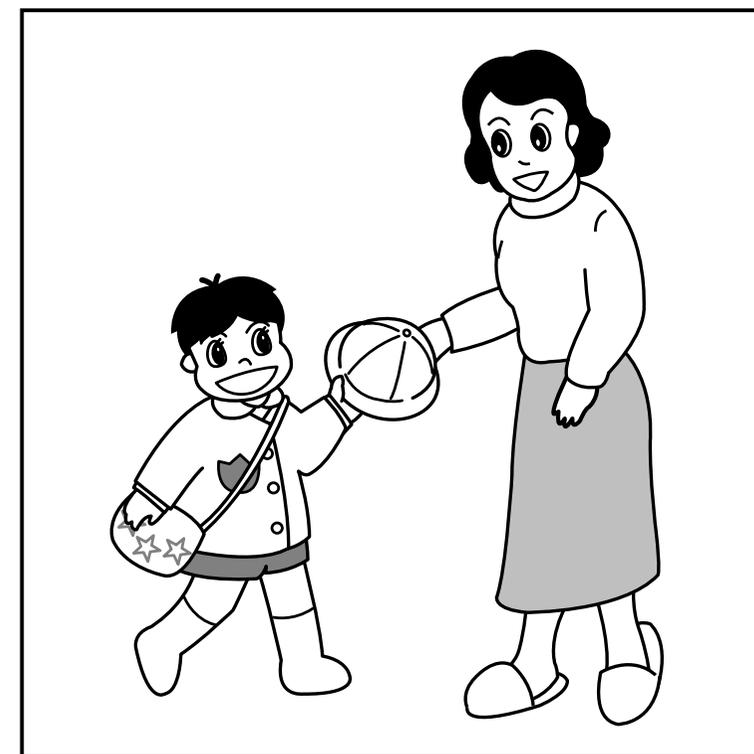
いただきます

(2)



ごちそうさま

(3)

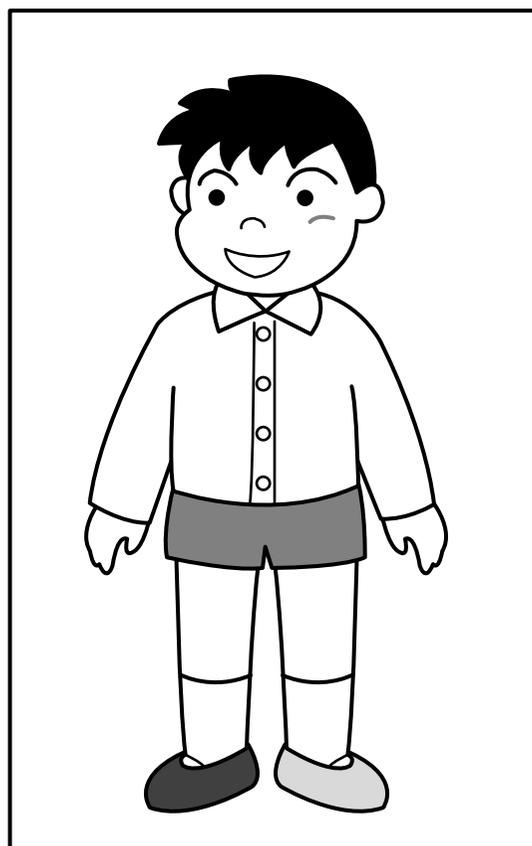


ただいま

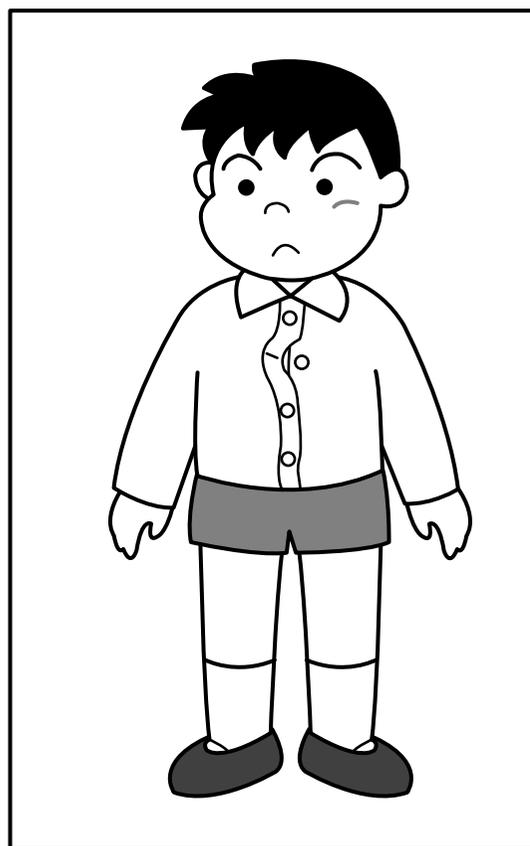
<指導のポイント>

身近な生活場面で、どんなあいさつをしたらよいかを考えます。お子さんが答えにくいようでしたら、「『いただきます』かな、『ごちそうさま』かな」とヒントをだして、どちらかをこたえさせてあげるとよいでしょう。家族みんなが、毎日きちんとあいさつをする習慣をつけましょう。

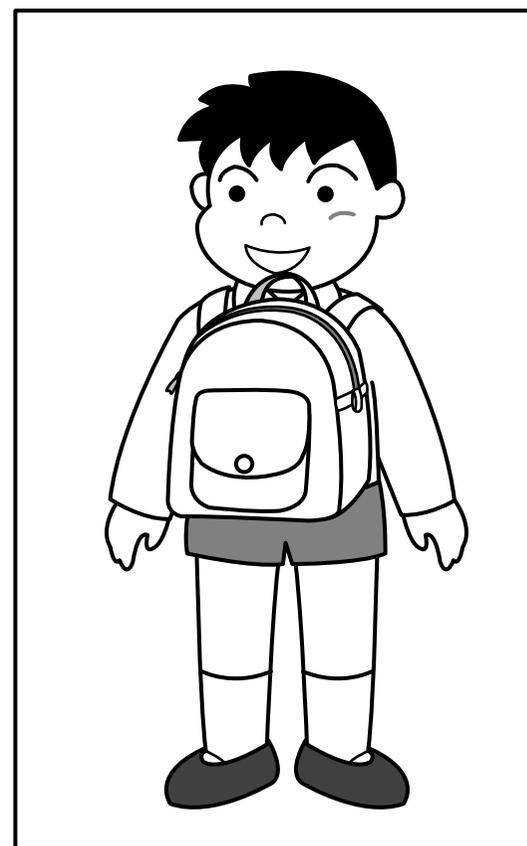
<問題> きがえがうまくできていません。どこがおかしいか、言ってみましょう。



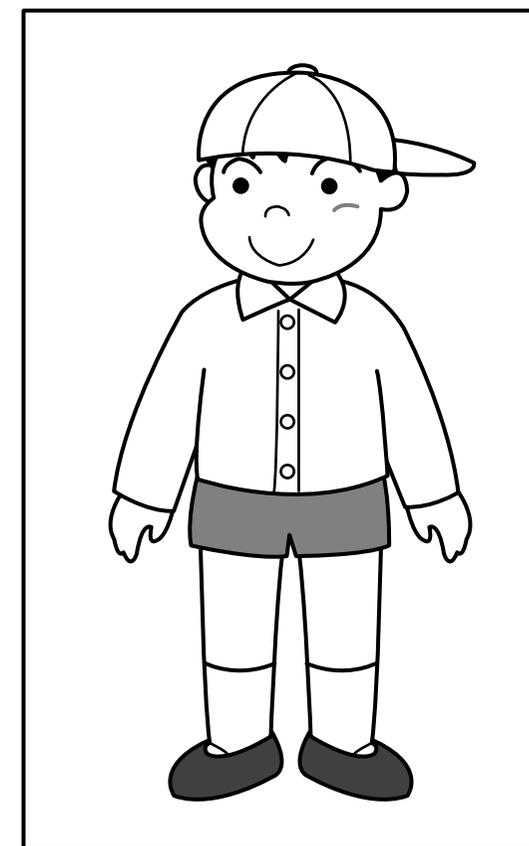
くつを片方まちがえてはいて
いる



ボタンを1つかけ忘れている



リュックサックを前にかけて
いる

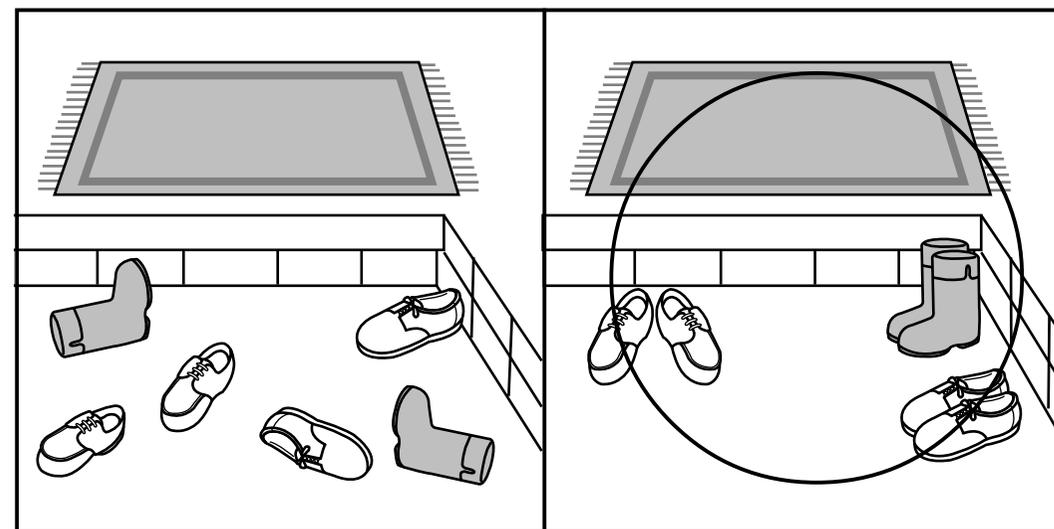
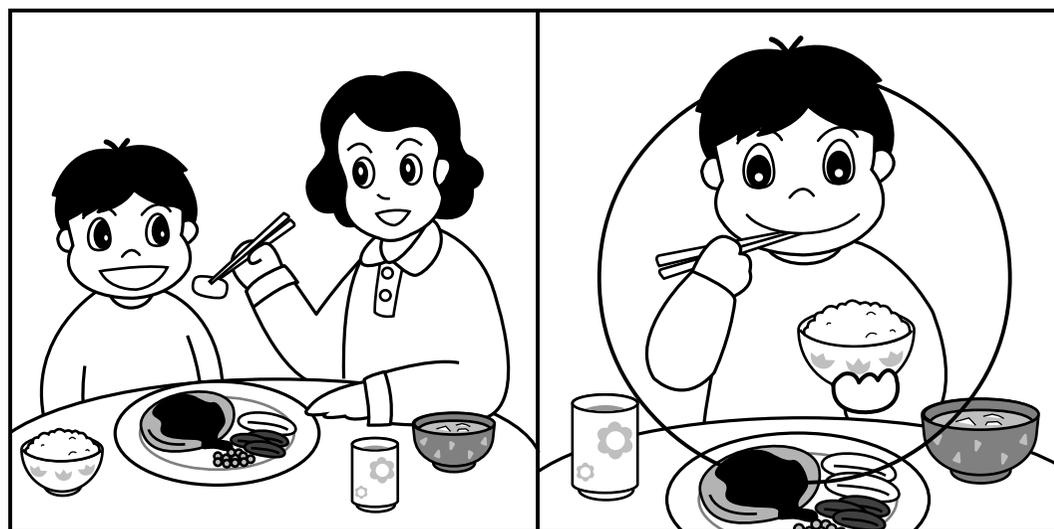
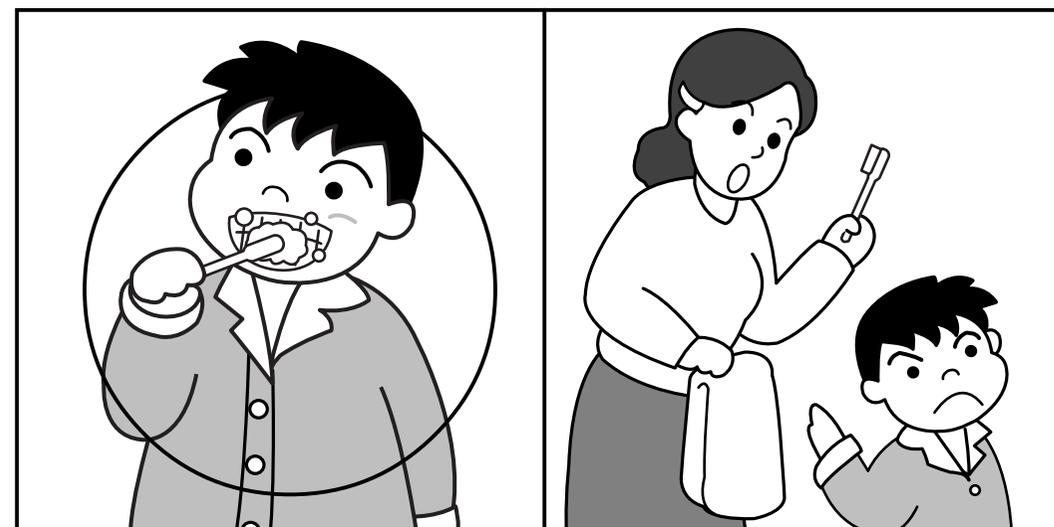
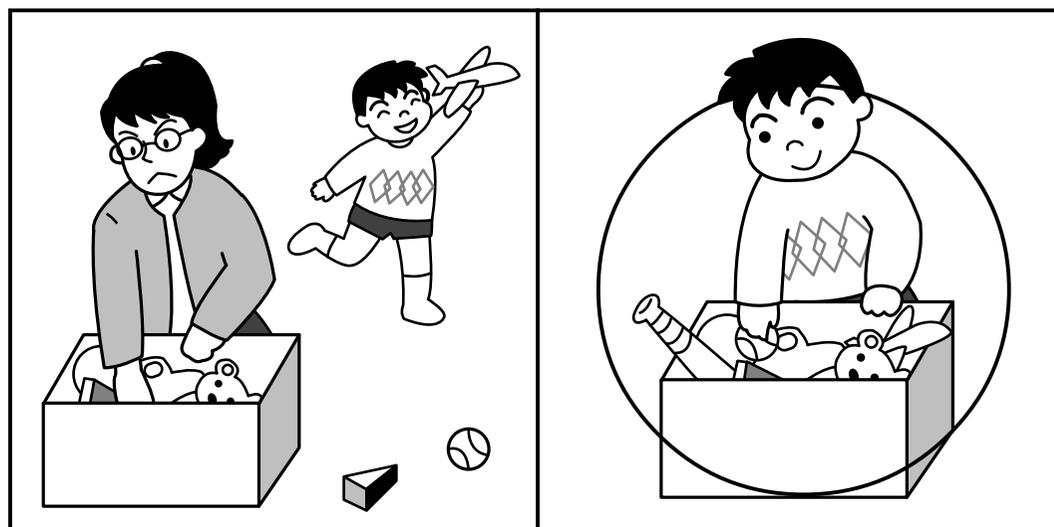


ぼうしを横向きにかぶっている

<指導のポイント>

絵をよく見て、おかしいところを見つけましょう。お子さんに「自分で服を着ることができるかどうか」質問してあげて、できると答えた子は、ほめてあげてください。

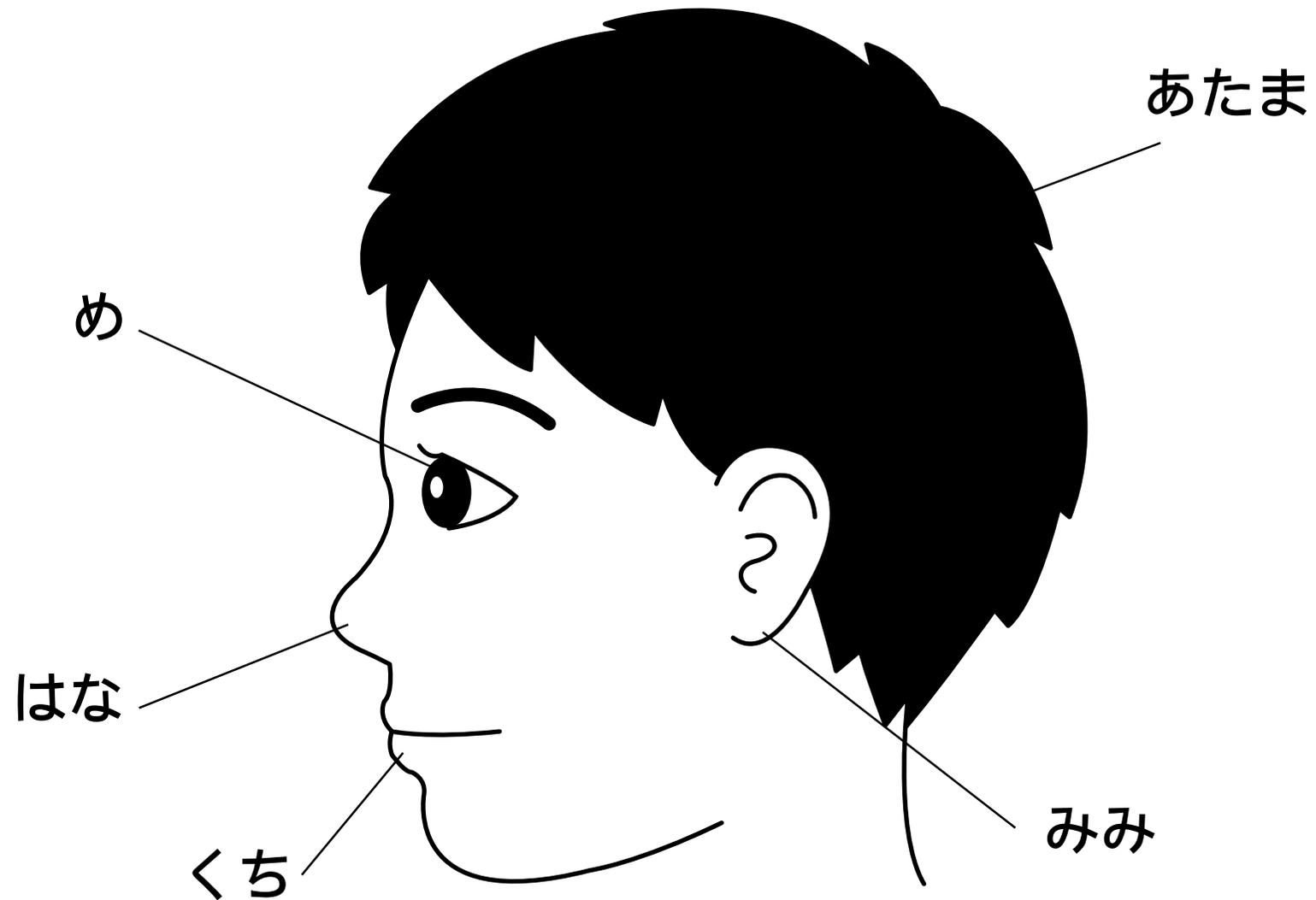
<問題> よい子の方に をつけましょう。



<指導のポイント>

「左側の子はお母さんに片付けてもらっているけれど、右側の子は、自分で片付けていますね。どちらがいいでしょう。」というように、二つの絵がどう違っているか、説明してあげて、お子さんに考えさせるとよいでしょう。自分で身のまわりのことをきちんとできるのがよい子だということに気づかせましょう。

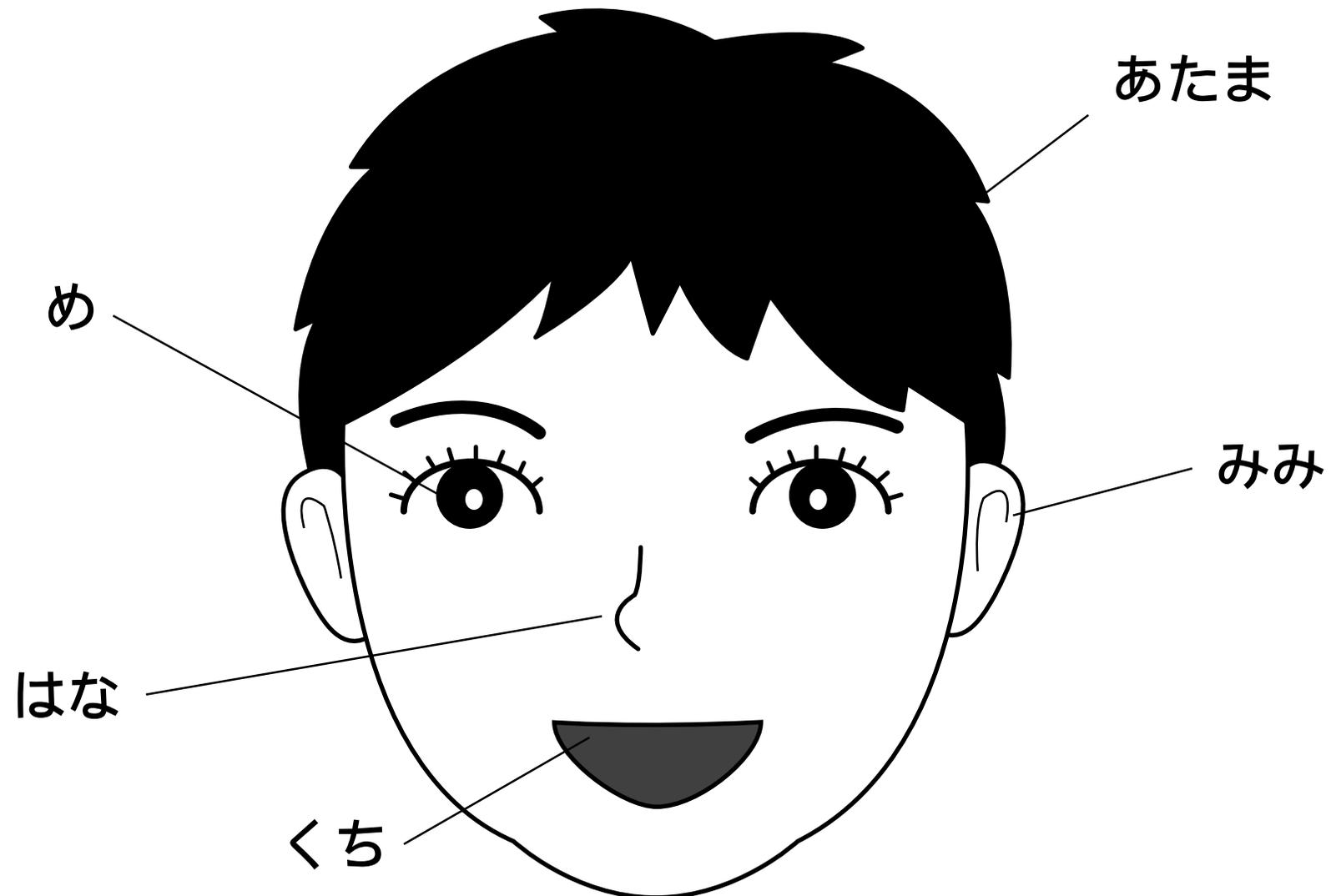
<問題> 男の子の顔の絵で、「目」はどこですか。指さしましょう。
(同様に、「鼻」「口」「耳」「頭」を指さしましょう。)



<指導のポイント>

顔の部分の名前を言いながら、自分の顔のその部分をさわらせてみましょう。「頭」「目」「耳」「口」「鼻」。

<問題> 男の子の顔の絵で、「目」はどこですか。指さしましょう。
(同様に、「鼻」「口」「耳」「頭」を指さしましょう。)

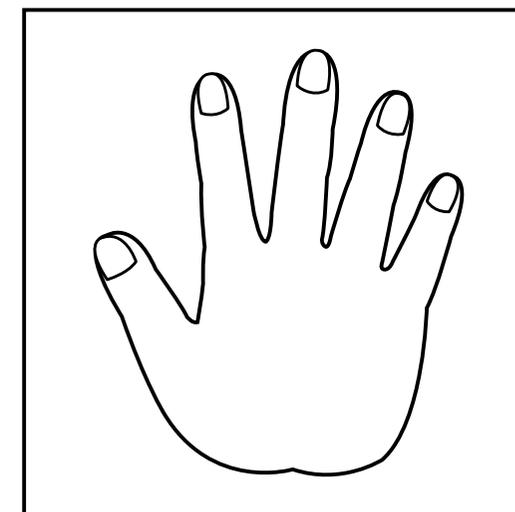
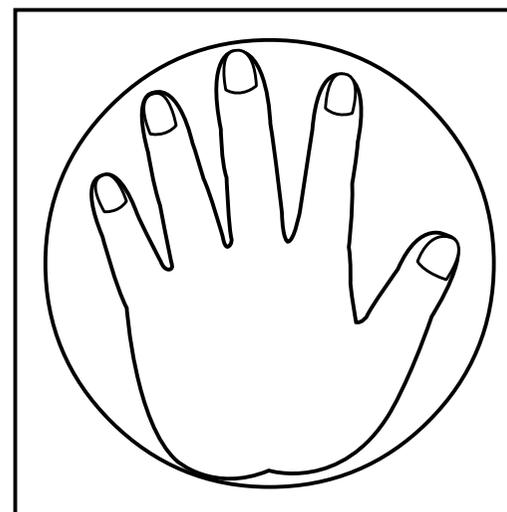
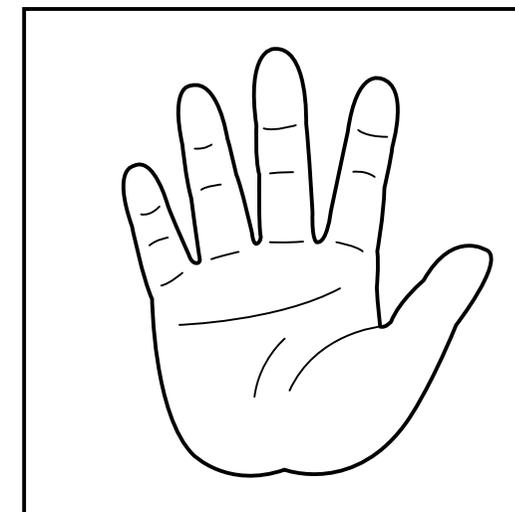
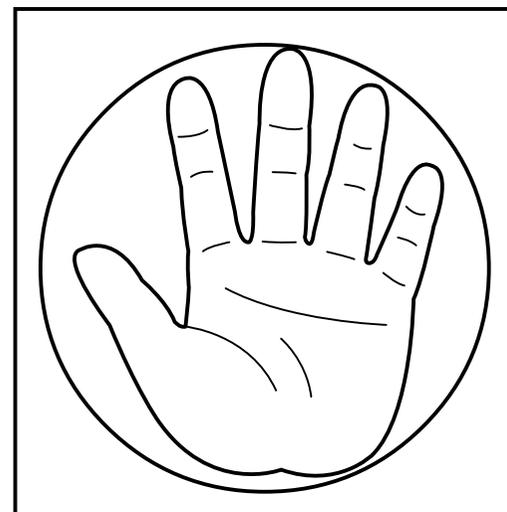


<指導のポイント>

顔の部分の名前を言いながら、自分の顔のその部分をさわらせてみましょう。「頭」「目」「耳」「口」「鼻」。

<問題> (1)てのひらを下にして、左手を紙におきましょう。
右手に鉛筆(またはクレヨン)を持って、左手の形をかきましょう。

(2)左手に をつけましょう。

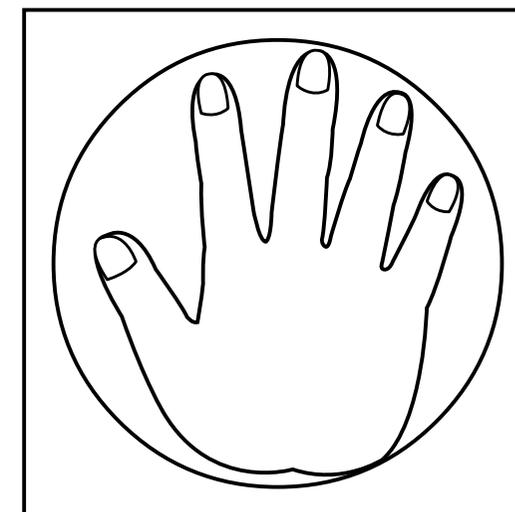
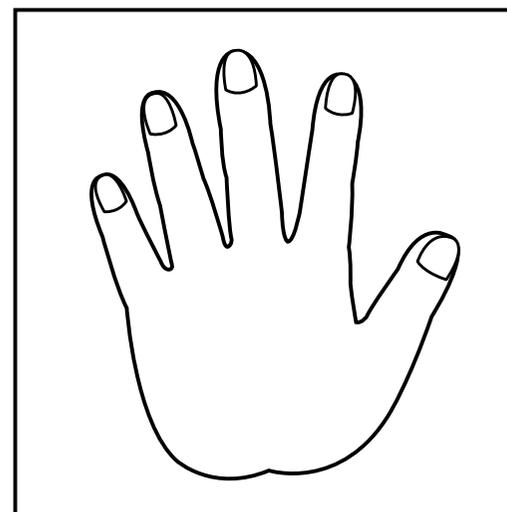
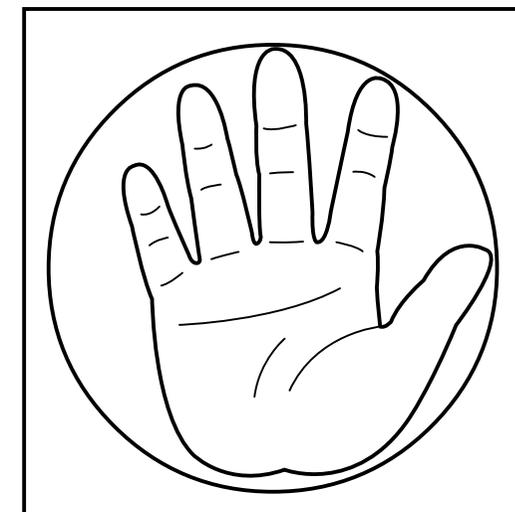
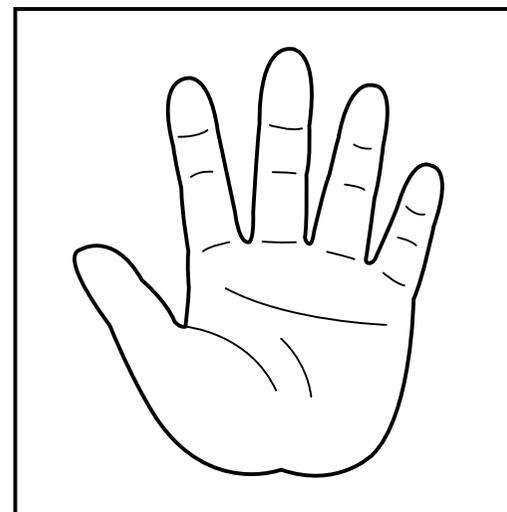


<指導のポイント>

(1)では、おうちの方が輪郭をかいてあげてもかまいません。おうちの方の手の形も重ねてかいて、大きさを比べてみてもよいでしょう。自分の手でしっかり左右の区別ができるように、ふだんから意識して練習しましょう。

<問題> (1)てのひらを上にして、左手を紙におきましょう。
右手に鉛筆(またはクレヨン)を持って、左手の形をかきましょう。

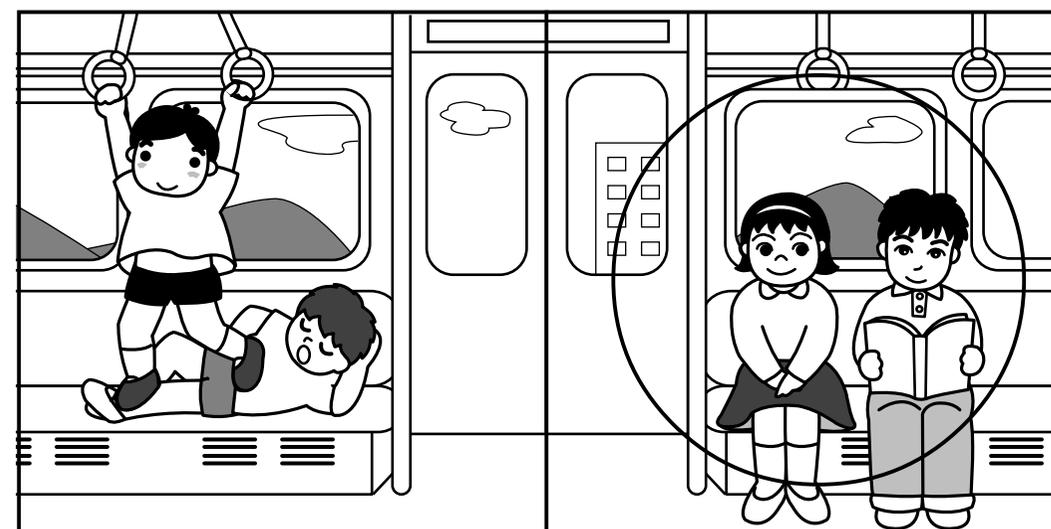
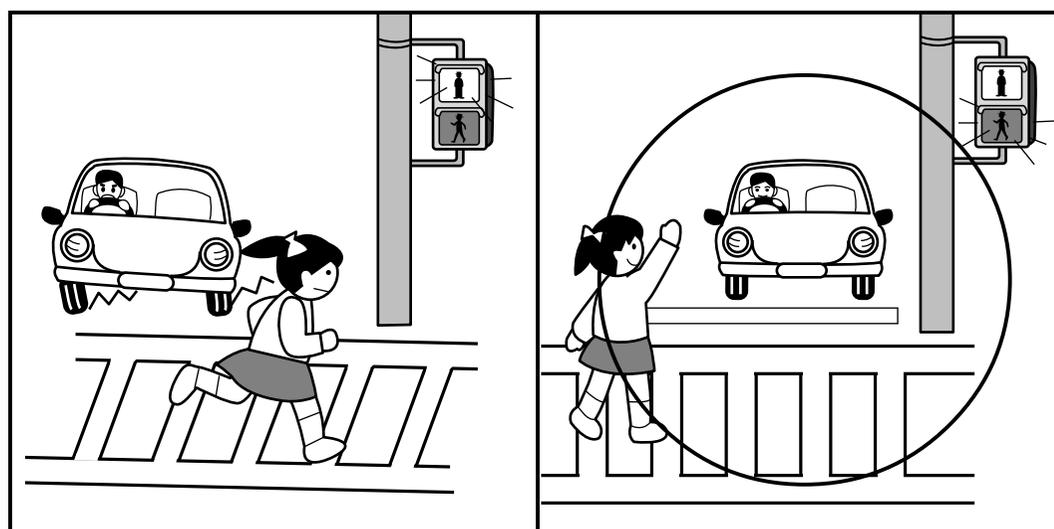
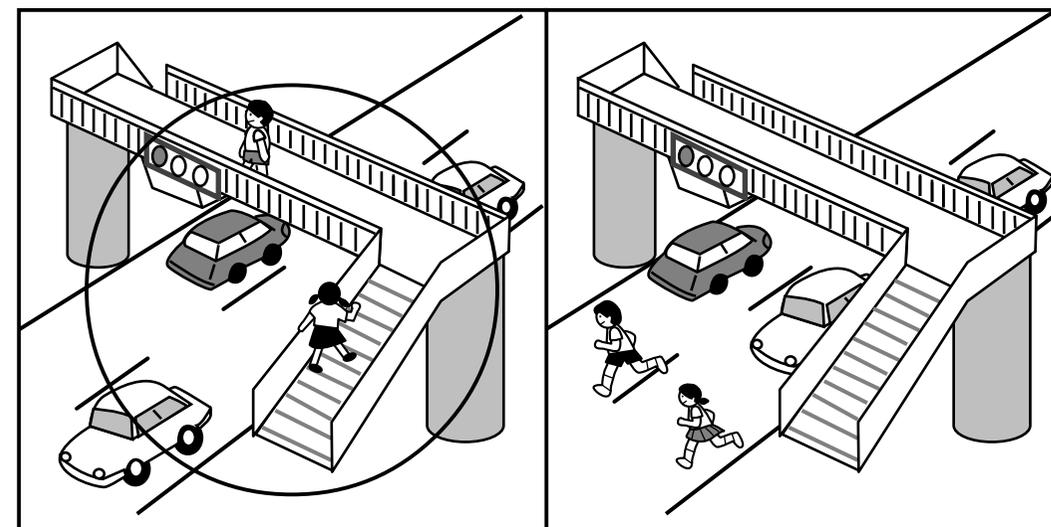
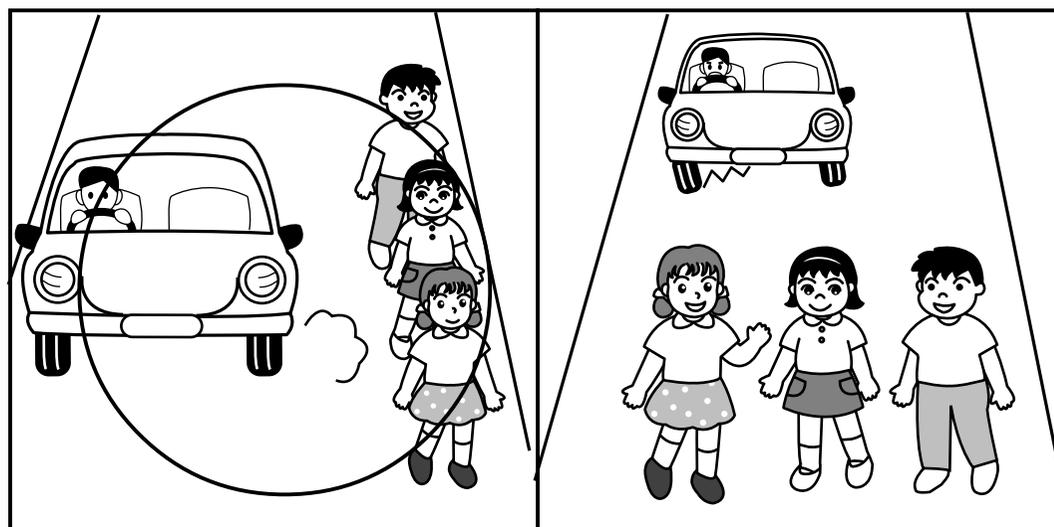
(2)右手に をつけましょう。



<指導のポイント>

(1)では、おうちの方が輪郭をかいてあげてもかまいません。おうちの方の手の形も重ねてかいて、大きさを比べてみてもよいでしょう。自分の手でしっかり左右の区別ができるように、ふだんから意識して練習しましょう。

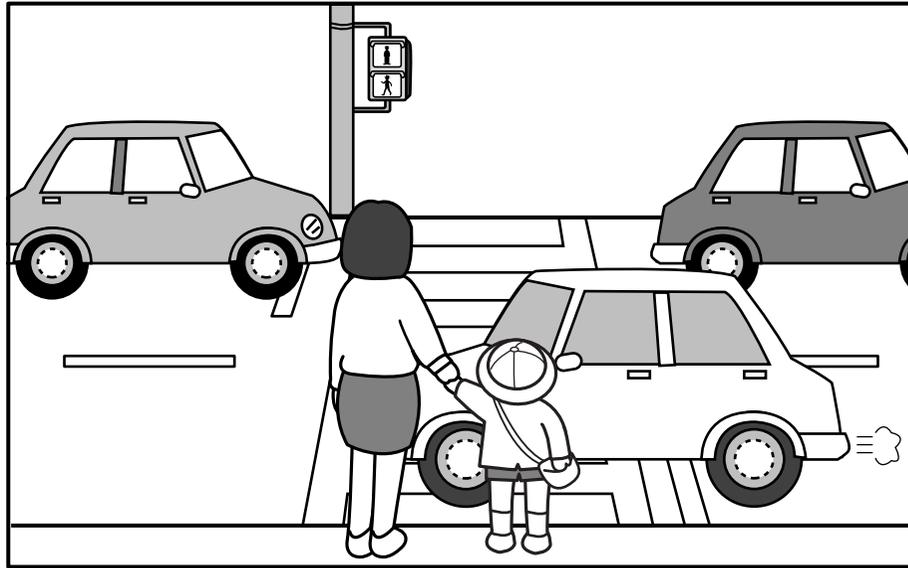
<問題> よい子の方に をつけましょう。



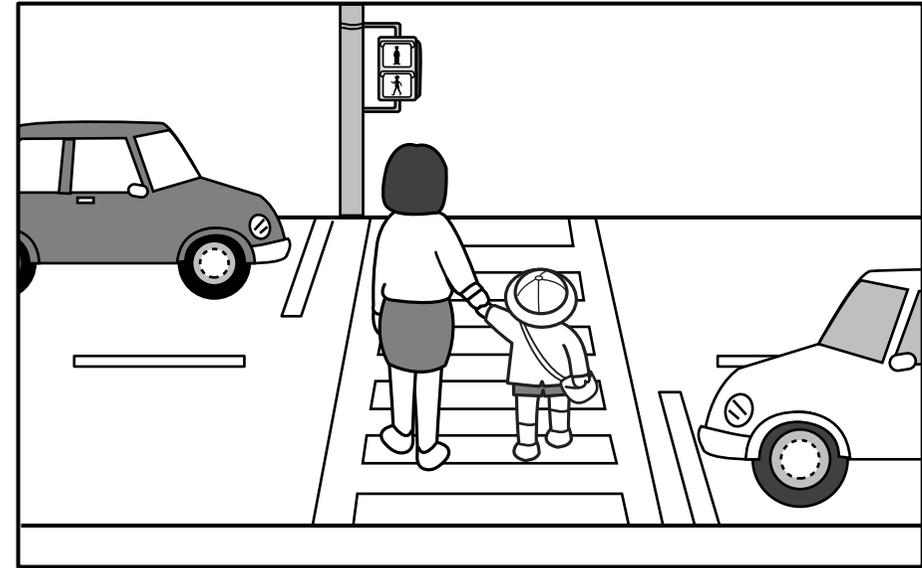
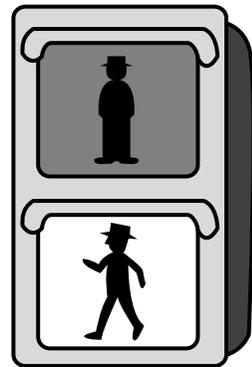
<指導のポイント>

「左側の子は、道のはしを歩いています、右側の子は、道のまん中を歩いていますね。どちらがいいでしょう。」というように、二つの絵がどう違って
いるか、説明してあげて、お子さんに考えさせるとよいでしょう。大切な命を守るために、交通ルールをしっかり教えてあげてください。

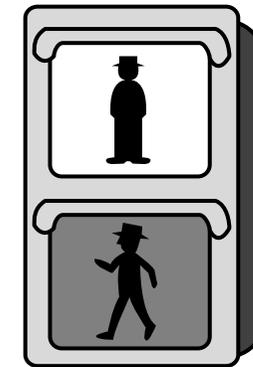
<問題> 絵にあうように、下の信号の色をぬりましょう。



この部分を
赤でぬる



この部分を
青でぬる

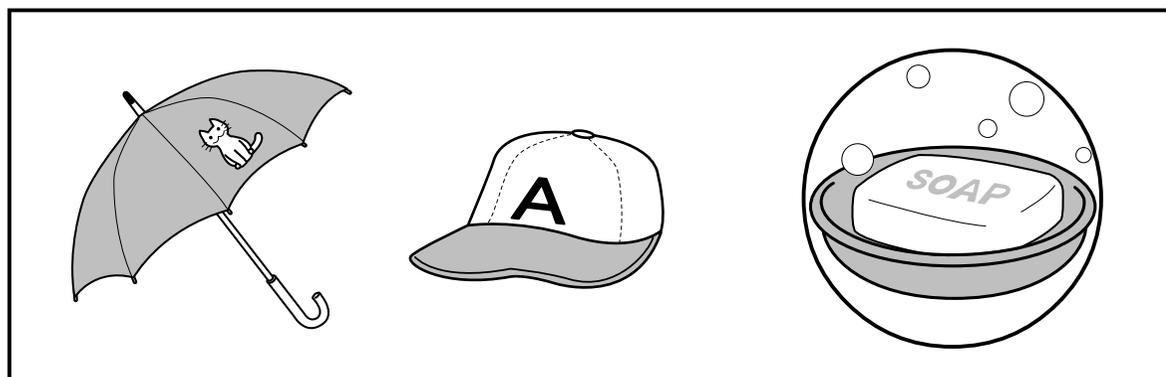


<指導のポイント>

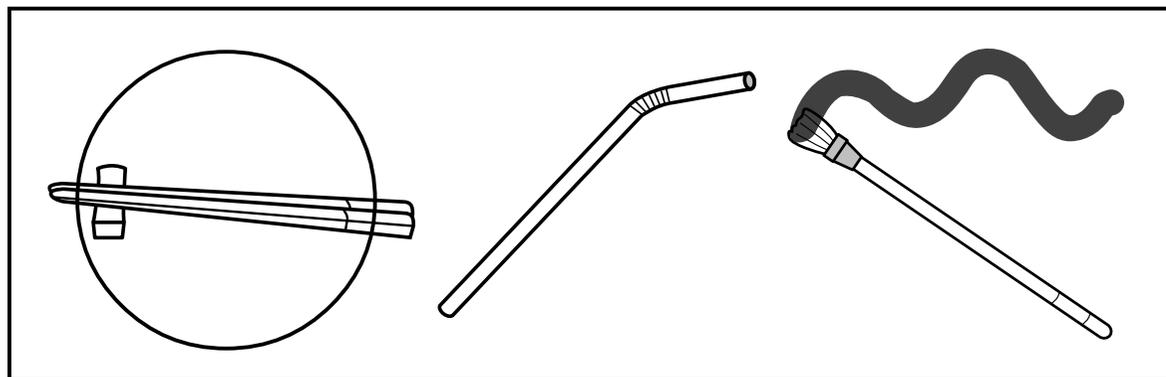
信号を守ることは、交通ルールの基本です。まず、歩行者用の信号は上が赤で「止まれ」、下が青で「進め」の意味であることを確認しておきましょう。それから絵を見て、「この絵では今、信号は赤か青のどちらでしょうか。」と質問して、赤なら上、青なら下の部分をその色でぬるように、説明してあげてください。

- <問題> (1)手をあらう時に使うものに、をつけましょう。
(2)ごはんを食べる時に使うものに、をつけましょう。
(3)暑い時に使うものに、をつけましょう。
(4)紙を切る時に使うものに、をつけましょう。

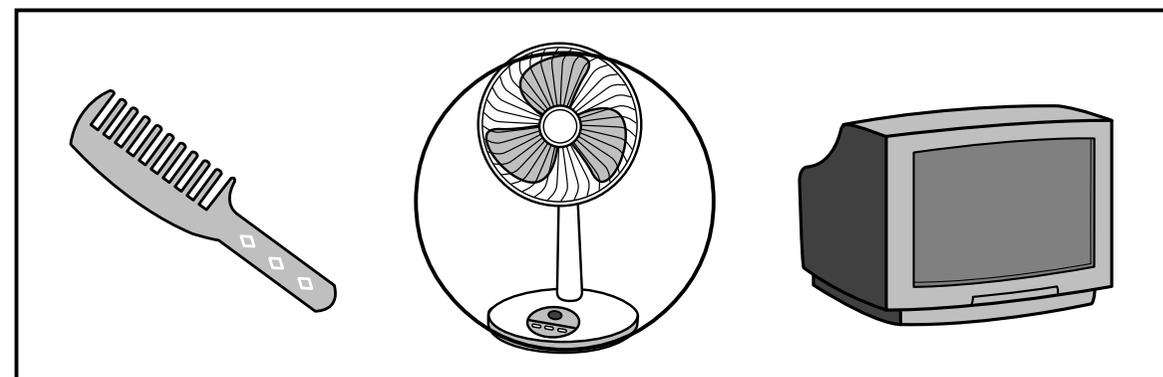
(1)



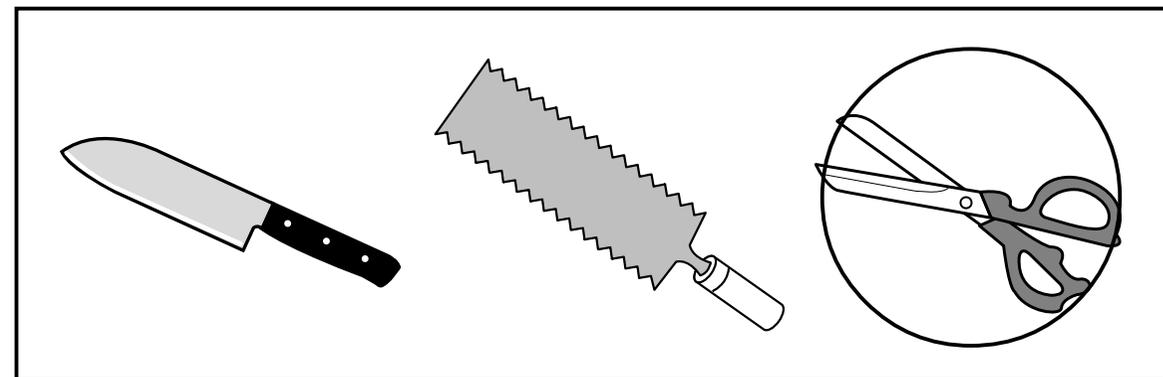
(2)



(3)



(4)

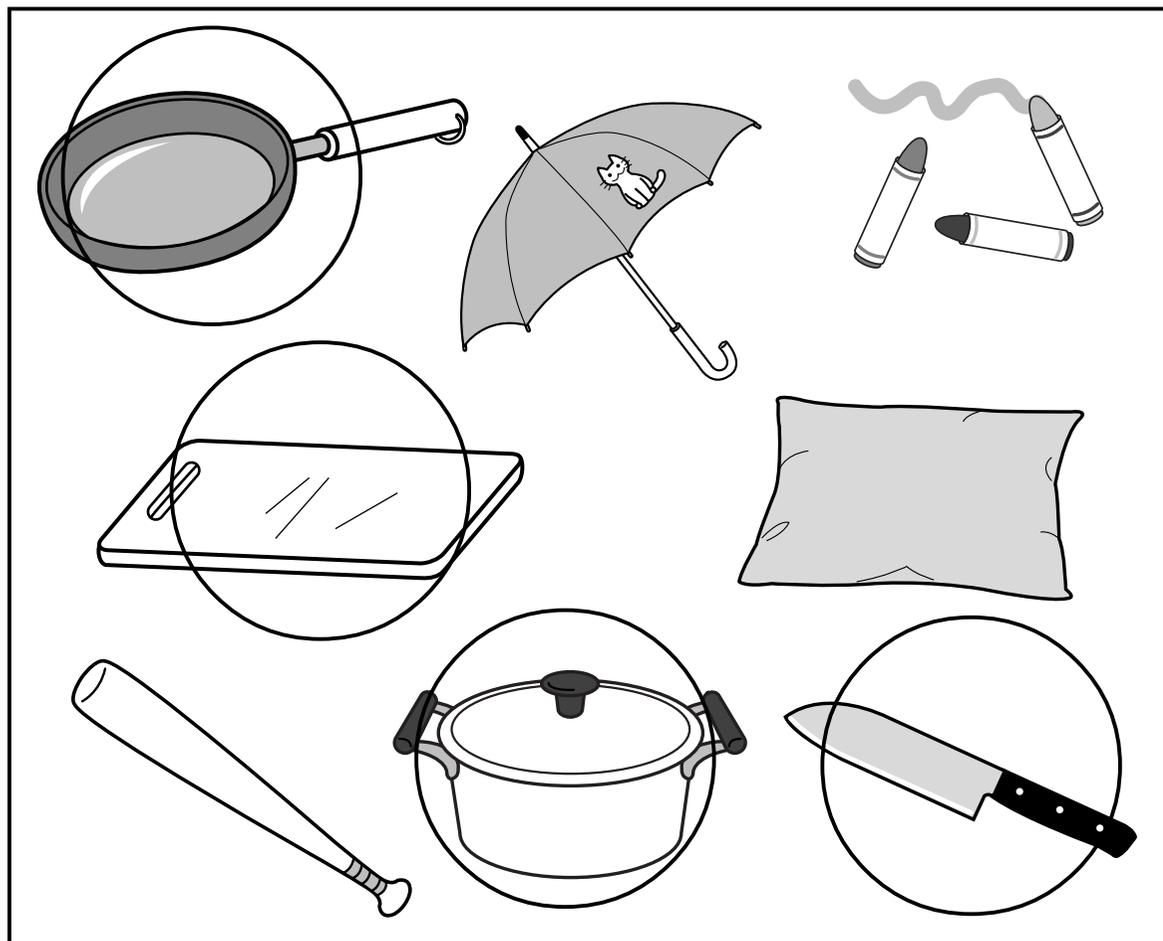


<指導のポイント>

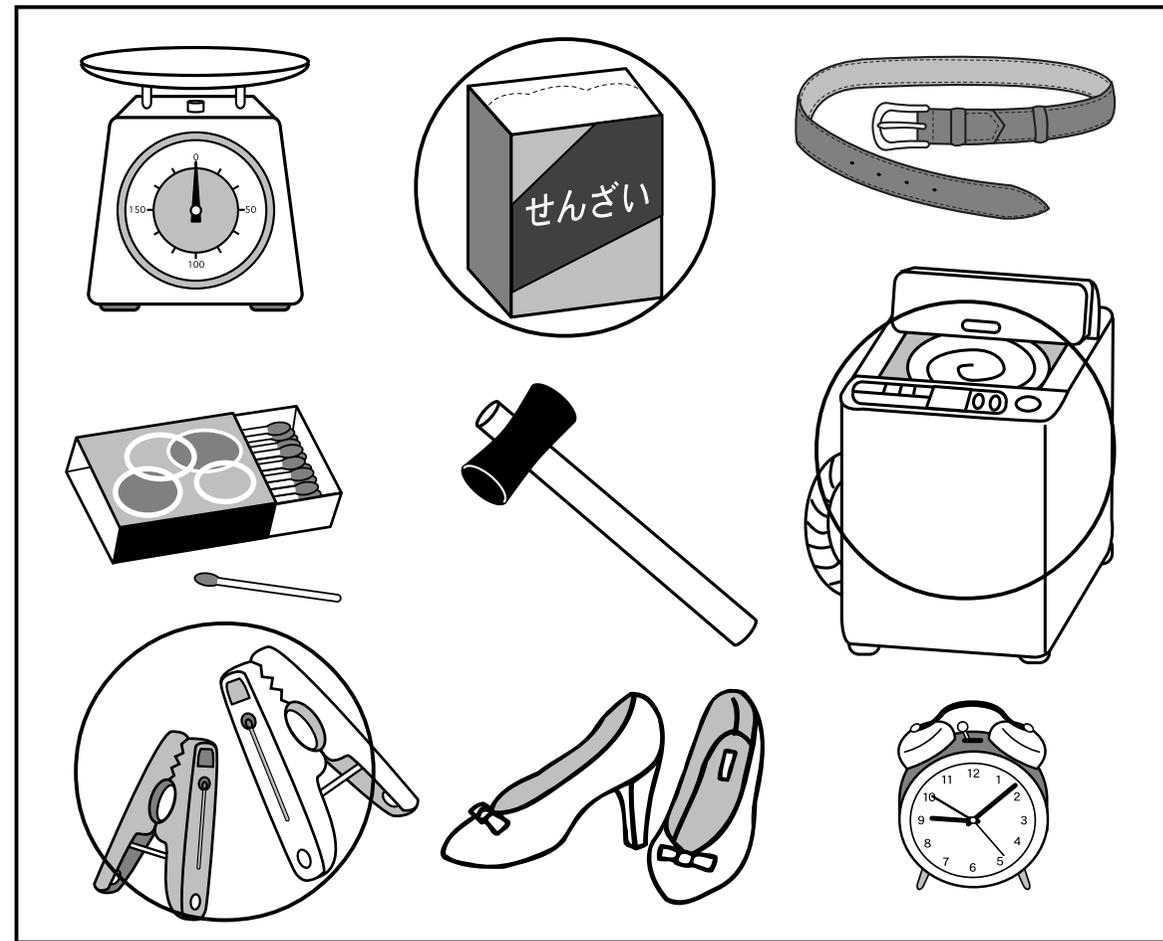
まず、お子さんと一緒にそれぞれの名前を確認してから、をつけさせるとよいでしょう。ふだんよく使うものを中心に、どんな時に使うものか、一緒に使うものは何かなどを、お子さんに少しずつ教えてあげてください。

<問題> (1)料理をつくる時に使うものに、をつけましょう。
(2)洗濯をする時に使うものに、をつけましょう。

(1)



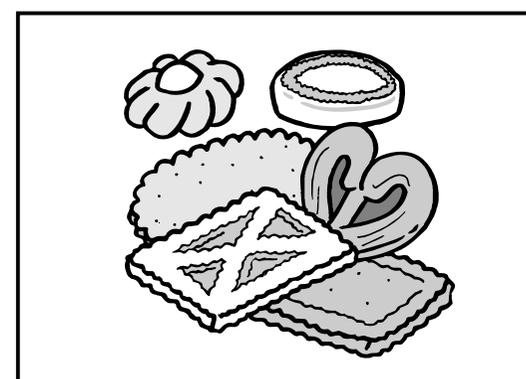
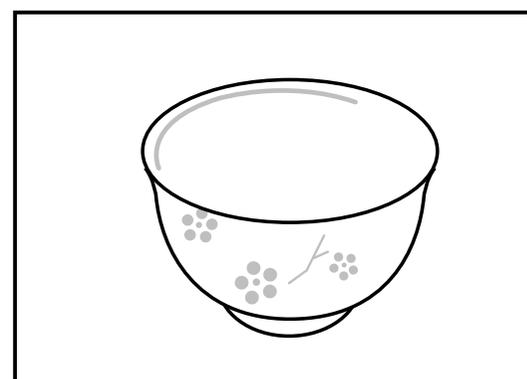
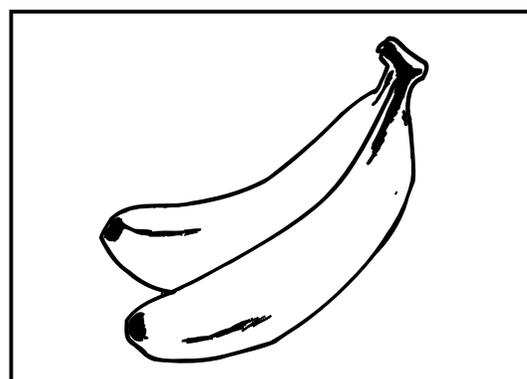
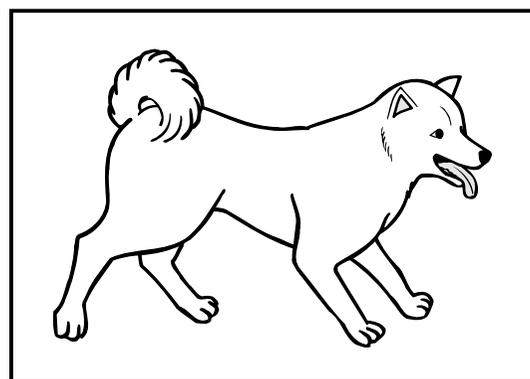
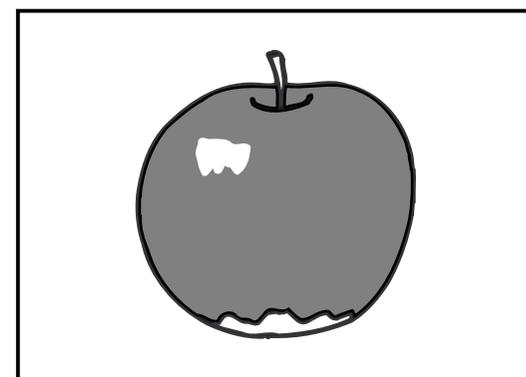
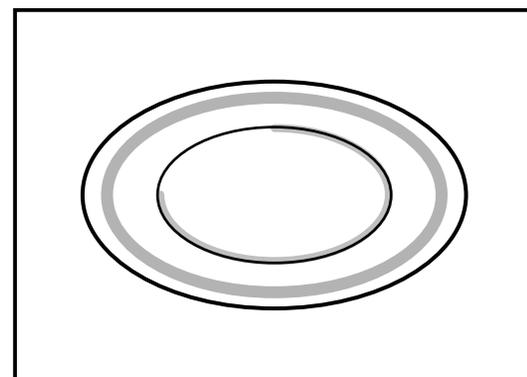
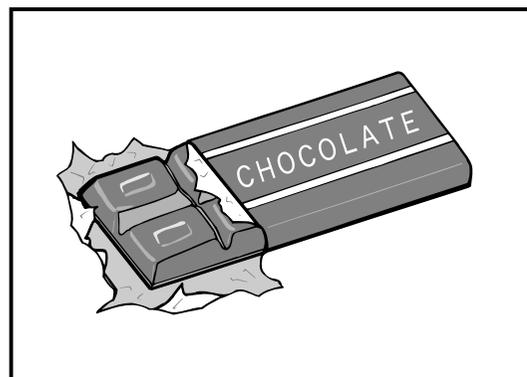
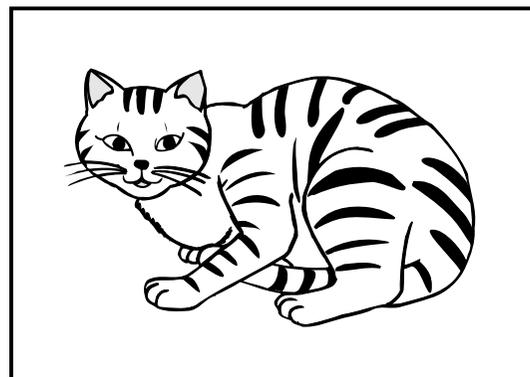
(2)



<指導のポイント>

ご家庭では料理や洗濯をしている様子を、お子さんにも見せてあげて、使う道具の名前や使い方などを実際に教えてあげるとよいでしょう。生活経験を豊かにして、いろいろな身近なものごとにお子さんが興味を持つようにしてあげることが大切です。

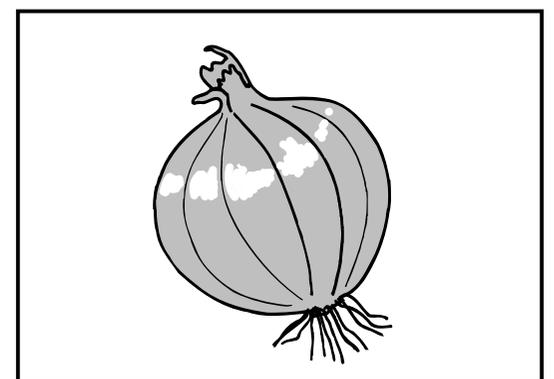
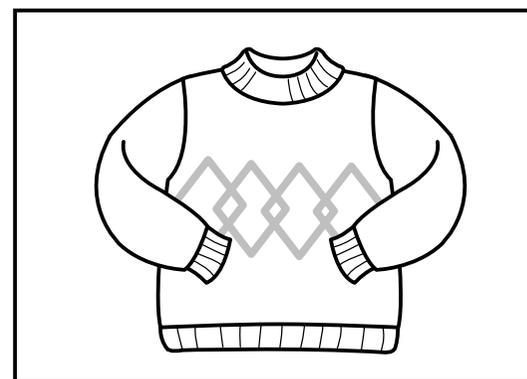
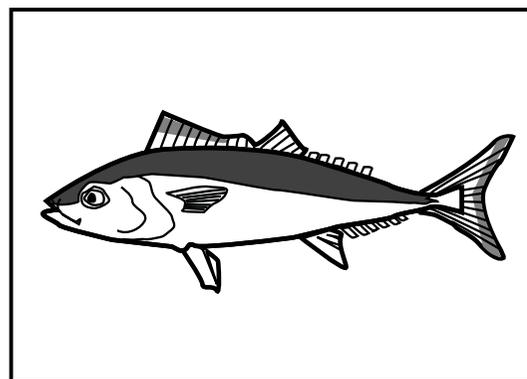
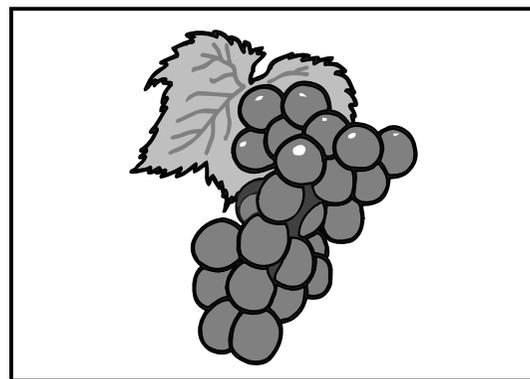
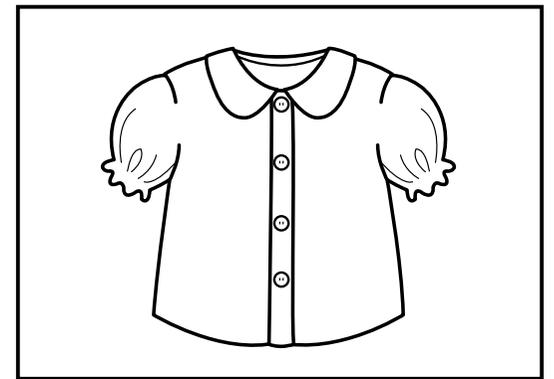
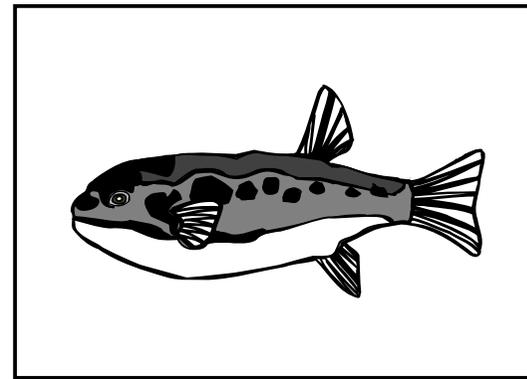
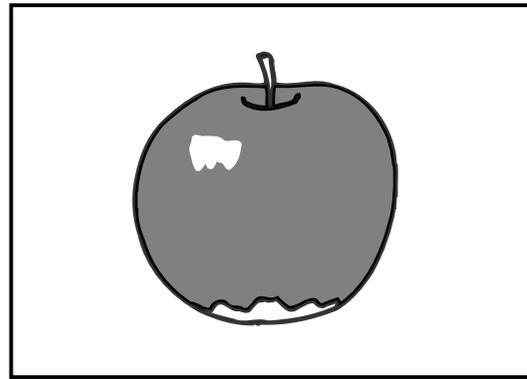
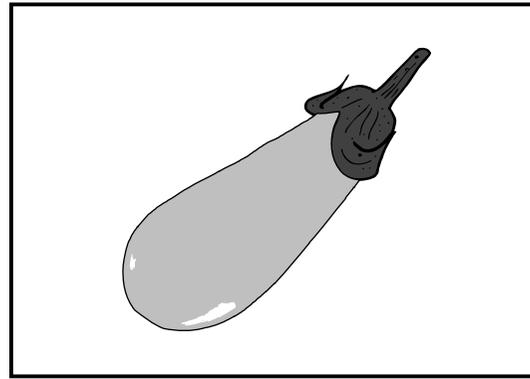
<問題> 上と同じ仲間のものはどれですか。下の絵の中でみつけて、指さしましょう。



<指導のポイント>

何の絵か、名前を一つずつ確認しながら、同じ仲間をさがしましょう。答えあわせの時には、「りんごもバナナもくだものの仲間」というように教えてあげましょう。くだものの仲間、けもの仲間、お菓子の仲間、食器の仲間など、仲間の種類を教えてください。

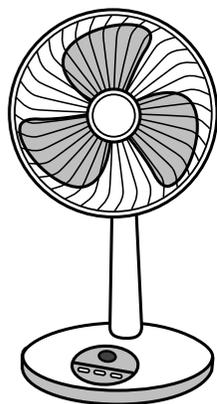
<問題> 上と同じ仲間のものはどれですか。下の絵の中でみつけて、線で結びましょう。



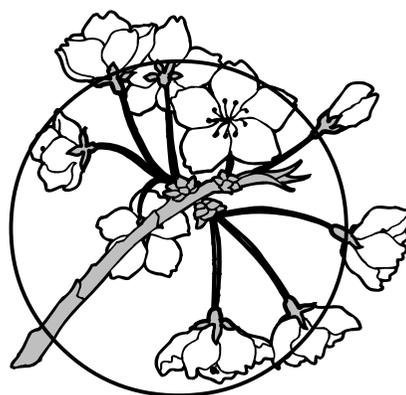
<指導のポイント>

何の絵か、名前を一つずつ確認しながら、同じ仲間をさがしましょう。答えあわせの時には、「なすも玉ねぎも野菜の仲間」というように教えてあげましょう。野菜の仲間、くだものの仲間、魚の仲間、衣服の仲間など、仲間の種類を教えてください。

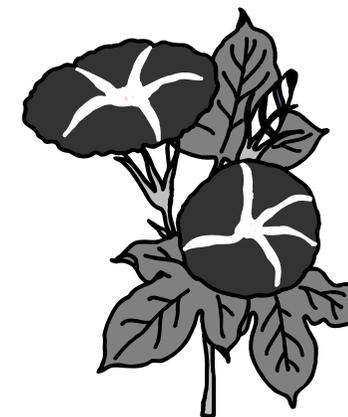
- <問題> (1)一つずつ、名前を言いましょう。
(2)「春」の季節のものに、をつけましょう。



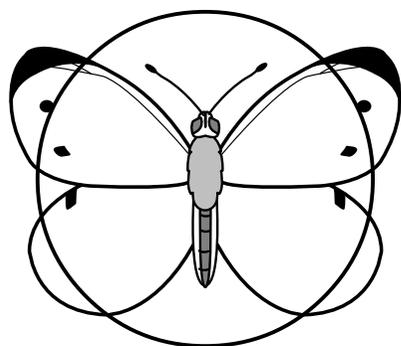
せんぷうき (夏)



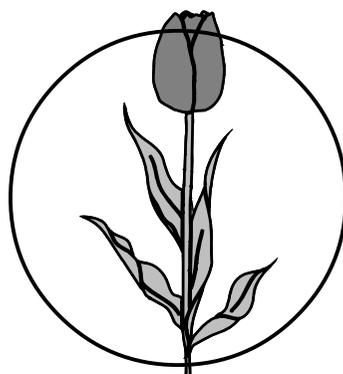
さくら (春)



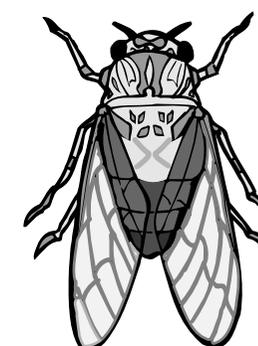
あさがお (夏)



もんしろちょう (春)



チューリップ (春)

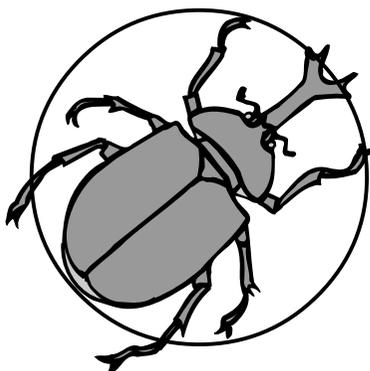


せみ (夏)

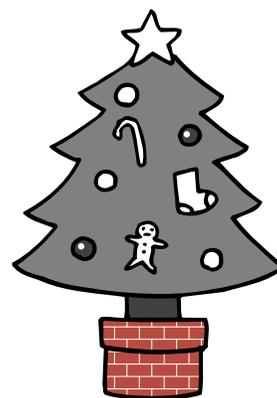
<指導のポイント>

小さな子どもにとって、季節はなかなかとらえにくいものです。それぞれの時期の旬の食べ物や自然の変化、年中行事などを通じて、四季の移り変わりを少しずつ意識させるようにしましょう。

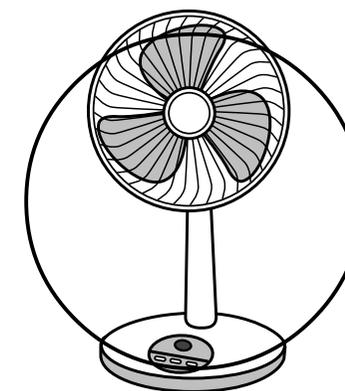
- <問題> (1)一つずつ、名前を言いましょう。
(2)「夏」の季節のものに、 をつけましょう。



かぶとむし(夏)



クリスマスツリー(冬)



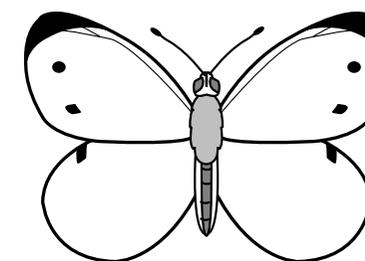
せんぷうき(夏)



あさがお(夏)



たんぽぽ(春)

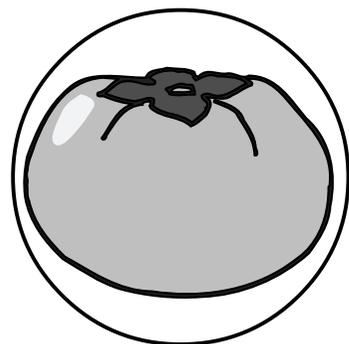


もんしろちょう(春)

<指導のポイント>

絵本・図鑑を見せながら、いろいろな花や虫、果物などに少しずつ興味を持たせましょう。それぞれの季節によく目にする花、虫、果物などがどんなものか、確認しておきましょう。

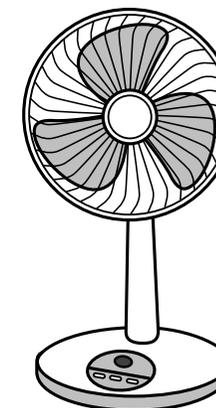
- <問題> (1)一つずつ、名前を言いましょう。
(2)「秋」の季節のものに、 をつけましょう。



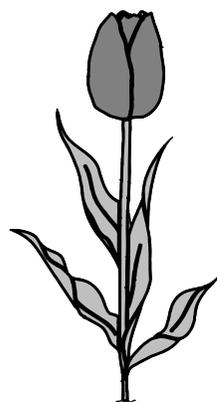
かき (秋)



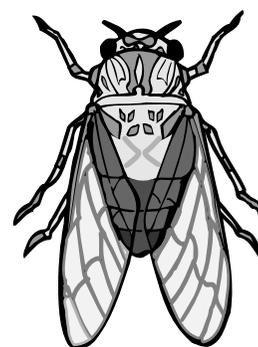
すずむし (秋)



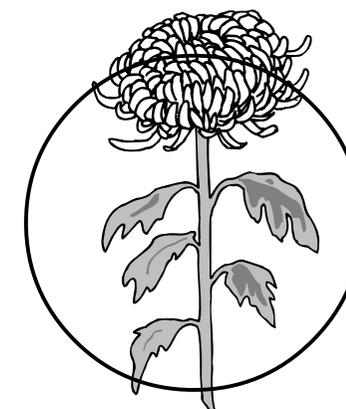
せんぷうき (夏)



チューリップ (春)



せみ (夏)

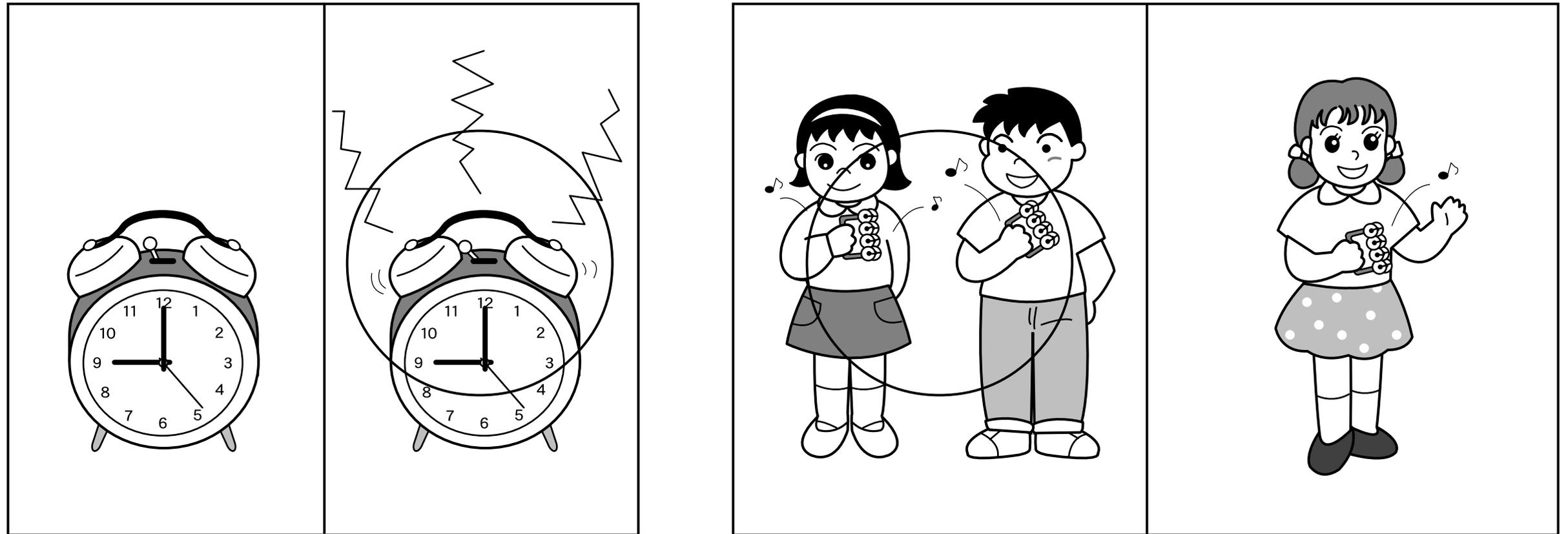


きく (秋)

<指導のポイント>

絵本や図鑑を見ながら、いろいろな花や虫、果物などに少しずつ興味を持たせましょう。それぞれの季節によく目にする花、虫、果物などがどんなものか、確認しておきましょう。

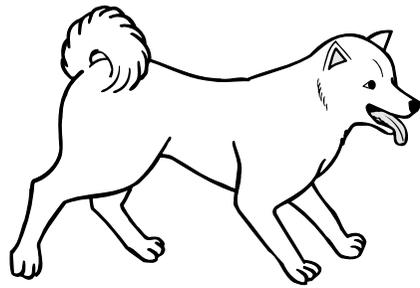
<問題> どちらが大きい音が出ていますか。大きい音の方に、 をつけましょう。



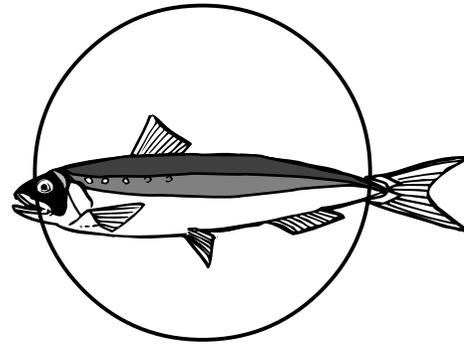
<指導のポイント>

ふだん何気なく聞いている「音」について、考えてみましょう。生活の中のいろいろな音に耳をかたむけたり、「へえ、おもしろいね」と新たな発見をすることが、お子さんの「科学する心」を育てていきます。どんな時に音が出るか、どうすれば大きい音になるかを考えさせましょう。

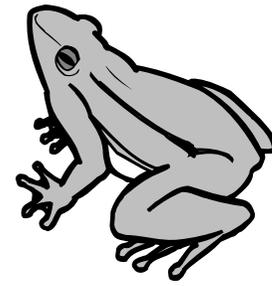
<問題> 海の中に住んでいる動物に、 をつけましょう。



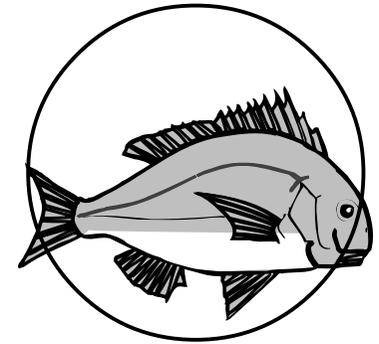
いぬ



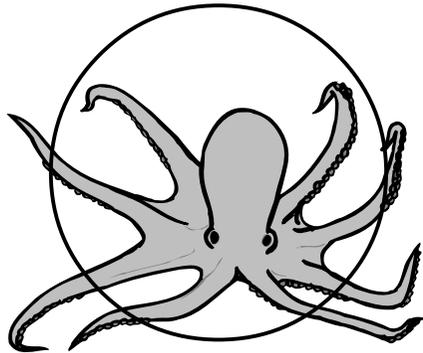
いわし



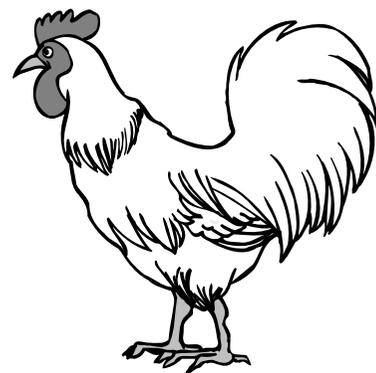
かえる



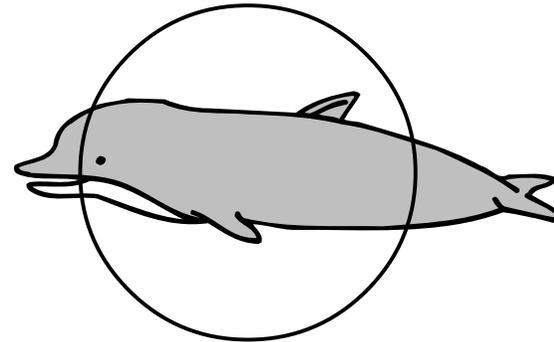
たい



たこ



にわとり



いるか

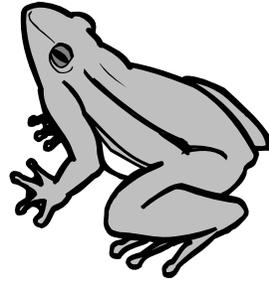


おたまじゃくし

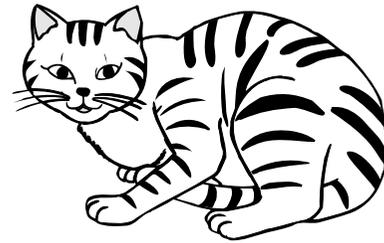
<指導のポイント>

それぞれの名前を確認しながら、海に住んでいるかどうかを考えましょう。魚だけでなく、たこやいかの仲間、貝の仲間なども海に住んでいることを教えてあげましょう。

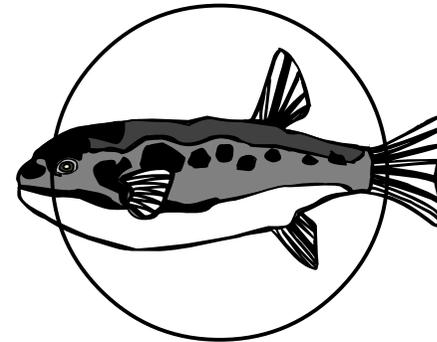
<問題> 海の中に住んでいる動物に、 をつけましょう。



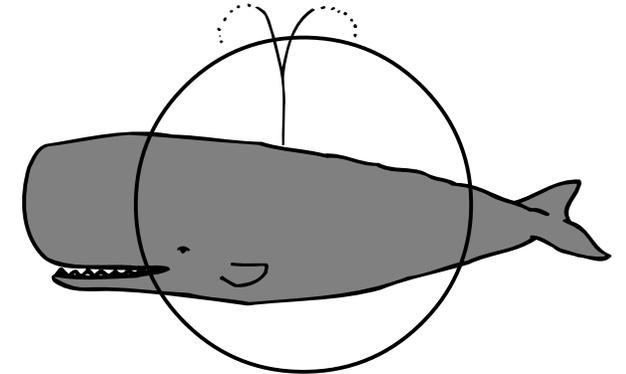
かえる



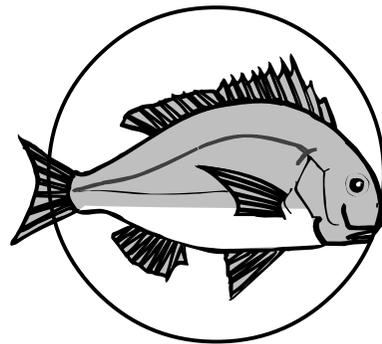
ねこ



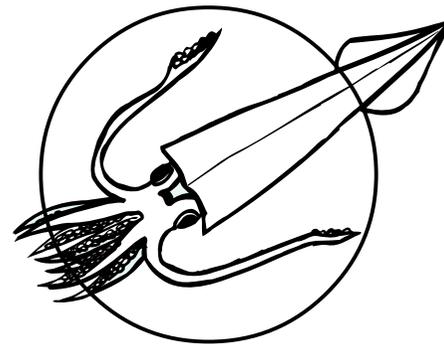
ふぐ



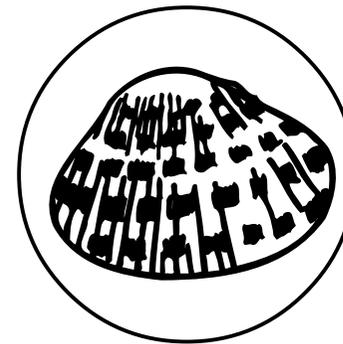
くじら



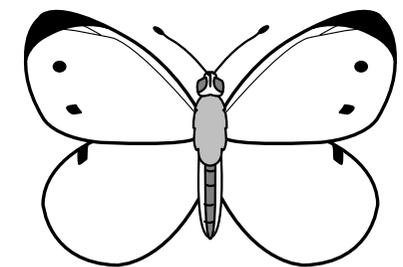
たい



いか



あさり

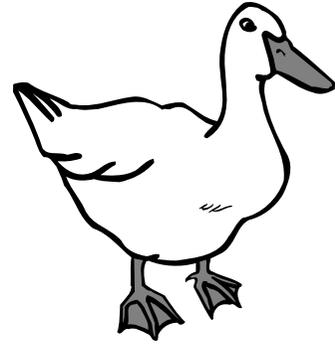


もんしろちょう

<指導のポイント>

それぞれの名前を確認しながら、海に住んでいるかどうかを考えましょう。魚だけでなく、たこやいかの仲間、貝の仲間なども海に住んでいることを教えてあげましょう。

<問題> 空を飛ぶ動物に、 をつけましょう。



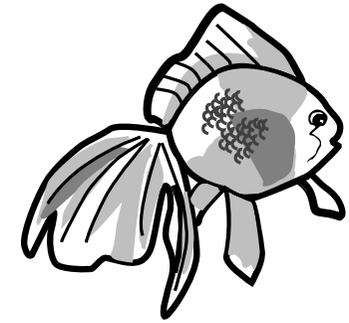
あひる



はと



つばめ



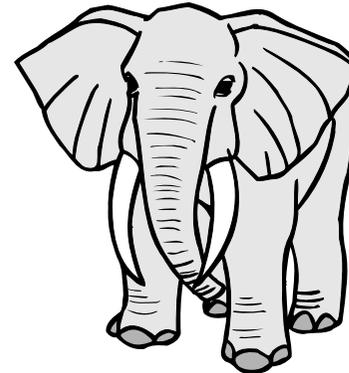
きんぎょ



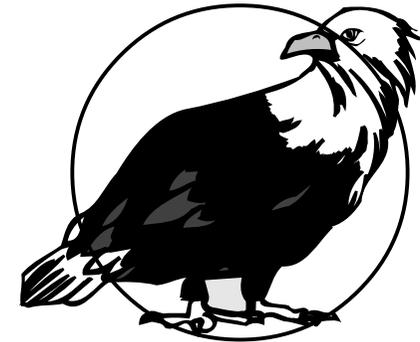
はち



ねずみ



ぞう



わし

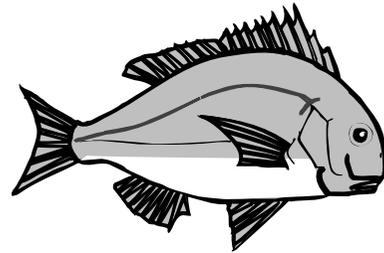
<指導のポイント>

それぞれの名前を確認しながら、空を飛ぶかどうかを考えましょう。「あひる」は、鳥だけれども空は飛べないことを教えてあげましょう。

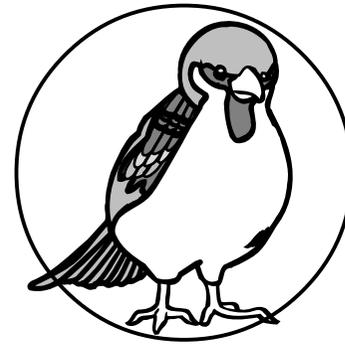
<問題> 空を飛ぶ動物に、 をつけましょう。



とんぼ



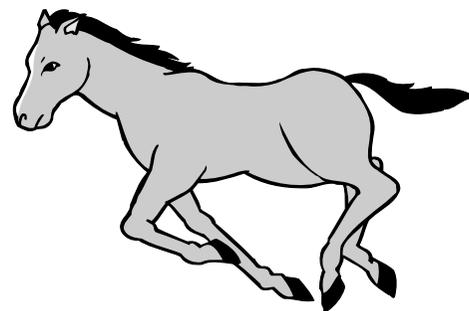
たい



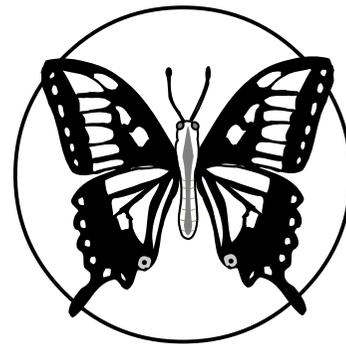
すずめ



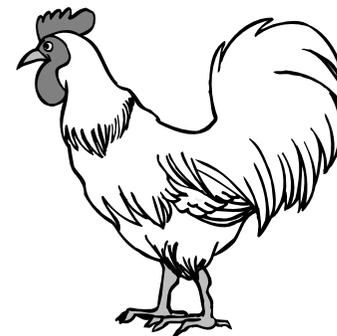
からす



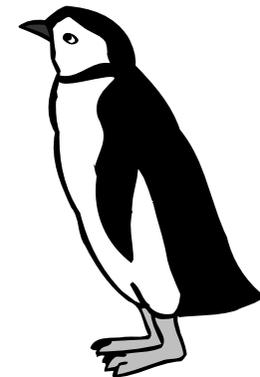
うま



ちょう



にわとり

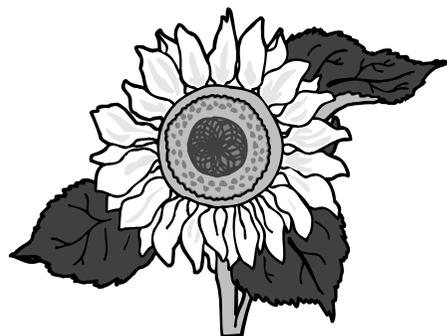


ペンギン

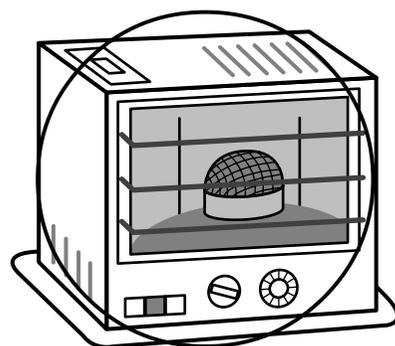
<指導のポイント>

それぞれの名前を確認しながら、空を飛ぶかどうかを考えましょう。「にわとり」や「ペンギン」は、鳥だけれども空は飛べないことを教えてあげましょう。

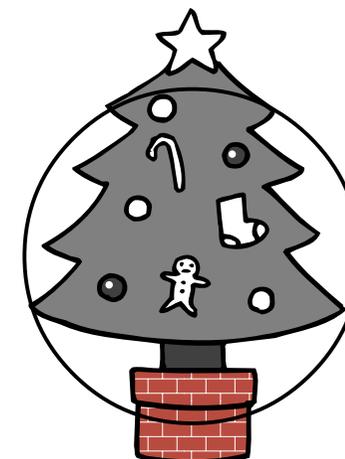
- <問題> (1)一つずつ、名前を言いましょう。
(2)「冬」の季節のものに、をつけましょう。



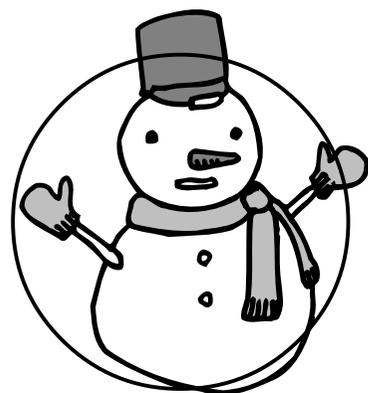
ひまわり (夏)



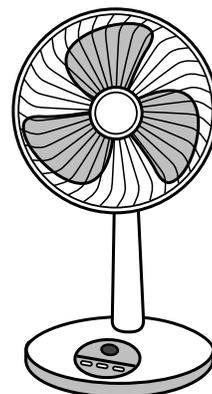
ストーブ (冬)



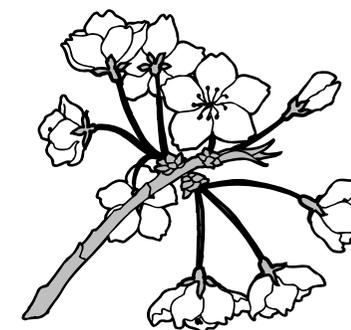
クリスマスツリー (冬)



ゆきだるま (冬)



せんぷうき (夏)



さくら (春)

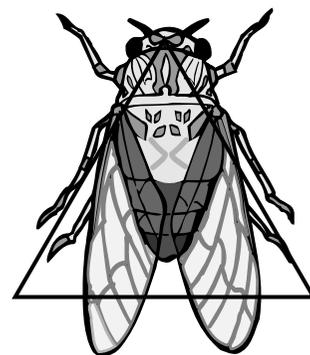
<指導のポイント>

小さな子どもにとって、季節はなかなかとらえにくいものです。それぞれの時期の旬の食べ物や自然の変化、年中行事などを通じて、四季の移り変わりを少しずつ意識させるようにしましょう。

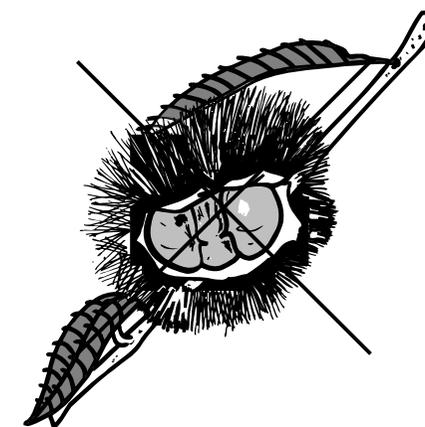
- <問題> (1)「春」の季節のものに、 をつけましょう。
(2)「夏」の季節のものに、 をつけましょう。
(3)「秋」の季節のものに、 ×をつけましょう。



あさがお (夏)



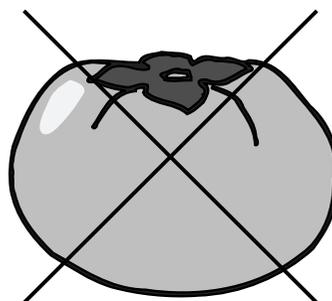
せみ (夏)



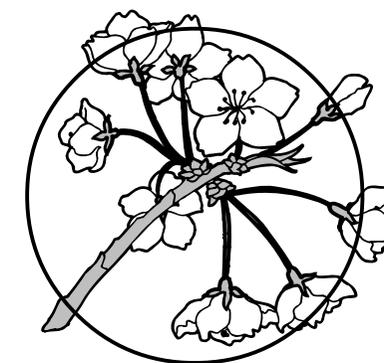
くり (秋)



たんぽぽ (春)



かき (秋)

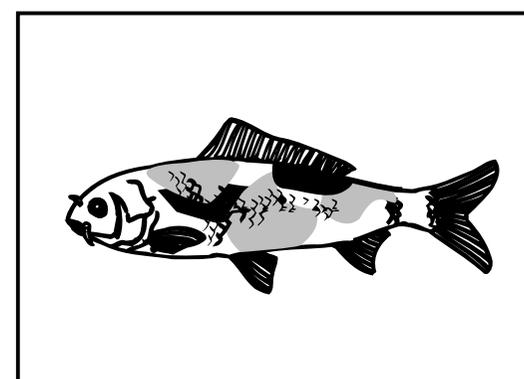
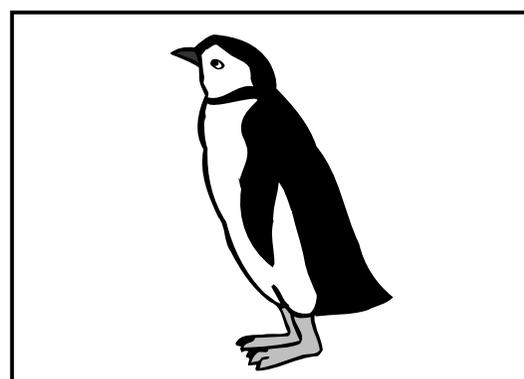
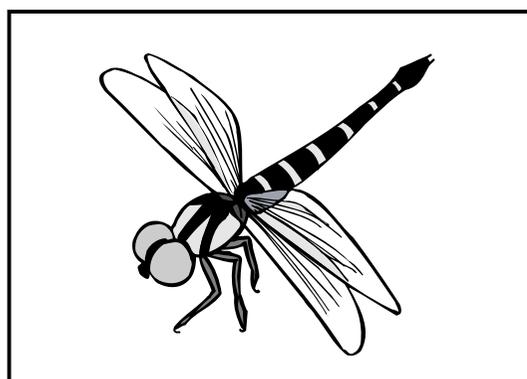
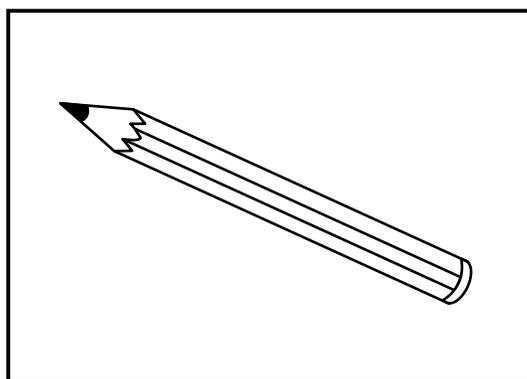
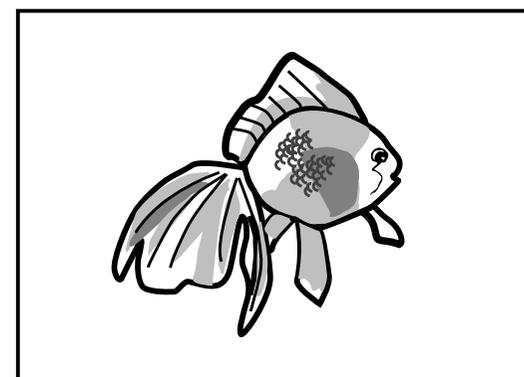
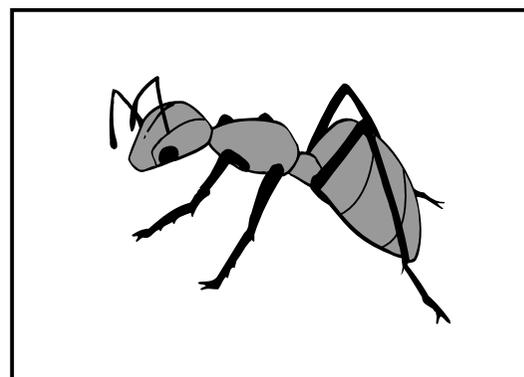
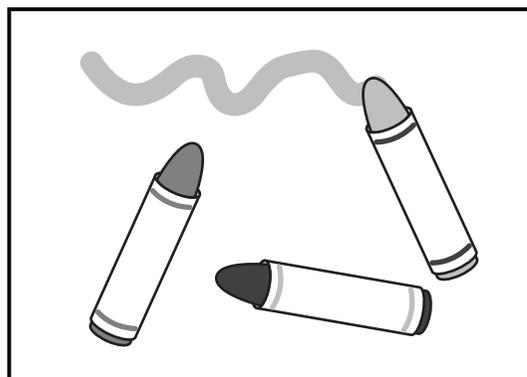
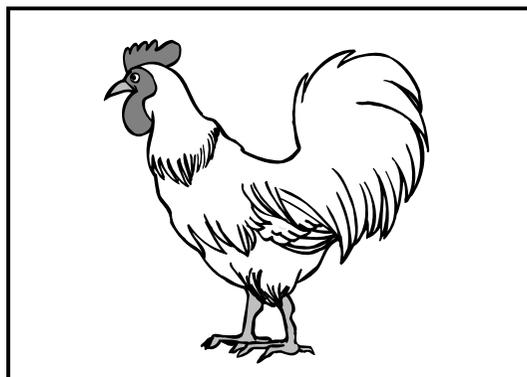


さくら (春)

<指導のポイント>

絵本や図鑑を見ながら、いろいろな花や虫、果物などに少しずつ興味を持たせましょう。それぞれの季節によく目にする花、虫、果物などがどんなものか、確認しておきましょう。

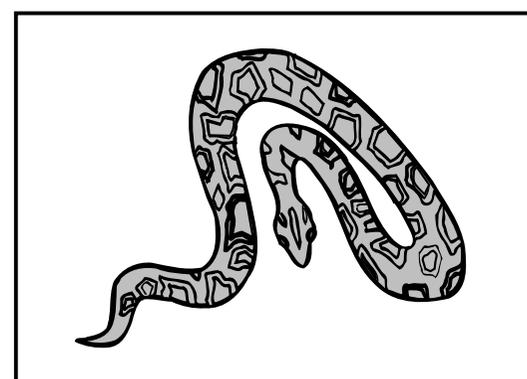
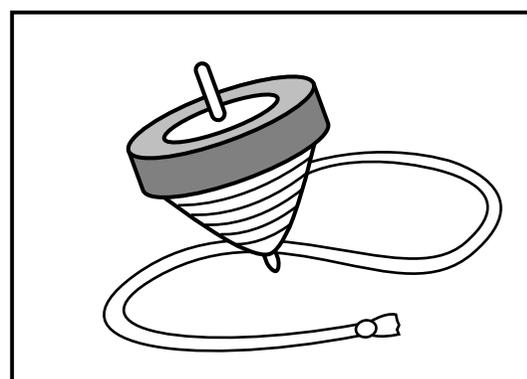
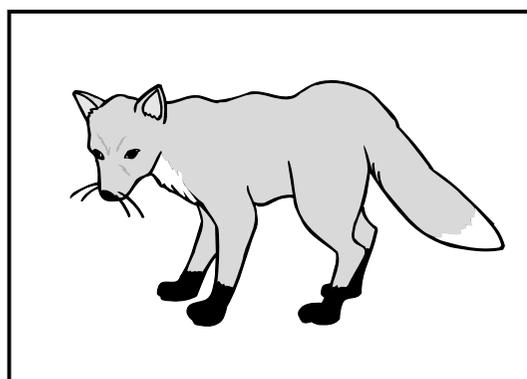
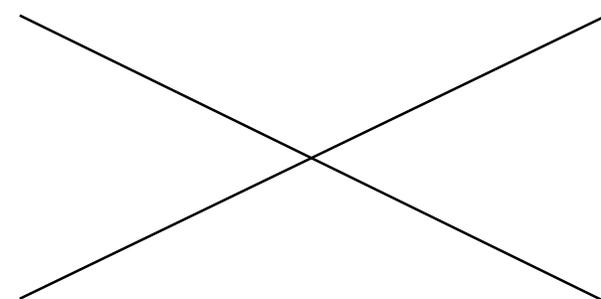
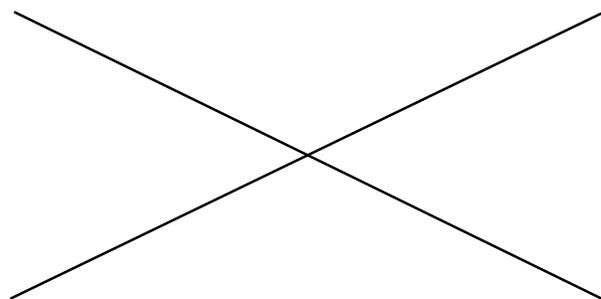
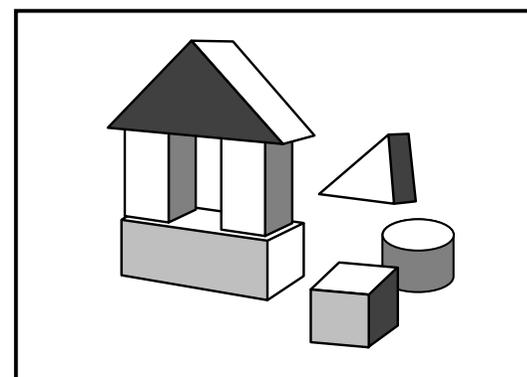
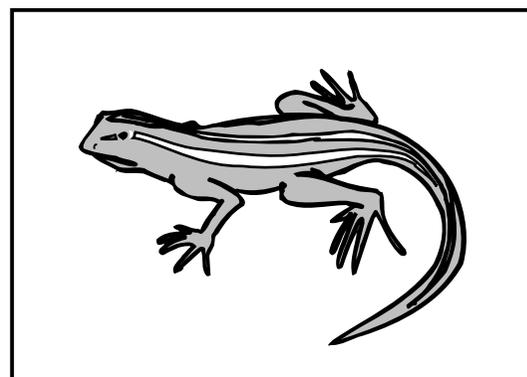
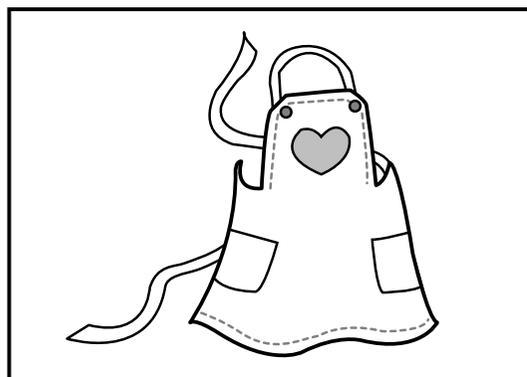
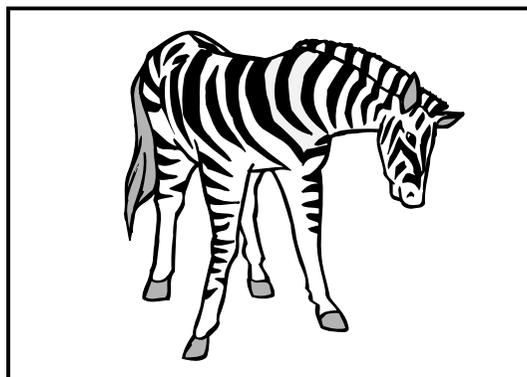
<問題> 上と同じ仲間のものはどれですか。下の絵の中でみつけて、線で結びましょう。



<指導のポイント>

何の絵か、名前を一つずつ確認しながら、同じ仲間をさがしましょう。答えあわせの時には、「にわとりも、ペンギンも鳥の仲間ね」というように教えてあげましょう。鳥の仲間、文房具の仲間、虫の仲間、魚の仲間など、仲間の種類を教えてください。

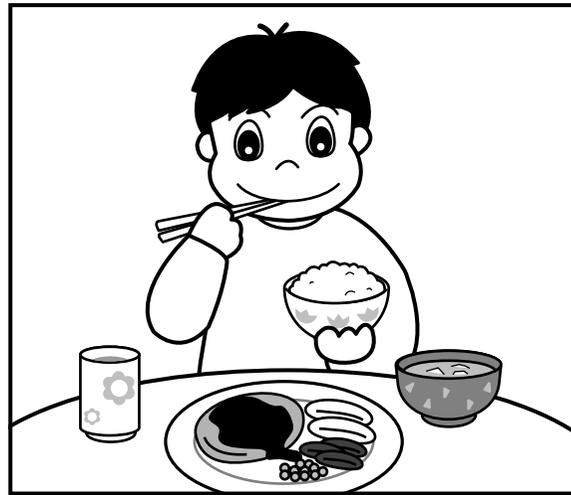
<問題> 上と同じ仲間のものはどれですか。下の絵の中でみつけて、線で結びましょう。



<指導のポイント>

何の絵か、名前を一つずつ確認しながら、同じ仲間をさがしましょう。答えあわせの時には、「しまうまもきつねもけものの仲間」というように教えてあげましょう。けものの仲間、衣服の仲間、はちゅう類の仲間、おもちゃの仲間など、仲間の種類を教えてください。

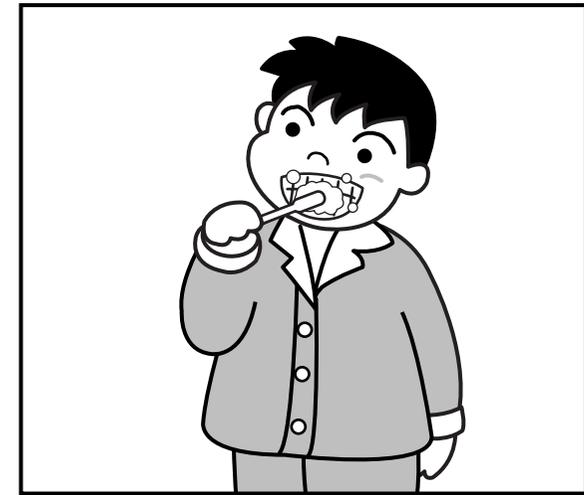
<問題> 自分でできることの絵に、 をつけましょう。



ごはんを食べる



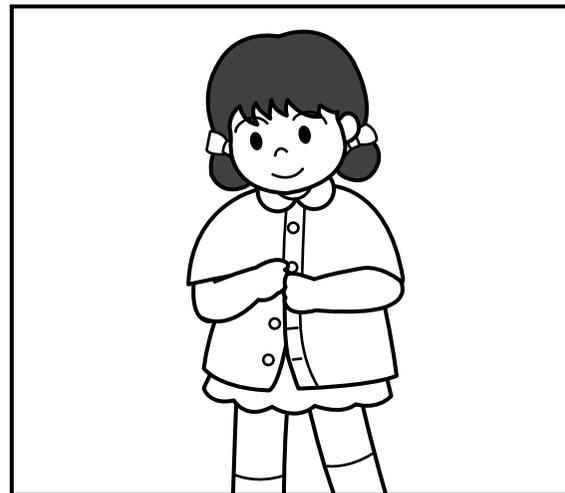
手を洗う



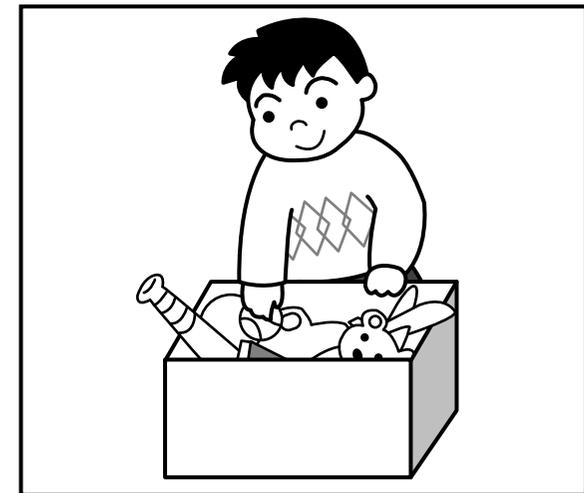
歯をみがく



うがいをする



服を着る

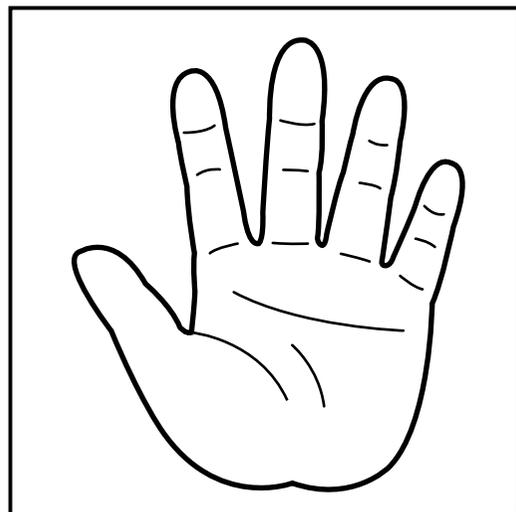
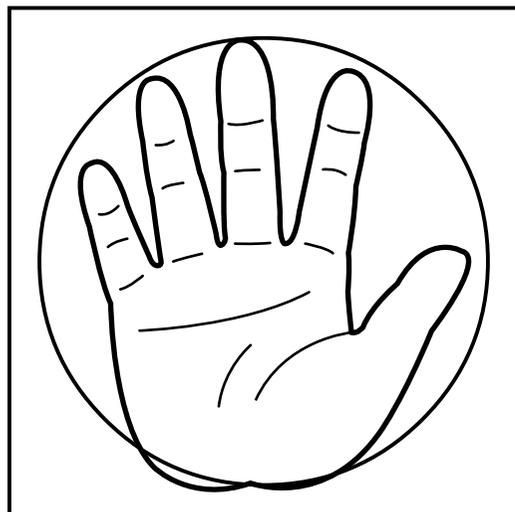
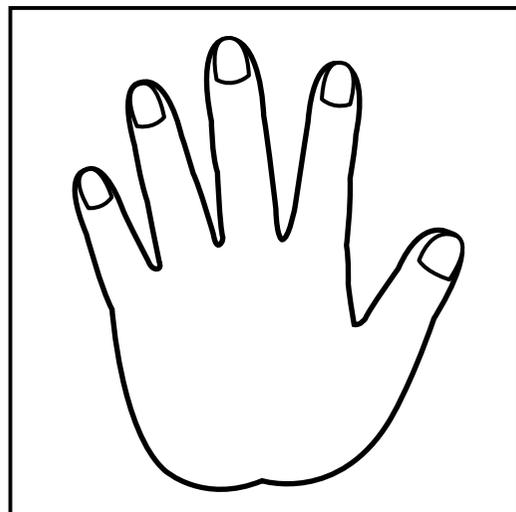
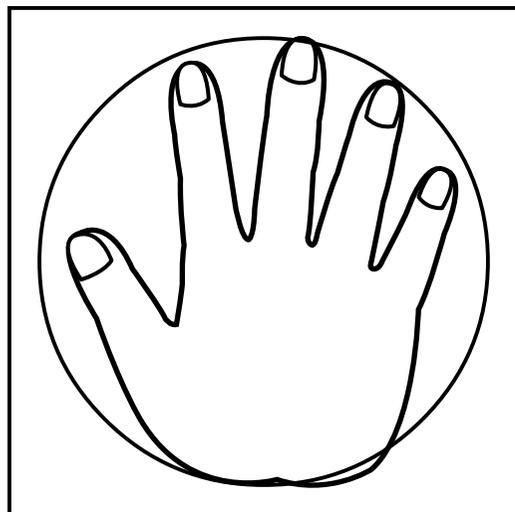


後片付けをする

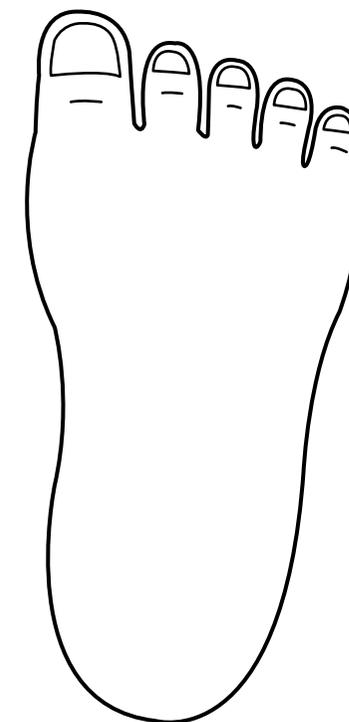
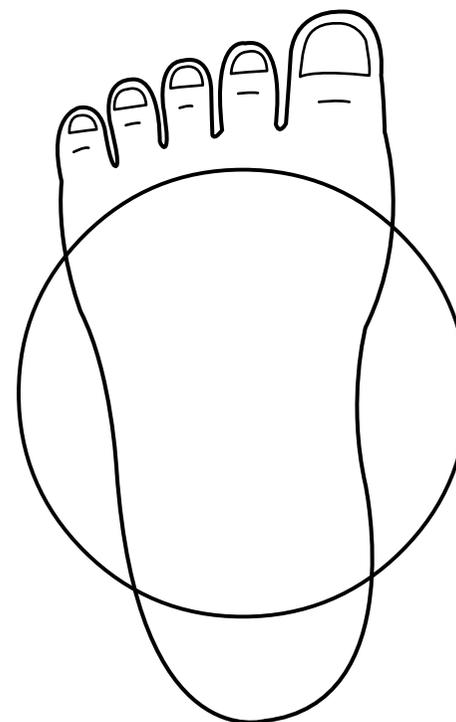
<指導のポイント>

身のまわりのことを少しずつ自分でできるように、意識させましょう。お子さんが「これもできる」と答えたら、「えらいね」とほめてあげてください。

<問題> 右手に、 をつけましょう。



左足に をつけましょう。



<指導のポイント>

両手を机の上に置いて、絵と自分の手を比べながら、左手に をつけさせるとよいでしょう。右利きの場合は「おはしを持つ方の手が右手」「茶わんを持つ方の手が左手」です。手にあわせて、足も左右が区別できるようにしましょう。